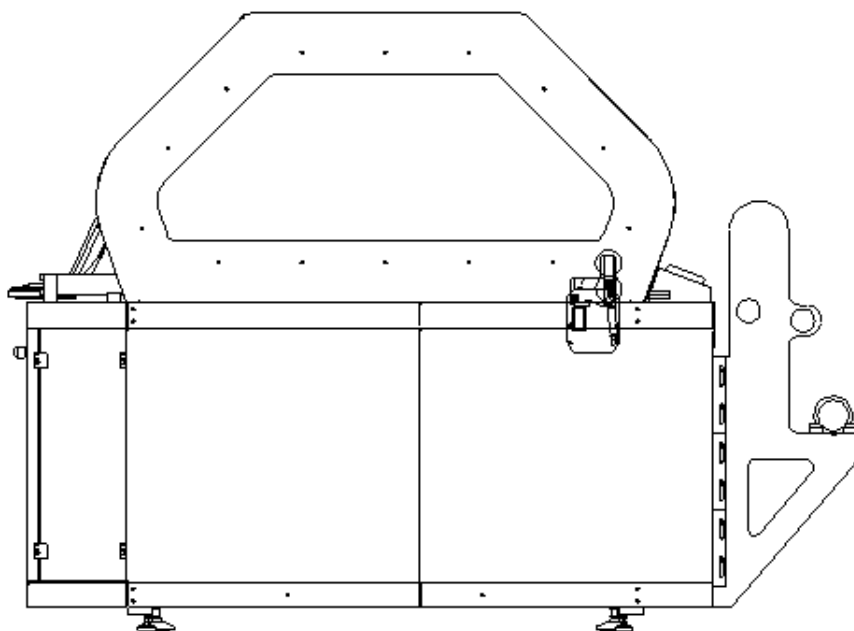


カラーインクジェットプリンター

ML Tiger-1800B MK III

取扱説明書





- 本書は、「ML Tiger-1800B MK III」(以後本機)の操作や保守などの取り扱いについて説明します。本書をお読みになり、十分理解してから本機をお使いください。
- 本機は、契約の合意に基づく目的のみに使用され、本書に記載の条件下で操作されなければなりません。
- 契約記載条件以外での本機の使用には、弊社の書面による同意が必要となります。
- 当該認可を得ていない使用は、意図しない使用と見なされます。この場合、弊社は、物的損害もしくは人的傷害に対するいかなる責任も負わないものとし、本機の保証は無効と見なします。
- 本機を誤って使用した場合、長期にわたって停止する可能性があり、再稼働するには弊社の技術者による対応が必要となります。



- 本書内の画像は、装置の機能を説明する目的で挿入されたものであり、ご利用のバージョンを示していない場合があります。例えば、最終的なお客様からの特別なリクエストにより、お使いの装置とは画像が異なっている場合があります。

目次

目次	1-iii
第 1 章 はじめに	
取扱説明書の位置づけ	1-2
取扱説明書の目的	1-2
プリンター本体に付属のドキュメント	1-2
メーカーの認可	1-2
引用規格	1-2
取扱説明書について	1-3
安全上の注意事項	1-5
電気装置	1-7
安全注意事項全般	1-7
警告ラベルについて	1-9
警告ラベルの表示位置	1-12
第 2 章 概要説明	
概要説明	2-2
主要ユニットの説明	2-2
繰出しユニット	2-2
機器の主要部品	2-5
全体の寸法	2-10
本機の識別	2-11
第 3 章 使用上の注意事項	
意図した使用	3-2
不正使用	3-2
オペレーターによる緊急停止	3-2
本機の耐用寿命	3-2
第 4 章 設置	
概要	4-2
作業員の適性	4-2
設置場所の準備	4-2
設置要件	4-3
装着、配置、設置の手順	4-3
吊り上げ手順	4-4
開梱と配置	4-5
接続	4-7
保管条件	4-8
第 5 章 押しボタンパネル	
ワークステーション	5-2
押しボタンパネル (P02)	5-4
非常停止スイッチ (PEM)	5-4
第 6 章 基本的な使い方	
はじめに	6-2
画面構成の説明	6-2
操作方法の説明	6-5

処理実行時の画面説明	6-7
プリント操作	6-8
プリントコンテンツの説明	6-8
プリントまでの流れ	6-9
プリント中の操作	6-18
システムアラーム	6-21
エラー発生時の表示	6-21
アラーム発生時の操作制限	6-23
アラームのクリア方法	6-24
クリーニング	6-25
任意のタイミングによるクリーニング	6-25
オートクリーニング設定	6-27
ノズルリカバリ	6-30
メンテナンス	6-38
メンテナンスコンテンツの説明	6-38
操作パネルの操作方法	6-39
設定	6-40
設定コンテンツの説明	6-40
設定手順 例) カラーバー	6-41
機能説明	6-42
ステータスバー	6-42
メニュー	6-44
クイック機能	6-65

第7章 操作、調整、お手入れ

作業員（オペレーター）へのトレーニング	7-2
オペレーターについて	7-2
オペレーターの作業	7-2
作業開始前の準備	7-2
メディアの搬送	7-3
プリンターの操作	7-4
一時停止	7-4
長期停止	7-4
清掃および地張り剤張替えの手順	7-5
ベルト洗浄ユニットの準備	7-5
スキージブレードの調整	7-6
スキージブレードの交換	7-7
ベルトの清掃手順	7-10
クリーニングの手順	7-10
ワイパーブレードの交換	7-11
インクタンクの交換	7-13
クリーニング洗浄液（ワイパー洗浄液）の補充	7-16
廃液タンクの設置・交換	7-18

第8章

安全装置と残存リスク

安全装置	8-2
残存リスク	8-3
必須要件と安全注意事項	8-3

第9章 保守

保守の概要	9-2
通常保守	9-2
予定に組み込まれている保守	9-2
保守作業一覧	9-4
特別な保守	9-4
トラブルシューティング	9-5
解体	9-27

第1章 はじめに



この章では、

取扱説明書について、また安全上の注意などについて説明します。

取扱説明書の位置づけ	1-2
取扱説明書の目的	1-2
プリンター本体に付属のドキュメント	1-2
メーカーの認可	1-2
引用規格	1-2
取扱説明書について	1-3
安全上の注意事項	1-5
電気装置	1-7
安全注意事項全般	1-7
警告ラベルについて	1-9
警告ラベルの表示位置	1-12

取扱説明書の位置づけ

この取扱説明書（本書）は、マニュアル制作の手順に従って制作され、製品の構成要素の一部とみなされます。本書は、必要に応じて改訂され、改訂の履歴は適切に管理されています。

本書および付属の関連文書に関する複製および公開の権利はすべて Mimaki の著作権によって保護されています。

取扱説明書の目的

本機を操作する作業員（オペレーター）が安全に作業を行うための説明書です。

プリンター本体に付属のドキュメント

取扱説明書：本機を正しく使用するための情報が網羅されています。

電気系統配線図：本機の主要システムについての説明です。問題を解決する技術者を対象としています。

保守パーツリスト：保守パーツリストは付属していません。

メーカーの認可

Mimaki は、以下の証書を通じて、法令に従い機械メーカーとして認可されています。

- 取扱説明書（本書）
- CE 適合宣言書

引用規格

本機の改正およびマニュアルの原稿は以下の規格と指令に従い作成されます。

規格

EN 60204-1:2006 機械類の安全性 – 機械の電気装置 – 第 1 部：一般要求事項

ISO12100-1:2010 機械類の安全性 – 設計のための一般原則 –

指令

2006 年 5 月 17 日の欧州議会および理事会の機械指令 2006/42/EC

電磁両立性に関連する加盟各国の法律に近似する電磁両立性 (EMC)2014/30/EC

RoHS 指令

取扱説明書について

本書は、製品の一部と見なされ、本機の全耐用期間にわたって保管および使用する必要があります。本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒にお渡しください。

本書は、オペレーターが使用できるように、手が届きやすくわかりやすい場所に保管してください。




本書には、オペレーターのトレーニングに関する情報が含まれています。










本書に記載の情報に目を通してから本機を設置、ご使用、調整、保守の作業を進めてください。

- 本書は、適切に保管してください(保護されている乾燥した場所)。
- 製品に付属のマニュアルが破損した場合、弊社にて新しいマニュアルをお買い求めください。(P.1-4 参照)。
- 本書には、製品の販売時点の最新情報が反映されています。
- 弊社は、本書を変更する権利を有していますが、特定の場合(安全性に関する問題など)を除き、先行する製品やマニュアルを更新する義務はありません。
- お客様は、弊社に連絡して、追加情報を得ることができます。
- お客様からの本書や本機の改良に関する提案は進んで受け入れ、慎重に検討します。
- お客様は、本機を販売する場合、本書への追加事項が新しいユーザーに円滑に伝わるように、新しい所有者の住所を弊社に報告することが求められます。




本書は、一連のステップからなる操作手順で構成されます。

これらのステップは、以下の表のように記載されています。

手順		手順のサンプル			
S	モード	キー	表示	操作	参照先
1				手動操作	
2		P01-No.3	緊急リセット	非常停止スイッチ: このボタンを押して本機の作業内容をリセットすると、本機は初期段階に戻ります。	5-3
3	AUT			自動操作	
4				正しく実行されているかを確認します。	
手順の終了					

内 容		
	危険	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な注意事項は▲の中に描かれます。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な指示内容は●の中に描かれます。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は⊘の中に描かれます。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	ヒント	知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	参照	情報関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

以下、各項目についての説明です。

表	列データ
S (ステップ)	ステップを示します。
モード	以下の各モードがあります。 手動  押しボタンまたは機能キーを押す操作が必要  視覚制御操作または計測装置の使用  本機で自動的に実行される操作 (AUT.)
キー	特定の操作を行うためのキー (またはオペレーターパネル上のアイコン) を示します。関連するキーボードや参照番号 (P01 No.3 など) も示されます。
表示	パネル上の記載内容、または機能キーの説明です。自動モードでは、操作ブロックが有効であることを表します。
操作	オペレーターが実行する操作、または周期的に自動で実行される操作の説明です。
参照先	参考となる頁や図を表します。

以下、本書で使用する用語の定義です。

表	定義
危険区域	本機の内部や周辺区域。この中に人がいた場合、その安全性や健康面での危険が生じます。
オペレーター	本機の操作、調整、定期的な保守または清掃を行う作業員。
保守作業員	設置、修理、および定期または特別な保守作業が可能な Mimaki 公認の技術者。
Mimaki の技術者	複雑な操作や特定の操作を行う Mimaki の保守作業員

注文および情報に関するリクエスト

本書の複製、またはマニュアル関連やサービス関連、テクニカルサポート、スペア部品に関する情報については、販売店または弊社営業所、コールセンターまでお問い合わせください。



MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD.
 389-0512 長野県東御市滋野乙 2182-3

保証の制限

契約上の特定の合意がある場合を除き、Mimaki は、本機の正常な動作 (本機が本書および保守説明書に記載の指示に従って使用される場合に限る)、本機の製造に使用する資材の品質、および本書に記載の技術的特徴に対する本機のコンプライアンスを保証します。

Mimaki の保証は、本機の製造の際に Mimaki が使用する部品の保証の差し替えまたは追加される物ではありません。したがって、これらの部品は、その部品メーカーの保証が有効になります。

以下の状況では、保証は無効になります。

- 技術仕様を示されていない資材を使用し、特にメディアロールの最大重量や最大直径を守らない。
- 予定されているグリスアップ作業を行わない。
- 指示に従わない。
- 保守ルールに従わない。
- Mimaki の認可を受けていない作業員が修理を行う。
- 不適切な修理を行う (オリジナル以外のスペア部品を使用する)。

備考 :Mimaki 公認の技術者以外の方が、本機やその機能および本書に対して変更を加えることは、変更の種類や規模を問わず厳密に禁じられています。

安全上の注意事項

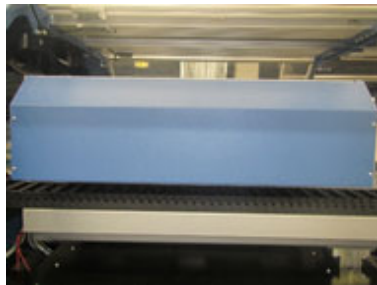
以下の作業を行う時は特に注意が必要です。



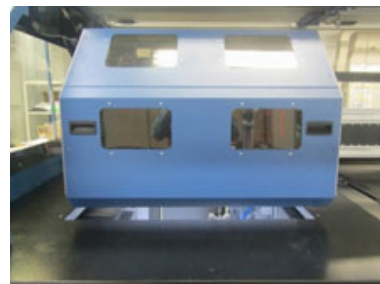
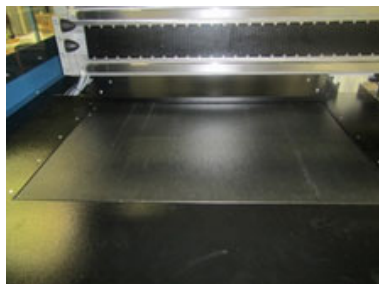
- ベルトに地張り剤を塗布する場合は、キーを [ON] にしてください。



- ベルトを低速で操作する場合は、ベルトヒーターを [OFF] にしてください。
- 電源を入れた状態で、一次電源と接触の可能性がある場所を開かないでください (本体の電気ユニット、キャリッジのリアカバー、ドライヤー電気ユニット)。

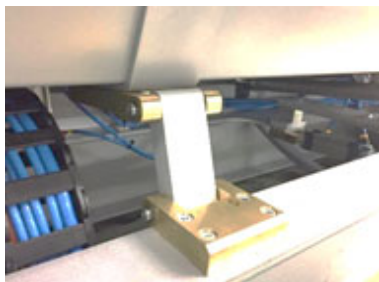


- 保守スペースでキャリッジの下面で作業する場合、必ずキャリッジが保守スペースに届いてからドアを開けてください。





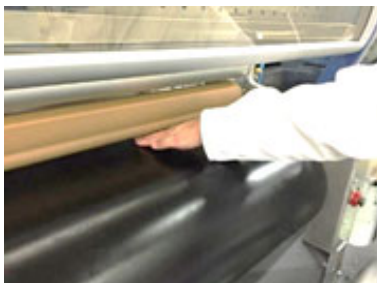
・洗浄ユニットに手を挟まれないように注意してください。



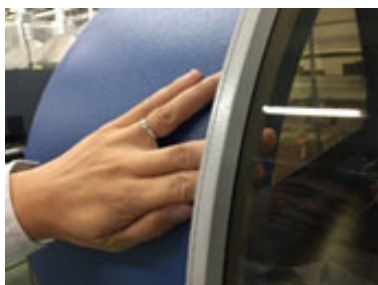
・テンションバーに手を巻き込まれないように注意してください。



・加圧ローラーに手を巻き込まれないように注意してください。



・カバーに手を挟まれないように注意してください。





- ・ヒーターの上部カバーに手などを巻き込まれないように注意してください。



- ・ベルトエッジカバーの端部に手を挟まれないように注意してください。



電気装置

この装置は、仕様書およびお客様と取り決めた機能を実行するように設計および製造されています。人命や、本機または製品に危険が生じる場合があるため、他の用途に使用することは禁止されています。

電気供給

装置は、以下の電気供給項目の条件を満たす場合、正しく機能します。

電圧	AC380 V ±10 %
周波数	50 Hz ±1 % または 60 Hz ±1 %
相数	3 相 5 線 (L1,L2,L3,N,PE)

修理

本機に障害または不具合が生じた場合は弊社に通知する必要があります。弊社にて技術者への指示およびお客様に問題解決に必要な情報をお伝えします。



- ・本機の操作は、保守作業員または訓練を受けたオペレーターが行ってください。
- ・操作中は、本機に危険な電圧が掛かっています。
- ・警告に従わない場合、オペレーターが負傷する可能性があります。
- ・本機や本機周辺の作業を行えるのは保守作業員、オペレーターのみです。
- ・オペレーターは、本書に記載されている危険な状況と保守手順をすべて把握しておく必要があります。

安全注意事項全般

本機の操作については、本書作成段階において入念かつ徹底的に分析されています。

したがって、指定したオペレーターの人数とその適性および作業手順が最適化されるため、オペレーターの安全性と健康および最終目標の実現が確保されます。

適性や作業手順が変更されてオペレーターの人数が増減した場合、オペレーター自身の安全性が深刻な危険にさらされたり、目的の結果が得られなくなる可能性があります。



- ・雇用主は、本機を操作するすべてのオペレーターに本書を公開する責任があります。

安全上の指示

本機は、通常操作による状況下で安全性が確保されます。ただし、作業中の安全性レベルをさらに向上させるためには、オペレーターが危険予防の意識を取り入れることをお奨めします。

特に、以下の予防策を講じてください。

- 本機の起動操作、保守、その他作業の前に、本書に記載の操作マニュアルをよく読んでください。
- 本書と、本機に直接貼付されている安全標識に記載の安全性および警告に関するすべての情報に厳密に従ってください。
- オペレーターは、機械の使用要件をすべて満たす必要があります。
- オペレーターの安全性を確保するための保護デバイスを設置して操作可能な状態にしておく必要があります。
- 特に、作業シフトごとに本機を起動する前に、本体カバーが正しく配置されているか、安全性デバイスが正しく動作しているか、搭載設備が正しく設置されて動作しているかを確認してください。
- 作業中は、安全性に関する規則で求められる個々の保護デバイスを必ず使用してください。
- 重傷を招く可能性があるため、プレスレット、指輪、ネックレスなどは身に付けしないでください。作業の開始前に、このような危険の可能性があるものはすべて外してください。
- 設置を開始する前に、設置場所に危険な状況がないかを確認し、本機内または本機上に異物が残っていないことを確認してください。
- 本機の起動シーケンスは、必ず推奨されているとおりに実行してください。
- 操作中は、本機の動作領域に近づかないでください。
- 本機の可動部品や帯電部品の近くまたは内部、あるいは電装ボックス内に手を置かないでください。
- 暗い場所では作業しないでください。利用可能な照明をすべて使用し、正常に動作するようにしてください(300ルクス以上)。
- 動作や思考の鈍化を招く可能性のある薬剤や飲料を摂取した状態での本機の使用は控えてください。
- 何らかの操作を行う前に、すべての予防策に取り組み、それらを講じてください。
- 本機を使用中は無人状態にしないでください。
- 必ず、作業領域全体がはっきり見えるようにしてください。
- 作業領域は常に清潔にしてください。
- 搭載機器の動作に何らかの異常がある場合は、弊社保守作業員に通知してください。
- ルーズな衣服を避け、防護服を着用してください。

保守時の安全性

- 保守作業は、保守作業員が行ってください。
- 保守やグリスアップを行う前に、本書に記載の手順で本機を停止してください。
- 構成部品の取り外しや設置をリフトを使って行う場合は、リフトの耐荷重を確認してください。
- つり上げ後は速やかに支持部やスタンドに荷重を移してください。
- 起動中に本機への昇り降りは行わないでください。
- 部品の清掃にガソリン、溶剤、可燃性液体を絶対に使用しないでください。商用の不燃性で非中毒性の洗浄剤を使用してください。
- 地面や床から届かない場所での修理や保守が必要な場合は、各国や地域の規制に従い、はしごや昇降式の踏み台を使用してください。
- すべての保守と修理は、本書の記載に従い、注意して行ってください。
- 個人保護具を必ず使用してください。
- 現在の安全基準に準拠した電動工具を使用してください。
- 本機を起動する前に、保守作業を実行している人がいないことを確認してください。
- 支持や固定が不十分な場合、本機の動作領域の下または周辺で作業しないでください。
- 側面シールド付きの保護メガネをかけてください。
- 本機は、意図された用途使用条件に従って操作してください。
- 本機の使用は、使用する国や地域の現行の安全基準に従わなければなりません。
- 本機の所有者は、安全が確実に守られている状態で、その保守を行う責任があります。
- 本機の所有者は、動作条件に適した間隔で本機を見直す必要があります。
- ルーズな衣服を避け、防護服を着用してください。

警告ラベルについて

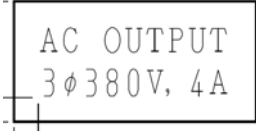




Warning label/ 警告ラベル

Part No.	Label name	Fig.
	Caution label-movable part/ 保護のない可動部注意銘板	
M903330	Caution label-works/ 作業注意銘板	
M912054	Caution label-pinching/ はさまれ注意銘板	
M907935	Label-Danger voltage/ 感電注意銘板	
M910931	Caution label-front cover falling /カバー落下注意銘板	
M901581	Caution label/ 注意銘板	
M909381	Caution label-Y bar/ 可動部注意銘板	
M903764	Caution label- UV power voltage/ 感電注意銘板	
M914168	Caution label-applying glue/ 地張り剤張替時注意銘板	

M914167	Caution label-belt/ ベルト回転注意銘板	
M903404	Caution label-movable part/ 可動部注意銘板	
M903239	Caution label-Temperature/ 高温注意銘板	

Prohibition label/ 禁止

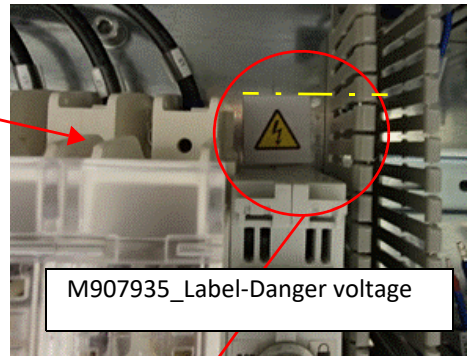
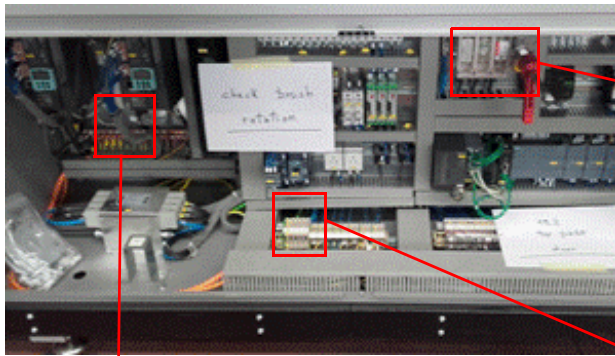
Part No.	Label name	Fig.
	Prohibition label-prohibition on removal of safety guard/ 安全ガードの取り外し禁止銘板	
M903406	Ground label/ 保護アース接続銘板	
M913888	Label-C.10 mark	
M916752	Tiger1800B Mk3 rated label/ Tiger1800B Mk3 機種銘板	
M915604	Caution label- two outlet/ 2 電源注意銘板	<p>注意</p> <p>このシステムはAC100Vの電源を必要とします。 システムが正常に動作するためには、電源が安定に供給される必要があります。</p> <p>Caution</p> <p>This printing system has two power supplies. To turn off the system power for maintenance, please turn off the power of each of the printer unit and dryer unit.</p>
M915603	Power connection label/ 配線銘板	

M915602	Feeding relay connector rated label/ 繰出し用出力銘板	
M915605	X12ETH-3 Mark label/ X12ETH-3 マーク銘板	
M915601	PC outlet rated label/ PC コンセント定格銘板	
M915598	DRYERJET rated label/ DRYERJET 定格銘板	
M915608	Main switch label/ 主電源スイッチ銘板	

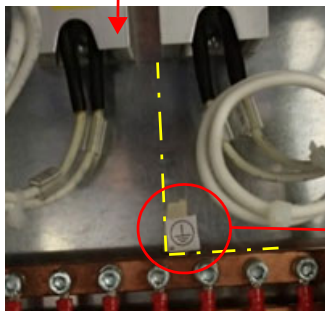
警告ラベルの表示位置

- 本機に貼られている警告ラベルを取り外さないでください。
- ラベルは、はっきりと判別できるようにして、部品で覆われないようにしてください。
- ラベルが劣化した場合は、弊社に依頼して交換してください。

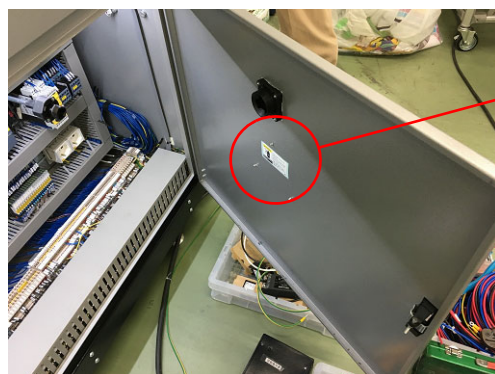
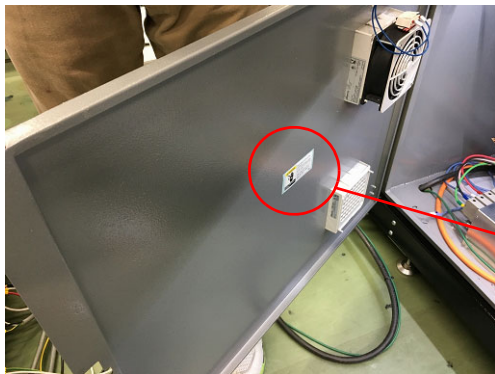
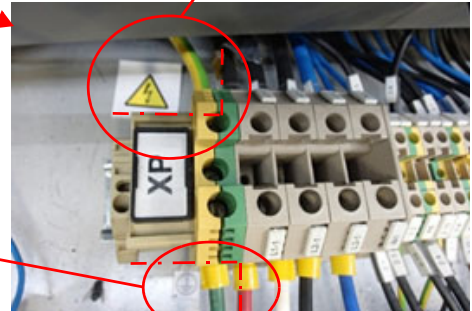
(1) Electrical box/ 電装 Box



M907935_Label-Danger voltage

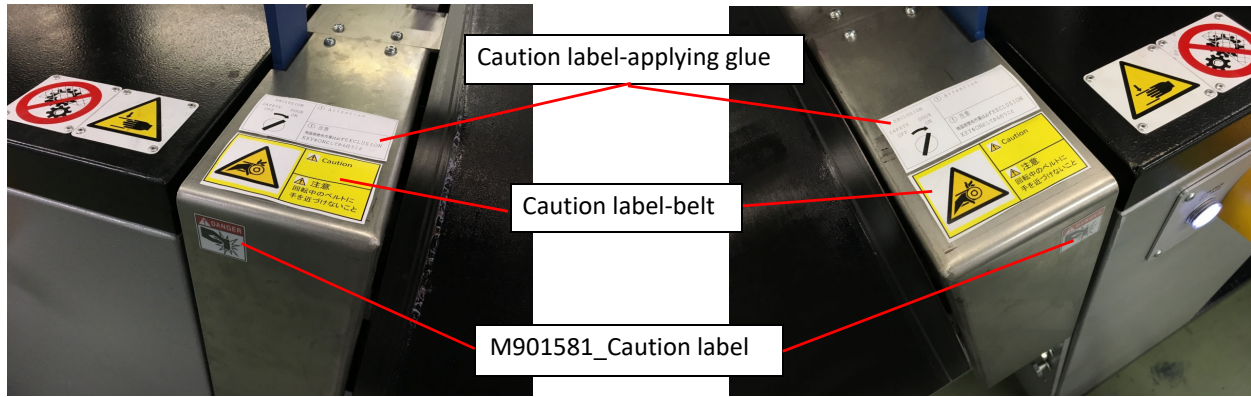


M903406-00_Ground label



M903764_Caution label- UV power voltage

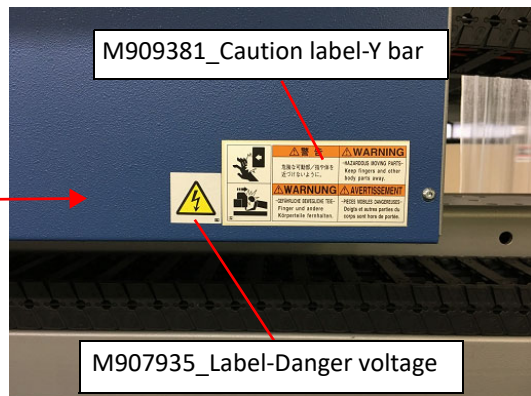
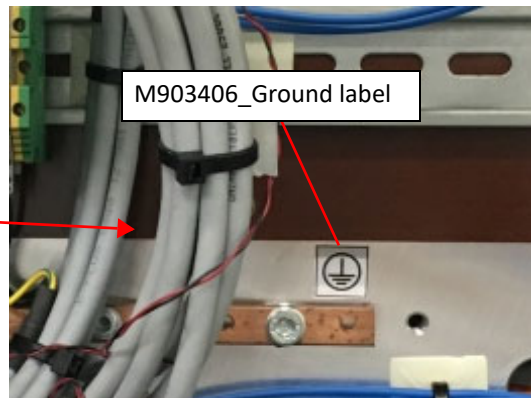
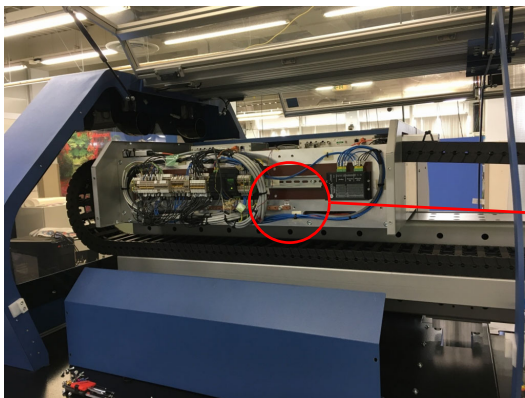
(2) Belt/ ベルト
Front/ 正面



Rear/ 背面



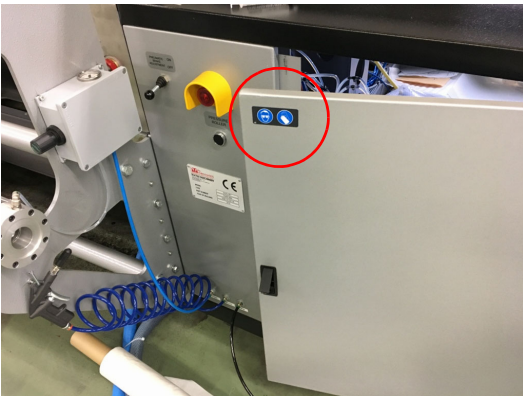
(3) Carriage/ キャリッジ



(4) Left front cover / 左正面カバー



(5) Left rear cover/ 左背面カバー



(6) Right rear cover/ 右背面カバー



(7) Right side cover/ 右側カバー



(8) Station/ ステーション

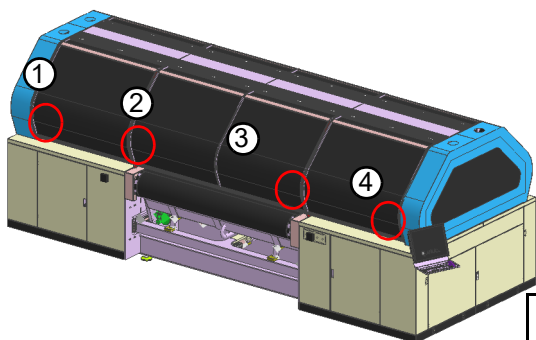


(9) Model name label/ モデル名銘板

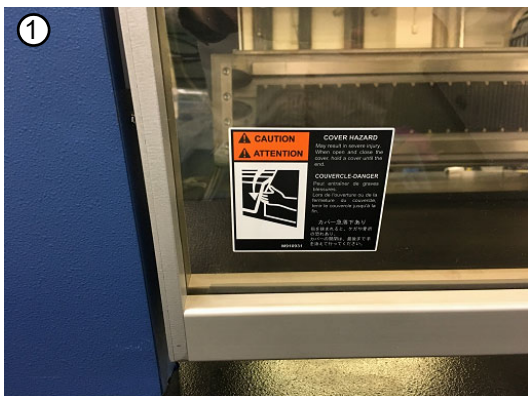


1

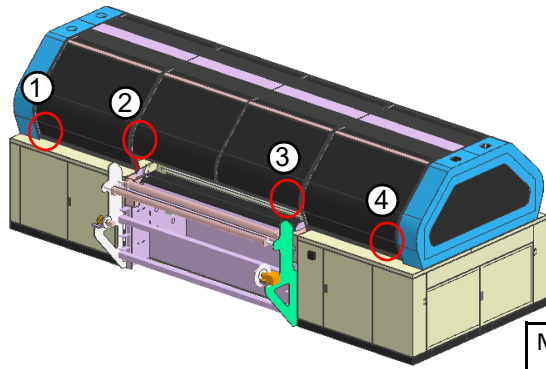
(10)Plastic cover/ カバー
Front side/ 正面



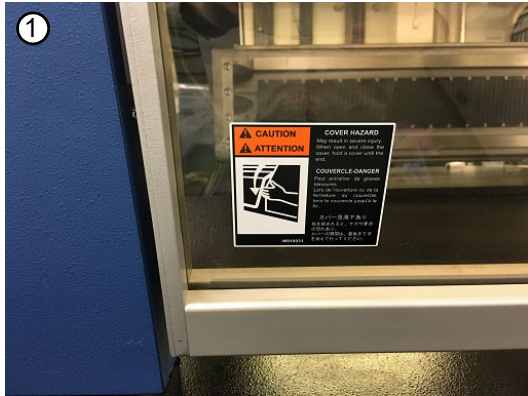
M910931_Caution label-front cover falling : 4 pieces



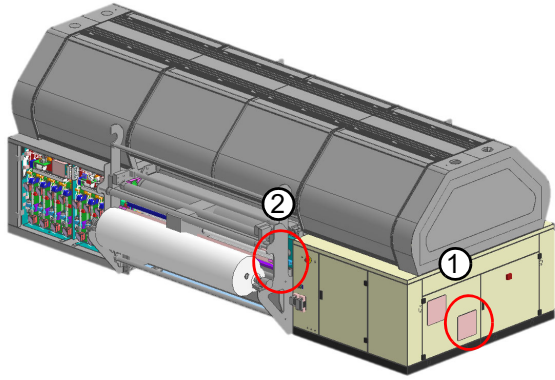
Back side/ 背面



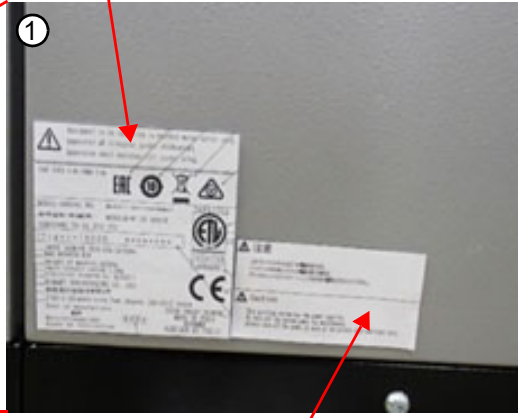
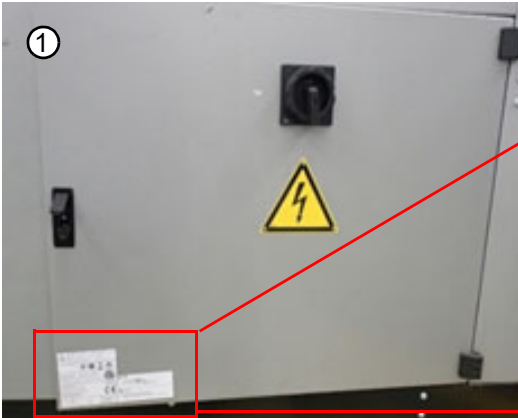
M910931_Caution label-front cover falling : 4 pieces



(11) Display label/ 表示ラベル
Electrical cabinet side/ 電装キャビネット側



M916752 Tiger1800B Mk3 機種銘板



M915604 2 電源注意銘板

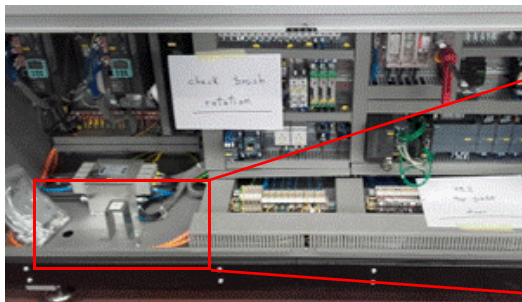


M915605 X12ETH-3 マーク銘板

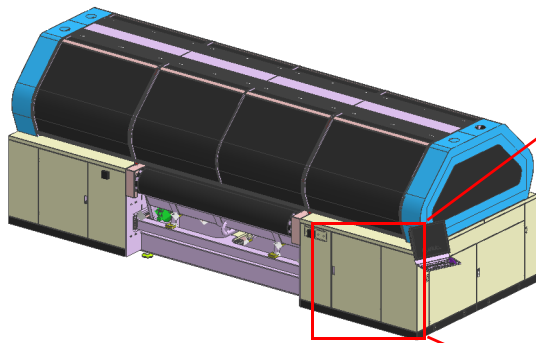


M915602 繰出し用出力銘板

M915603 配線銘板



M915601 PC コンセント定格銘板



第 2 章 概要説明



この章では、
本機の主要ユニットの概要と特徴を説明します。

概要説明	2-2
主要ユニットの説明	2-2
線出しユニット	2-2
機器の主要部品	2-5
全体の寸法	2-10
本機の識別	2-11

概要説明

ML Tiger-1800B MK III は、テキスタイル用のインクジェットプリンターです。

本機は、各種生地または転写紙（以下メディア）へのイメージやパターンの印刷に使用されます。

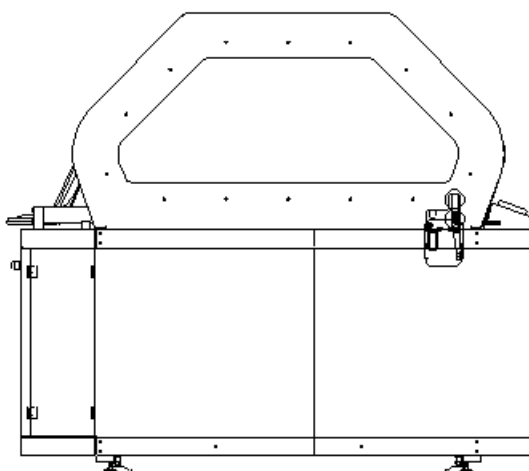
印刷品質は、メディアを搬送するベルト、メディアをベルトに接着させる加圧ローラー、搬送ベルトに付着した余剰インクを除去するベルト洗浄ユニットによって保証されます。

本機は自動モードで機能し、以下の場合にオペレーターの作業が必要になります。

本機の稼働には、本体（プリンタ部）に加え、ご使用の用途に適した繰出しおよび巻取りユニットが必要です。

- メディアの装着
- 本機でのメディアの繰出し
- 水を交換する際のタンクの取り出し、ブラシとスキージブレードの保守および交換
- ベルトへの地張り剤の塗布
- 印刷済みロールの取り外し

本機は、以下のユニットで構成されます。



- 本体：
 - 搬送ベルト
 - 加圧ローラー
 - ヒーター
 - ベルト洗浄ユニット
 - インク供給装置
- オプション：
 - 巻取りユニット
 - 繰出しユニット

主要ユニットの説明

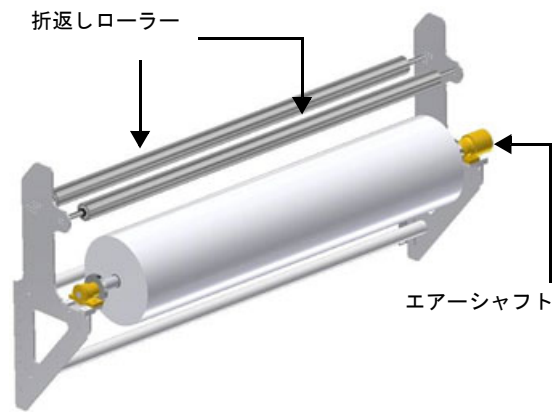
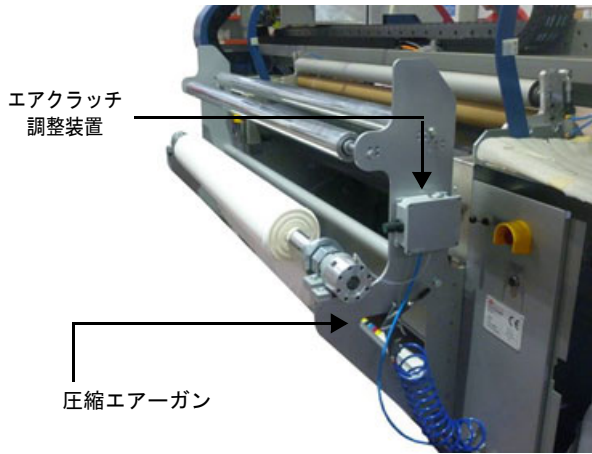
以下、主要ユニットについて説明します。

繰出しユニット

本体の後側に繰出しユニットが配置されています。このユニットは、プリンターのフレームに直接接続されています。このユニットにはメディアロールの紙管を挿入するエアシャフトがあります。このエアシャフトには圧縮エア取込み口があり（下図参照）、圧縮エアにより紙管内部と密着し、メディアロールを固定します。

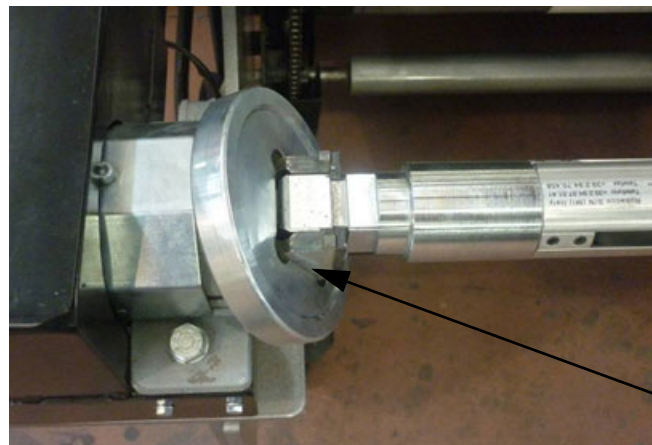
メディアが弛むことなく繰出しが正常に行われるように、本体の右側に空気圧クラッチがあります。これにより、レギュレーター経由で空気圧が調整され、エアシャフトに加わる制動力を増減できます。

このユニットには、繰出し用の2本の折返しローラーがあります。

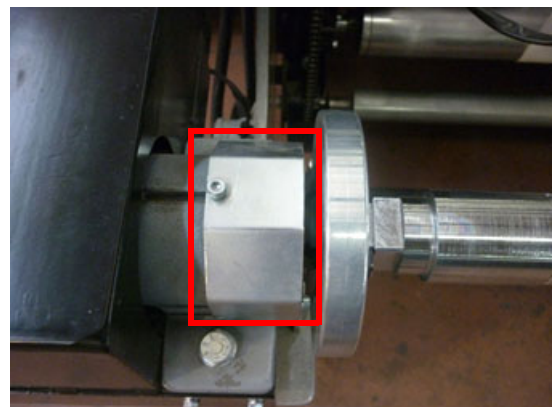
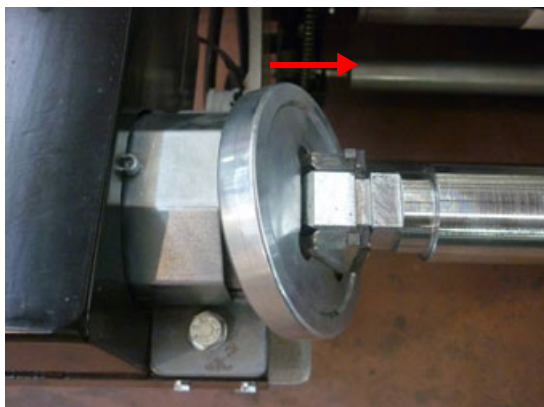




メディアロールの装着と取り外し操作の手順を以下に示します。

手順		メディアの装着 - 取り外し			
S	モード	キー	指示	機能	参考
1				セーフティーチャックからエアシャフトを取り出します。	下図
2				メディアロールの紙管内にエアシャフトを挿入します。	
3				ロールをセットしたエアシャフトをセーフティーチャックに戻します。必要に応じて、ロールリフターを使用してください。	下図








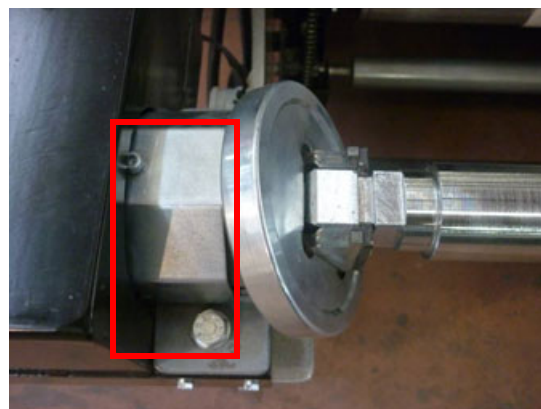
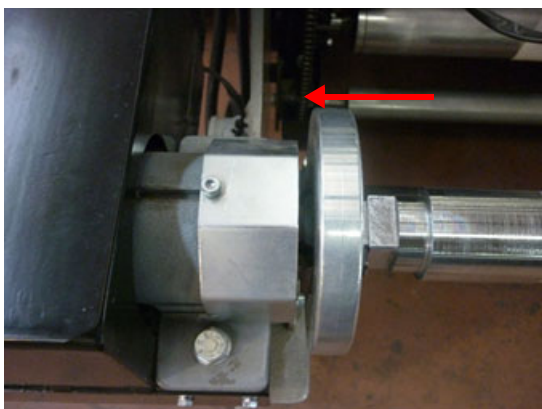
4				セーフティーチャックを元に戻して、エアシャフトが本機運転中に抜けないようにします。	下図左
5				図に示す金属保護部分が、その内部のスプリングによって静止位置に戻ります。	下図右





6				メディアを繰出します。	7-3
7				本体に接続したコンプレッサーで、エアシャフトに圧縮エアを注入します。	下図



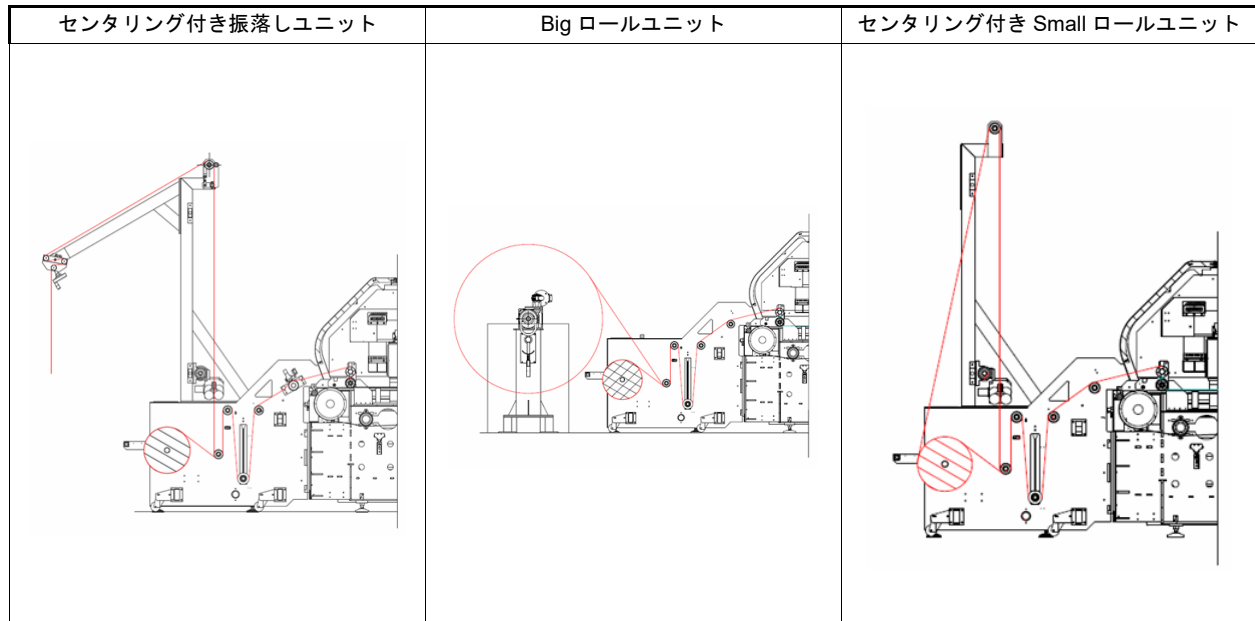
8				空気圧ブレーキシステムを ON にし、レギュレーターで圧力を調整します。	
9				本機の運転を開始します。	
10				メディアの印刷が完了したら、本機を停止して、チェックバルブを押すと、圧縮エアがエアシャフトから抜けます。	
11				空気圧ブレーキから圧力を抜き、手動モードでセーフティチャックを垂直に配置すると、シャフトロックが開きます。	
12				シャフトロックの上部を外側に押すと、図に示す保護部分が、この保護具に続いて動きます。	下図



13				空の紙管と一緒にエアシャフトを取り出します。	
14				空の紙管を取り出し、必要であればその紙管を印刷したメディアの巻取り用に再利用します。	
手順の終了					

オプション

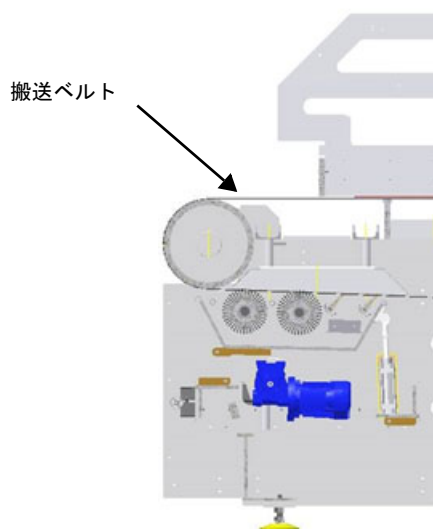
メディア投入には以下のオプションを使用することができます。



機器の主要部品

搬送ベルト

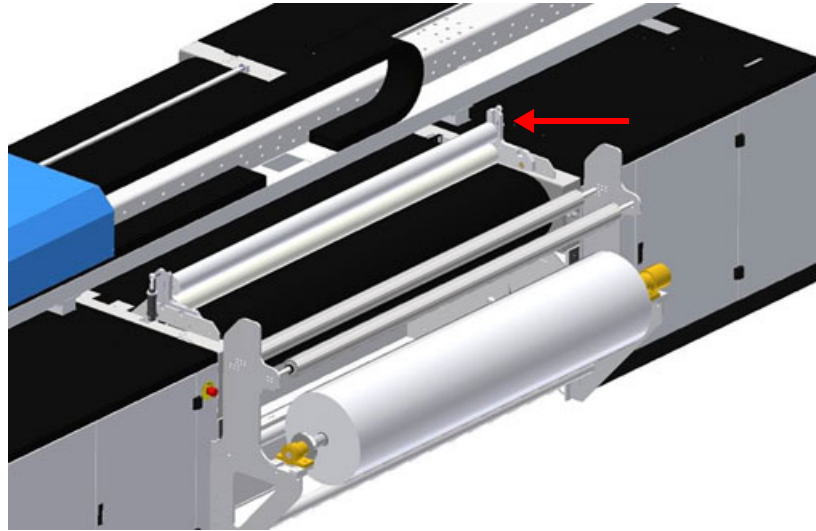
ベルトは、2つのコンベヤーローラー（一方はモーター駆動）と1つのゴムベルトで構成されます。ベルトの表面には、プリントヘッドの下を通過するメディアを完全に接着させて安定させる地張り剤層があります。ベルトは連続ではなく、断続的に移動します。ベルト停止時に1パスまたは数パス印刷してから移動するを繰り返すことによって、設定したイメージを印刷していきます。



加圧ローラー

加圧ローラーは、ベルトの初期位置に配置され、最終的な印刷物に影響を及ぼす可能性のあるしわの発生を防ぐために、ベルトにメディアを密着させます。さらに、ベルトとメディアの間の気泡を除去します。

加圧ローラーはプリント時に下降し、メディアに接触して搬送させます。加圧ローラーの上下動作はエアシリンダーで動作しています。

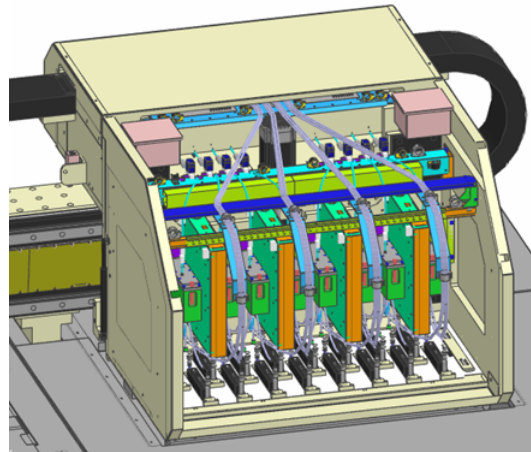


ヒーター

搬送ベルトの下には2つの赤外線ヒーターがあり、ベルトの表面を加熱し、地張り剤の接着力を回復させます。

キャリッジ

このユニットは、プリントヘッドを搭載しベルトの移動に対して垂直に移動します。ベルトが停止するとユニットが作動し、1回以上動いて、設定したイメージを印刷します。



キャリッジは、8個の独立したモジュールのそれぞれに2個のプリントヘッドを搭載できる（プリントヘッド：最大16）構成となっています。

ベルト洗浄ユニット

このユニットは、ベルトの埃、残留物、汚れを除去します。

スキージブレードは、下部領域の金属部品や、先端のゴムシールで構成され、ブラシ操作と洗浄操作で生じる水を除去します。

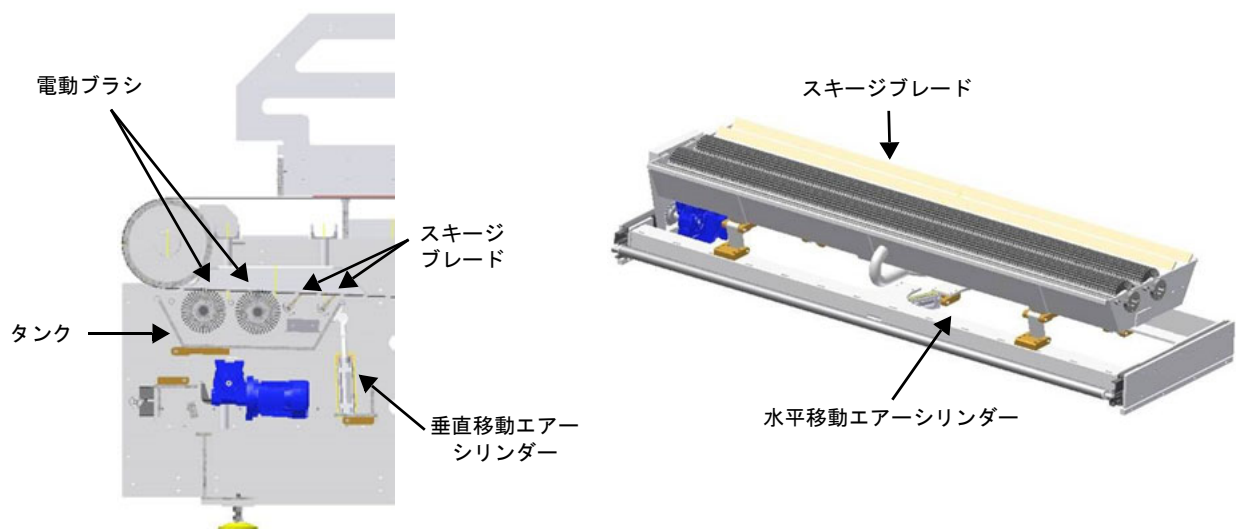
スキージブレードで取り除かれた水は、ブラシの下にある回収タンクに戻ります。

ベルト動作がオフになるとタンクの位置は下がり、運転中はタンク下部の3つのエアシリンダーが上昇して、スキージブレードとブラシがベルトに接触し、洗浄動作を行います。

洗浄水はバルブから排出されます。ブラシとスキージブレードの保守や交換を行う場合は、タンクをスライドさせて引き出すことができます。

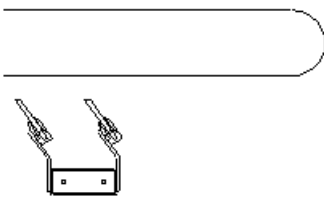
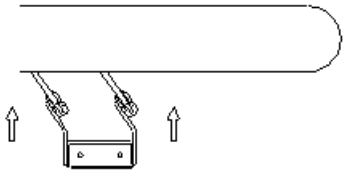
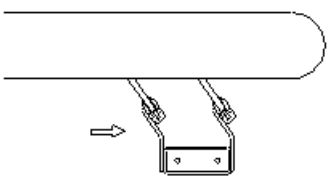
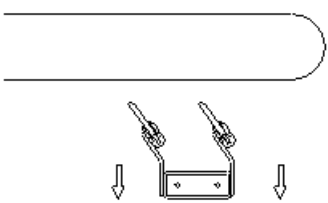
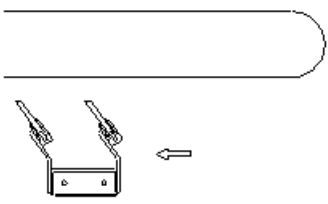


・本書内の写真は、概略説明として掲載しているため、必ずしも設置したバージョンを示しているとは限りません。実際には、お客様による特定のリクエストによって写真とは異なる場合があります。



タンクは、水平と垂直の両方に移動します。

可動式スキージブレードの機能は、以下に示すように、残った洗浄水をすべて除去することです。

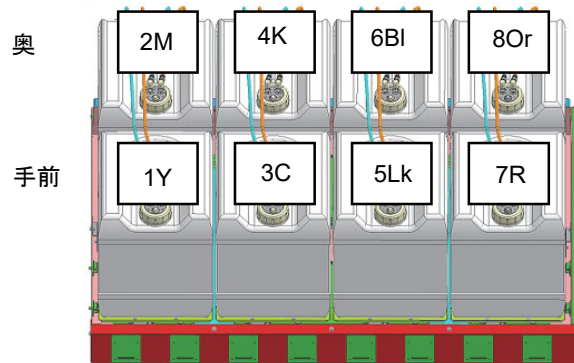
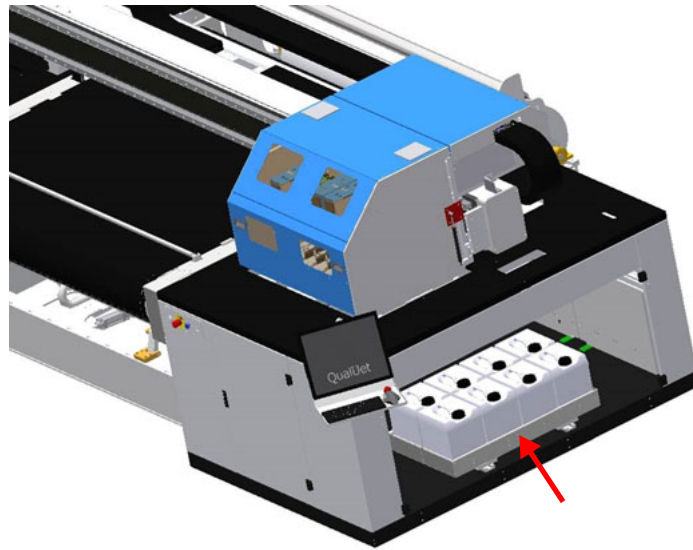
手順		スキージの移動	
S	モード	操作	参考
1	AUT.	<p>ベルトが移動していない場合、洗浄タンクは低い位置にあるため、スキージブレードはベルトに接触しません。</p> 	
2		<p>ベルトフィード開始を選択すると、タンクがエアシリンダーによって上昇し、スキージブレードとベルトが接触します。</p> 	
3	AUT.	<p>タンク上昇後、スキージブレードは、ベルトの逆方向に水平移動します。移動後、ベルトフィードが始まります。</p> 	
4		<p>ベルトの洗浄が終わると、ベルトが停止し、エアシリンダーによってタンクの位置が下がり、タンクがベルトから離れます。</p> 	
5	AUT.	<p>水平移動エアシリンダーにより、第2タンクのスキージブレードが初期位置に設定されます。</p> 	
手順の終了			



• 図は概略であり、ベルト洗浄時の洗浄タンクの動作のみを図で示しています。

インク供給装置

キャリッジに取り付けられたプリントヘッドへ純正インクを供給します。
インクは、本機の右側のキャビネット内にある8つのタンクに入っています。



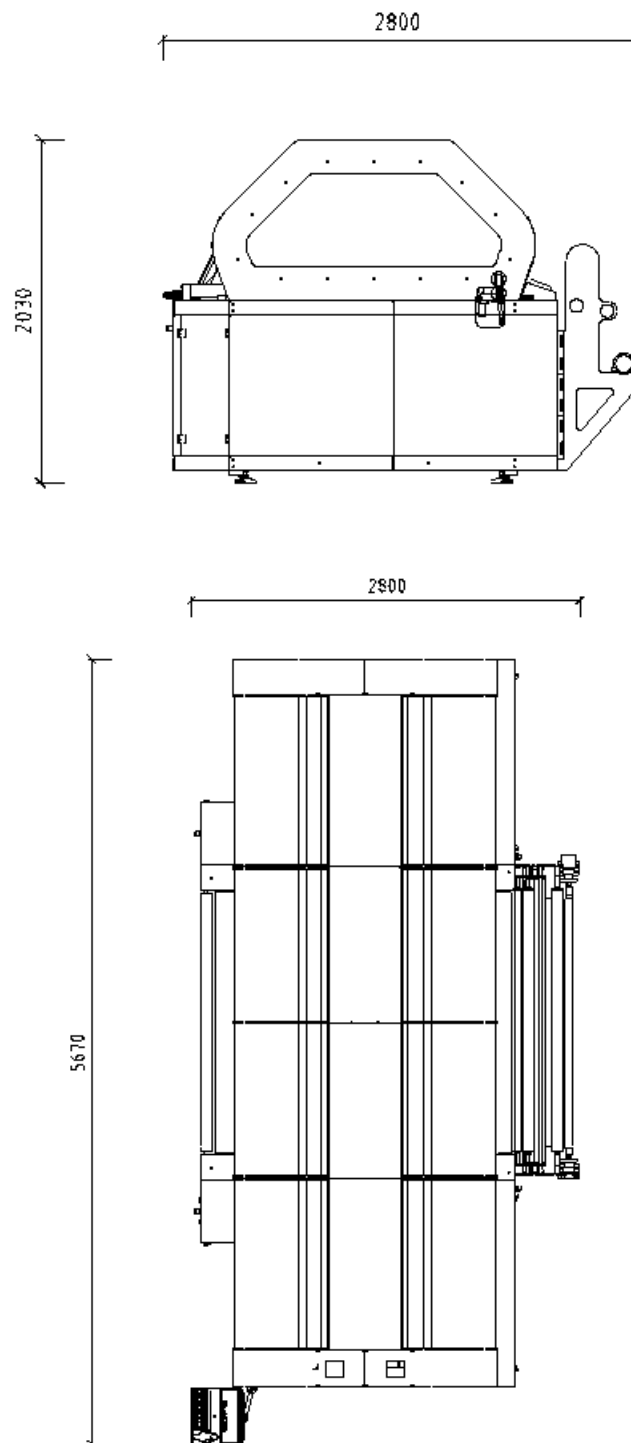
インクタンクのレイアウト

全体の寸法

本機の寸法

以下、本機の最大寸法（標準機）を示します。

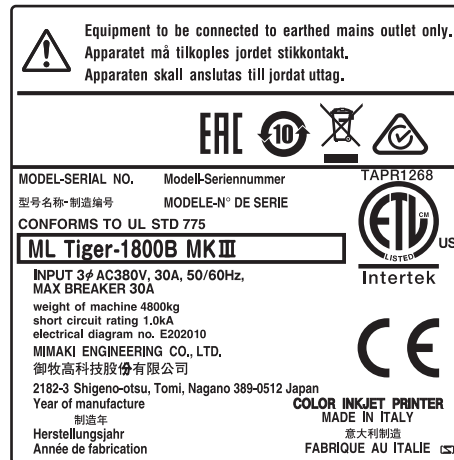
表	特性	データ
▶	最大長	≈ 2800 [mm]
▶	最大幅	≈ 5670 [mm]
▶	最大高さ	≈ 2030 [mm]



本機の識別

本機は、貼付されている機種統一銘板で識別できます。

- メーカー名：Mimaki
- 型式：ML
- タイプ Tiger-1800B MKIII



銘板の取り外しや、同じ型式の他の本体の銘板との交換は禁止されています。

銘板が誤って破損した場合や本体から剥がれた場合、お客様は Mimaki に知らせて交換用のラベルを依頼する義務があります。

第3章 使用上の注意事項



この章では、

本機の意図した使用、不正使用などについて説明します。

意図した使用	3-2
不正使用	3-2
オペレーターによる緊急停止	3-2
本機の耐用寿命	3-2

意図した使用

ML Tiger-1800B MK III は、以下のデータすべてを順守する場合に限定した使用を意図しています。

表	特性	データ
▶	最大印刷幅	1850 [mm]
▶	ベルト幅	2000 [mm]
▶	印刷技術	インクジェットプリントヘッド×16
▶	メディアの送り出し	ブレーキ機能付きロール軸繰出し装置 ロールの特性：直径 400 [mm] – 重量 100 [Kg]
▶	インク色	8 色 (C,M,Y,K,R,Or,BI,Lk)
▶	インク供給	10 L タンク ×8
▶	インク種	反応染料インク
▶	供給電圧	380 [V] 3 相 5 線 (L1、L2、L3、N、PE) 50 [Hz] / 60 [Hz]

本機の使用は、付属のドキュメントをすべて読み、本機の使用およびメディアロールの取り扱いと繰出しに関連する手順を把握したオペレーターに限定してください。

これにより、異常状態や危険状態での本機の使用が回避されます。

不正使用

本機は、合意された目的で使用し、現行マニュアルに記載の特性に準拠した特性で操作してください。

契約による合意とは異なる使用をする場合は、事前に弊社による書面での認が必要になります。

このような認がない場合は不正使用と見なされるため、弊社は、人や物に影響を及ぼすような結果が生じてもいかなる責任も負いません。したがって、保証は無効になります。

誤使用により本機が停止したり、停止期間が長期になる可能性があります。その場合、お客様は Mimaki 公認の作業員を呼ばざるを得なくなります。

オペレーターによる緊急停止



- ・障害やオペレーターの危険が生じた場合、損傷の拡大を防ぐため非常停止スイッチを押して本機を停止してください。

機械的な故障が生じた場合、損傷した箇所を交換するために、主電源から電力、水力、空気動力(ある場合)を遮断し、回路内の残圧を開放して本機を停止する必要があります。

本機の耐用寿命

本機の想定耐用寿命は、本書に記載のとおりを使用して保守を行った場合、約 30,000 時間です。この期間は、「意図した使用」の項の記載内容に従った使用を想定した寿命であり、修正、特殊な用途、技術的な更新により、変化する場合があります。

第 4 章 設置



この章では、
本機の設置について説明します。

概要	4-2
作業員の適性	4-2
設置場所の準備	4-2
設置要件	4-3
装着、配置、設置の手順	4-3
吊り上げ手順	4-4
開梱と配置	4-5
接続	4-7
保管条件	4-8

概要

本機は、主要ユニットに分かれているため、搬送と設置が容易です。

搬送および設置作業は、この章に記載の指示に従い、専門の作業員のみが実行してください。



- 搬送用に確保された場所から設置場所まで、本機を取り扱うすべての場所を事前に特定し、危険区域がないかどうか事前に調べておく必要があります。
- 高圧または高温の電気系統、液体またはガスの導管に注意してください。現地の法律や規制に従ってこれらの導管を絶縁し、帯電を防止することが義務付けられています。
- すべての作業を最大限の注意を払って行い、吊り上げの際は、指定されたとおりの吊り上げポイントや適切な設備を使用することが義務付けられています。本機の吊り上げやその移動時には、人がいないことを確認してください。移動の際は、本機の下や周辺を誰も通らないようにしてください。

作業員の適性

取り扱いや取り外しの段階でフォークリフトトラックとクレーンを使用する場合、有資格作業員が作業することを義務付けられています。

設置場所の準備

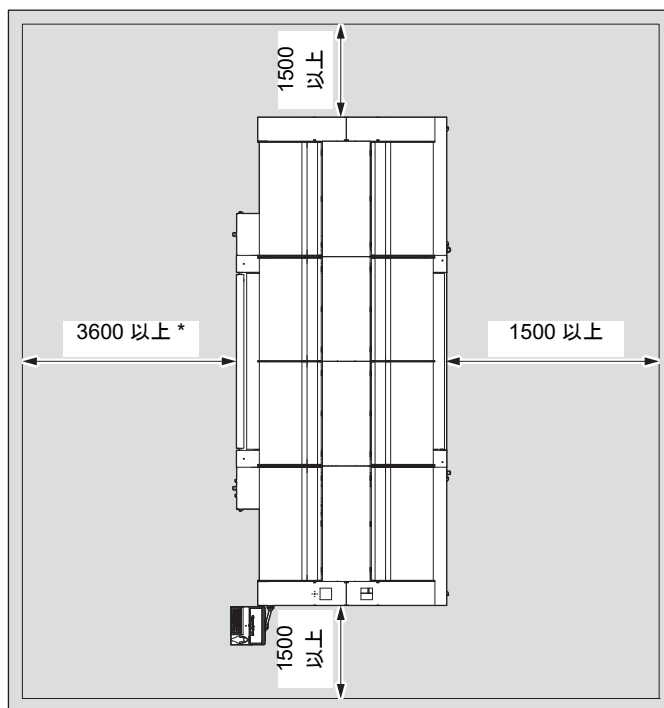
本機を設置するための基礎工事は不要です。確保した場所の床の上に配置するだけです。

設置場所では、電気系統や空圧系統への接続が装備されている必要があります。



- 設置作業を開始する前に、床が本機の重量を十分に支えられるかを確認してください。

本機の周囲には、以下の図に示すスペースを確保してください。



* ダイレクト捺染モデルの場合です。
昇華モデルの場合は 4400 以上。

設置要件

本機は、その重量を支えて操作時の振動を吸収するのに十分な強度を持つ、安定した水平面に設置します。

設置場所の光源（自然または人工、あるいはその両方）を使用して、オペレーターの通常のワークステーションとなる場所と制御パネルの場所に対して 300 [ルクス] の最小照度を確保してください。

環境条件

本機は、以下に示す条件で屋内で使用するように設計されています。

- 設置：最大 2000 [m] (海拔)
- 精度保証温度：+20 ~ +25° [C]: 指定温度で本機が適切に機能することが保証されます。ただし、わずかな変化でも印刷に影響を与えます。
- 使用可能温度：+15 ~ +30° [C]
- 保管温度：+5° ~ +35° [C] が適正温度です。
- 相対湿度：35 [%] ~ 65 [%] の範囲（結露なし）で正常な運転が保証されます。
- 電磁界：本機、特にキャビネットを、操作に干渉する可能性のある磁界にさらさないでください。
- Mimaki は、本機の不正な操作や、上記以外の条件で本機を使用した場合に指定の仕様と一致しない操作については一切の責任を負いません。

振動を除去する手段

可動部品の適切な保守とグリスアップを行うことにより、本機で特別な振動が生じなくなります。したがって、振動が異常発生した場合は、可動部品の誤作動や異常摩耗がないかを正確に確認する必要があります。

装着、配置、設置の手順

本機の配置と設置の際、特定の作業（取り外した部品を下ろす作業や配置作業など）はお客様側で行うことができます。他の作業（本機の組み立てや電源への接続）については、契約ですでに規定されているとおり、Mimaki の作業員だけが実行する権限を持っています。



- 本機は、購入者によって事前に正しく処置された場所で、床が本機の重量を十分に支えられる場所に配置してください。

操作を以下に示します。

手順		装着、配置、設置の手順			
S	モード	キー	説明	機能	参考
1				本機から保護材を取り除きます。	
2				本機のサイズを考慮して、設置場所が清潔で障害物がないことを確認します。	
3				設置場所が前のステップの条件を満たしていない場合、本機の配置に適するようにその場所を清掃します。	
4				本機の各モジュールを持ち上げて、事前に決めた場所の床に置きます。	
5				本機とそのすべてのコンポーネントがゼロレベルで水平になっていることを確認します。	
6				本機の各種モジュール同士を接続します。	
7				電気系統と油圧系統の接続を行います。	4-7
8				梱包物（ポリエチレン、粘着テープなど）が残っている場合は取り除きます。	
手順の終了					



- 本機には、油が充填されて全体がグリスアップされているモーターが装備されています。
- 本機は梱包された状態で配送されるため、最初の起動前に清掃する必要はありません。



- 設置の際に、本機が輸送時に損傷していないかを確認してください。

吊り上げ手順

本機の主要部品を吊り上げる場合、適切な特性の橋形クレーンの使用をお奨めします。
付属品を収納した梱包を吊り上げる場合は、フォークリフトを使用します。



- 吊り上げ作業が本機に影響しないようにしてください。

本機の吊り上げロープは、図に示す特性が必要であり、表示のとおり配置されている必要があります。
本機を吊り上げる前にバランスが取れていることを確認し、必要に応じて、バランスが完璧になるようにロープを調整します。



- 本体の変形や損傷を防止するため、指示された以外の部品や付属品を吊り上げ作業に絶対に使用しないでください。

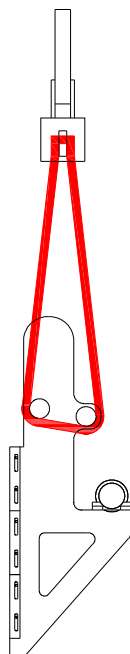
また、吊り上げロープが本機と接触またはこすれることによる部品の損傷がないかを確認してください。
稼働ユニット内で本機を簡単に移動できるようにタイヤが本機器に装備されています。



- 本書内の写真は、単なる説明として掲載しているため、必ずしも設置したバージョンを示しているとは限りません。実際には、最終的なお客様による特定のクエストによって写真とは異なる場合があります。

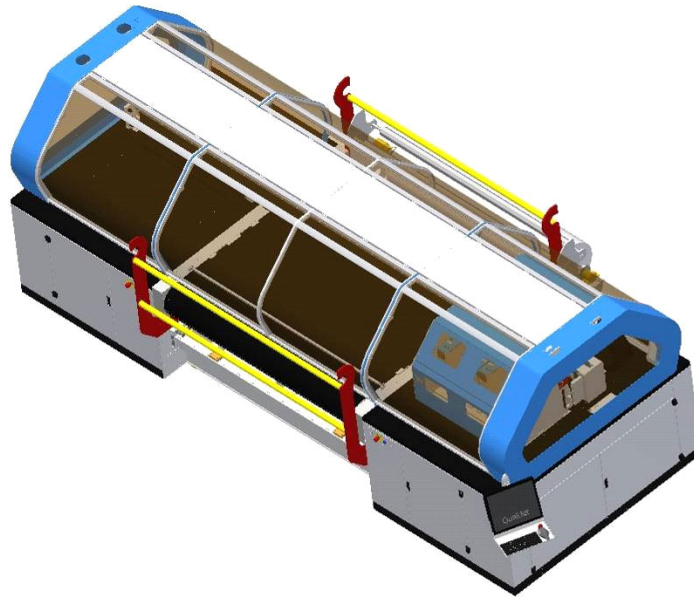
本機の部品を吊り上げる場合は、以降の図を確認してください。

組みつけられたワイヤーを吊り上げるには、2本のローラーを固定しているネジを緩めてから、吊り上げることができます。



適切な吊り上げケーブルを使用し、下図に示すフックにそのケーブルをかけてプリンターを吊り上げることができます。

フックの位置は、特殊な金属製タイロッド(黄色)によって保持されます。



開梱と配置

本機は、完全に組み立てられた状態で配送されます。搬送および設置作業は、本書に記載の指示に従い、専門の作業員のみが実行してください。



- 本機は、購入者によって事前に正しく舗装された場所に設置してください。設置場所の床は、すべての部品を取り付け後の本機の重量を十分に支えられるようにしてください。

配置は、以下のように進めます。

手順		開梱と配置			
S	モード	キー	指示	実施	参考
1				箱を開きます。	
2				保護用の詰め木と固定具を取り除き、本機に損傷を与えないように取り出します。	
3				ブラシレスモーターなどからプリンターを押さないでください。	
4				目的の場所にプリンターを置きます。	
5				収容されている洗浄タンクを取り出します。	
6				自動洗浄用の空気系統と水系統を接続します。	
7				電源を入れます。	
8				キャリッジを左右に動かして、接続を確認します。	
9				ベルトをジョグモードで動かして、動作を確認します。	
10				プリンターにメディアを配置します。	
手順の終了					

損傷の確認

この項に記載されている損傷とは、設置作業前のすべての段階（保管、輸送など）で生じる可能性のある損傷を指します。

本機を受領したらすぐに、部品の損傷や欠落がないかを確認してください。

本機に損傷が生じた場合や付属品が紛失した場合は、Mimakiの組み立て責任者に速やかに連絡してください。

本機の部品など、梱包から内容物を取り出す前に、箱やパッケージを入念に調べてください。これは、複数の付属品や個別の部品が同じ梱包で保護されている場合があるためです。

衝撃が原因で各種部品が物理的損傷を受けていないか、特に以下の点を確認します。

- 本体カバーにくぼみや破損がない。くぼみや破損がない場合は、部品を取り出し、保護されている部品が損傷していないことを確認します。
- 本機の各ユニットがすべて損傷していない。
- 未塗装の部品に錆の痕跡がない。
- 電装ボックスと各種保守部品（モーター、リミットスイッチなど）とのすべての外部配線につぶれや破損の痕跡がない。
- 各種ユニットのガイドに損傷の痕跡がない。



- 損傷がある場合、設置作業をすぐに止めて、本機の責任者に損傷の状態を伝えるか、必要に応じてMimakiに連絡してください。

設置場所に本機を搬送する前に、設置場所自体が清潔で、本機の取り扱いに必要な床面全体に他の資材や設備が置いていないこと、搬送ルートが明確であることを確認してください。

接続

電気接続、油圧接続、空気圧接続(ある場合)の規模は、機器の耐用性を考慮して、本書に記載の技術データ表に従い、適切に行う必要があります。

電気接続を行うには、準備と試運転に関する一般的な設置ルールに従ってください。

指定された接続は、専門の事業者が行ってください。



- ・「専門の事業者」とは、特別なコースやトレーニングを修了し、本機の設置、試運転、保守の経験を有した、事故防止に関するルールを認識している従業員を指します。専門の事業者は、応急処置のトレーニングを受けなければなりません。



- ・電源を接続する前に、本機を設置する部門の主電源を遮断します。

電気接続

本機への電源供給は電気工事が必要です。工事は電気工事業者に依頼してください。

本機は、主電源への制御キャビネットの接続が必要です。また、配電盤に適切な状態で接続する必要があります。メインネットワークにより、以下の電力が確実に本機に供給される必要があります。

表	特性	データ
▶	電圧	380 [V] AC ± 10% 3相5線 (L1,L2,L3,N,PE)
▶	周波数	50 [Hz] ± 1%, 60 [Hz] ± 1%
▶	ブレーカー	3相4線 380V、30A



- ・電気接続の前に、本機を接続する配電盤の主電源が切れていることを確認してください。

手順		電気接続			
S	モード	キー	指示	実施	参考
1				本機では、主電源への制御キャビネットの接続が必要です。これは、ネットワークの接地が適切な状態で行う必要があります。	
2				メインネットワークにより、本機に電源が確実に供給されなければなりません。	
3				電気パネルのカバーを適切なキーで開きます。	
手順の終了					

空気圧接続

本機は、空気圧システムへの接続が必要です。チューブの必須外径は 10 [mm]、必須内径は 8 [mm] であり、このチューブは、本機の底面に事前に正しく処置されたバルクヘッドコネクタに挿入されます。

チューブの経路が、人や車両の通行の妨げにならないようにしてください。

2つのバルブ(推奨直径 1/2 インチ)付きの補給チューブを設けます。このチューブは、保守作業時に本機の空気供給を停止し、排出します。

コンプレッサーの仕様は下記の通りです。

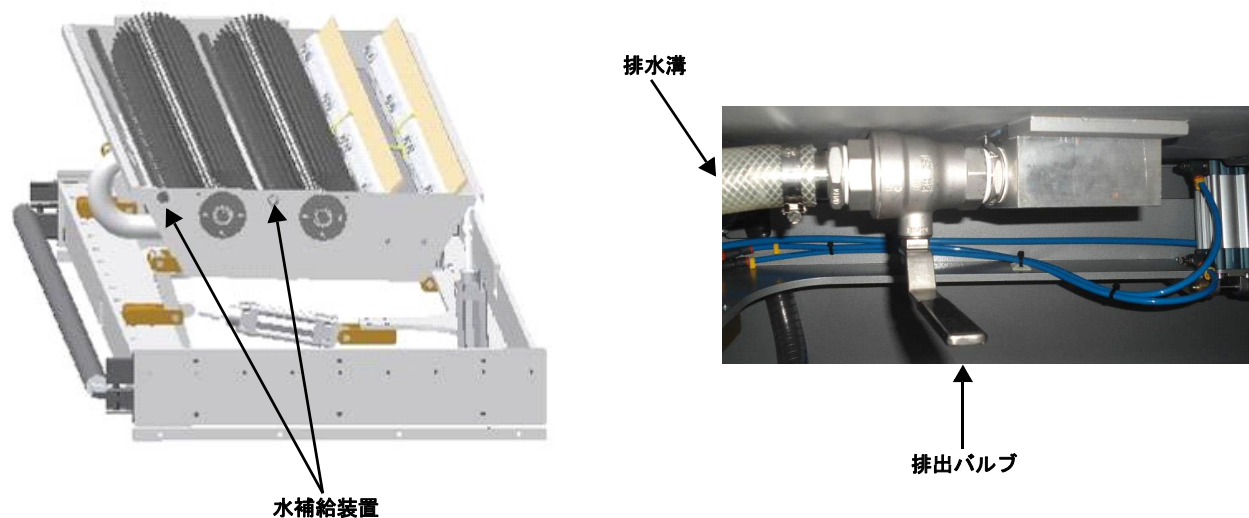
表 .4.7.2	特性	データ
▶	最小圧力:	6 [Bar]
▶	最大圧力:	8 [Bar]
▶	空気:	Dry air

水の供給と排出の接続

ベルト洗浄ユニットを正常動作させるには、内径 16mm のチューブを適切にソレノイドバルブに接続する必要があります。

洗浄水の排出の場合、本機を起動する前に、洗浄水の排水管が正しく接続されて水を適切に放出できることを確認します。

タンク領域の下部には、タンクの排水溝を開閉する排出バルブがあります。



接地接続

スチール構造の接地は、電装ボックスの端子台、アースバーに接続された絶縁線によって確保されます。

ユーザーシステムでは、プラントの全部品やすべての装置回路の接地保護は、個々の接地系統に部品を接続して行う必要があります。

使用する資材に十分な強度や機械的保護があることを確認します。

主要接地接続への配線をできるだけ短くして、接地導線が機械的応力や腐食の危険に曝されないようにします。

人や装置の安全性を確保するには、以下のルールを守る必要があります。

- ・電源特性が装置の技術特性と互換性があることを確認します。
- ・電源ケーブルと接続ケーブルを、装置の対応する端子にしっかりと正しく接続します。

ケーブルのシールドを上記の接地系統に接続してください。

装置の相導体の断面 $S[\text{mm}^2]$	保護接地導体の最小断面 $S_p [\text{mm}^2]$
$S \leq 10$	$S_p = S$
$16 < S \leq 35$	$S_p = 16$
$S > 35$	$S_p = S/2$

保管条件

出荷時に、酸化のリスクを被りやすい部品（ピンローラー、ガイドレール、機械加工部品など）は、グリスや保護スプレーで適切に保護しています。

短期の保管の場合は、乾燥した場所に置いて湿気から守り、梱包が損傷していないか、完全に乾燥しているかを確認します。各種接続に適用される保護を取り除かないでください。

長期の保管の場合は、前述の方法以外に予防策を追加で講じます。実際には、酸化のリスクがある全部品のグリスの保護層を修復する必要があります。

電気回路と電子回路の保全性や機能性を確保するには、存在する湿気の割合に応じてシリカゲルを定期的に交換してください。

保管場所の特性

保管する場合、以下の特性の場所に本機を置いてください。

7000×4000 [mm] の屋内

高さ 4000 [mm]

保管場所では、公認作業員が機器の吊り上げを無理なく安全に行えるように、移動性や操縦性が十分に確保されている必要があります。



- どのような物質も本機上に置くことは絶対に禁止です。

第5章

押しボタンパネル

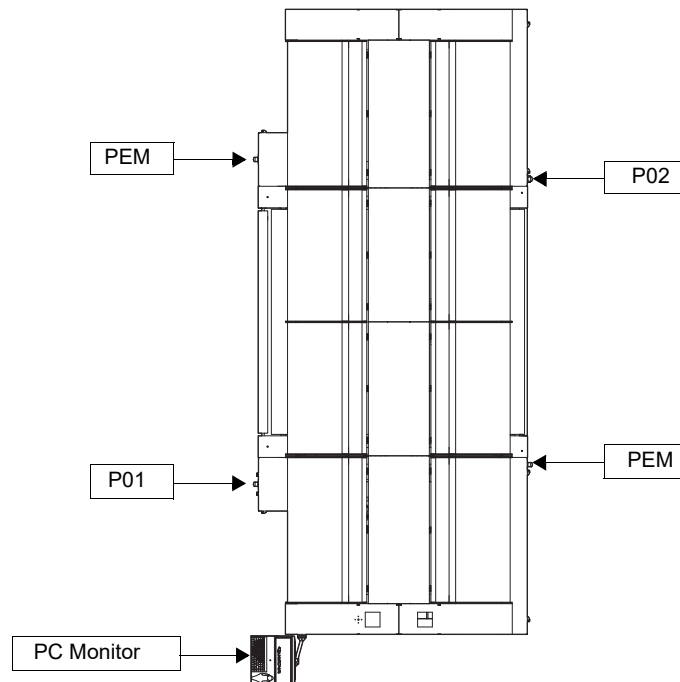


この章では、
押しボタンパネルについて説明します。

ワークステーション	5-2
押しボタンパネル (P02)	5-4
緊急停止ボタン (PEM)	5-4

ワークステーション

本機には、以下の図に示すように、1つのPCモニターと4つの押しボタンパネルがあります。



操作

オペレーターは、本機の使用時（特に以下の場合）は、PCモニターあるいはボタンの近くに留まるようにします。

- 押しボタンによる本機の起動
- 本機の使用の確認
- メディアロールの繰出し

主電源スイッチ

主電源スイッチは、電装ボックスにあります。主電源スイッチの上流領域を除いて、電気パネルの各部に対する電圧の投入や切断を行います。

装置を起動するには、ノブの位置を [I]（電圧投入に対応）に回します。

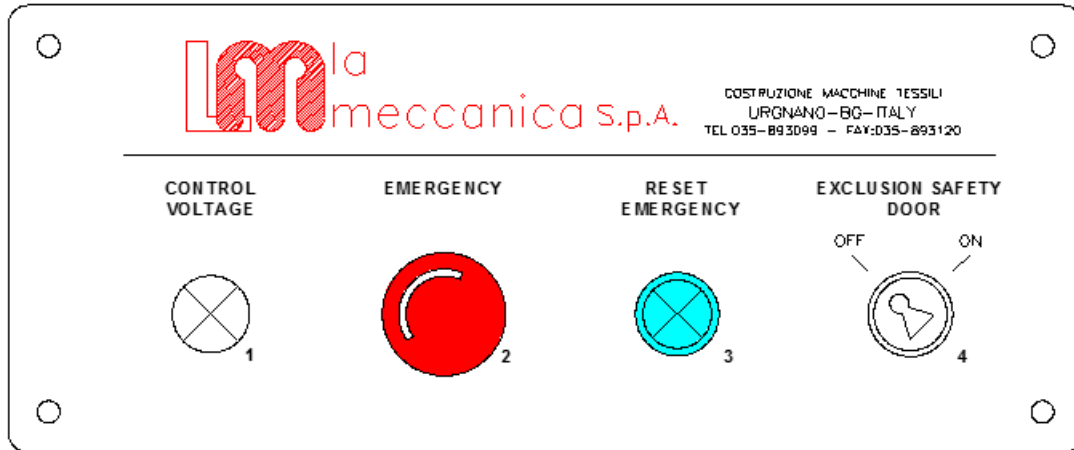
キャビネットのドアを開く必要がある場合は、ノブの位置を [0] にします。

鍵を所有していない人が本機を使用できないように、ノブをロックできます。

ガードを取り除いた状態での本機の使用は、保守作業員自身の責任となります。保守作業員は作業中他者の立ち入りを禁止します。作業完了後本機を通常の安全な状態に戻したことを確認してから、本機オペレーターに操作を委ねます。

押しボタンパネル (P01)

押しボタンパネル (P01) は、PC 画面の左側にあります。

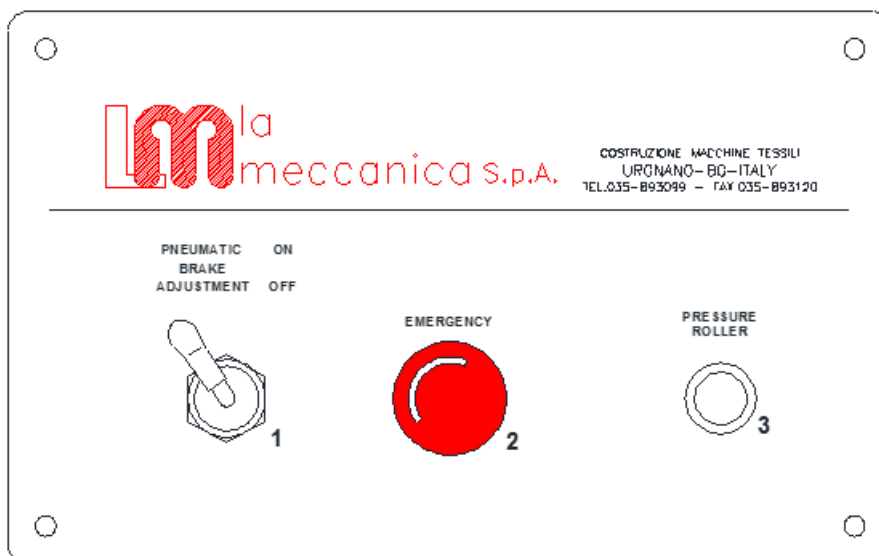


以下、押しボタンパネル (P01) のボタン類の説明です。

1			<p style="text-align: center;">CONTROL VOLTAGE</p> <p>電源ランプ：このランプが点灯した場合、本機に電源が供給され、メインスイッチが ON 状態になっています。</p>
2			<p style="text-align: center;">EMERGENCY</p> <p>非常停止スイッチ：このボタンを押すと、本機をすぐに停止して、補助回路の電源を切ることができます。</p>
3			<p style="text-align: center;">RESET EMERGENCY</p> <p>エマージェンシーリセットボタン：このボタンが点灯した場合、サイクルが停止しています。緊急停止された原因を解消した後に、非常停止スイッチを解除し、リセットボタンを押して緊急停止の信号をリセットさせます。</p>
4			<p style="text-align: center;">EXCLUSION SAFETY DOOR</p> <p>安全ドアスイッチ：プリンターのドアを開くリミットスイッチの解除に使用します。スイッチを OFF にすると、ドアが開いた状態でプリンターの操作を確認できます。地張り剤の塗布作業でのみ使用します。<u>操作が可能なのは熟練の技術者のみです。鍵は、部門管理者が保管してください。</u></p>

押しボタンパネル (P02)

押しボタンパネル (P02) は、繰出しユニットの右側にあります。



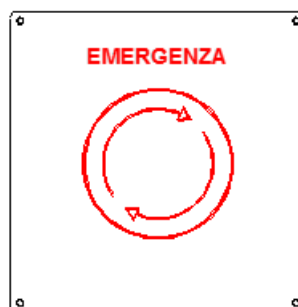
以下、押しボタンパネル (P02) のボタン類の説明です。

1			PNEUMATIC BRAKE ADJUSTMENT ON - OFF 空気圧制御レバー：上に倒すと、繰り出すメディアに張力をかける空気圧ブレーキの調整が有効になります。下に倒すと、この調整機能が無効になります。
2			EMERGENCY 非常停止スイッチ：このボタンを使用すると、本機をすぐに停止して、補助回路の電源を切ることができます。
3			PRESSURE ROLLERS 加圧ローラーボタン：このボタンを押すと、ベルトの始端部にある加圧ローラーが昇降します。

非常停止スイッチ (PEM)

非常停止スイッチ (PEM) は、本機前方左側、本機後方左側にあります。

1			緊急 非常停止スイッチ：このボタンを押すと、本機をすぐに停止して、補助回路の電源を切ることができます。
---	--	--	---



第6章

基本的な使い方



この章では、

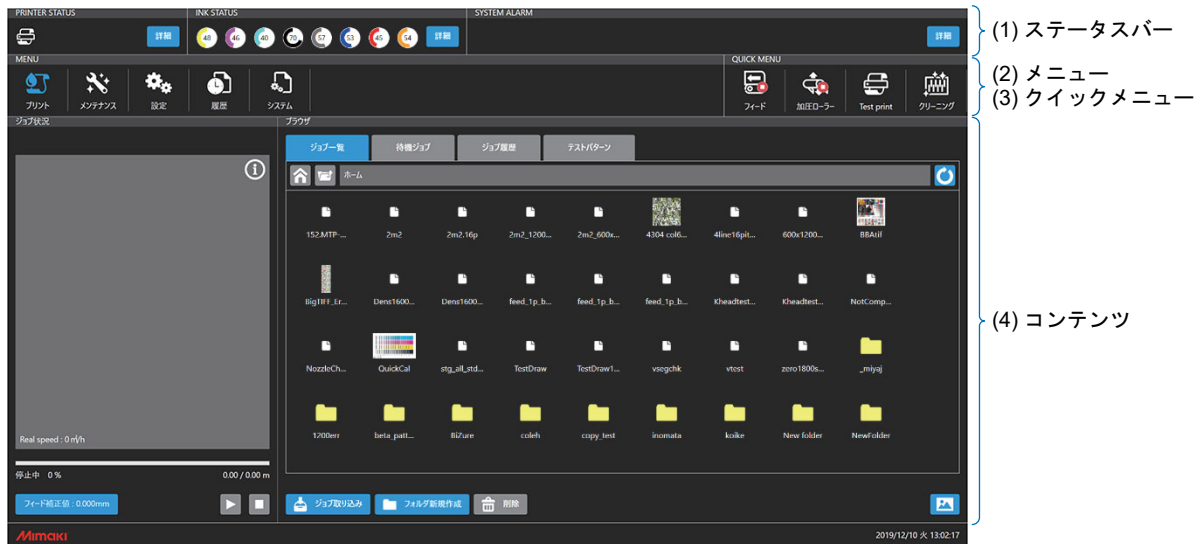
タッチパネルで本機を操作する方法について説明します。

はじめに	6-2	クリーニング	6-25
画面構成の説明	6-2	任意のタイミングによるクリーニング	6-25
ステータスバー	6-3	オートクリーニング設定	6-27
メニュー	6-4	推奨設定	6-27
操作方法的説明	6-5	オートクリーニング設定画面表示	6-27
タッチパネル / マウス操作方法	6-5	オートクリーニング設定	6-28
各コントロール操作方法	6-6	ノズルリカバリ	6-30
処理実行時の画面説明	6-7	ノズルリカバリの流れ	6-30
処理実行時の画面説明	6-7	ノズルリカバリデータの作成	6-31
プリント操作	6-8	ノズルリカバリ機能を有効にする	6-37
プリントコンテンツの説明	6-8	メンテナンス	6-38
プリントコンテンツ画面構成	6-8	メンテナンスコンテンツの説明	6-38
プリントまでの流れ	6-9	メンテナンスコンテンツ画面構成	6-38
1. ジョブのインポート	6-10	操作パネルの操作方法	6-39
2. プリントするジョブの選択	6-14	設定	6-40
3. プリント条件の設定	6-15	設定コンテンツの説明	6-40
4. プリント開始	6-17	設定コンテンツ画面の説明	6-40
プリント中の操作	6-18	設定手順 例) カラーバー	6-41
一時停止	6-18	機能説明	6-42
再開	6-19	ステータスバー	6-42
キャンセル	6-19	プリンタステータス	6-42
プリント中のクリーニング	6-20	インク情報	6-43
システムアラーム	6-21	システムアラーム	6-43
エラー発生時の表示	6-21	メニュー	6-44
ステータスバー表示	6-21	メニュー構成一覧	6-44
アラーム詳細表示	6-21	[プリント]メニュー	6-46
アラームアイコン	6-22	[メンテナンス]メニュー	6-51
エラー内容	6-22	[設定]メニュー	6-55
アラーム発生時の操作制限	6-23	[履歴]メニュー	6-61
待機中状態	6-23	[システム]メニュー	6-62
プリント中状態	6-23	クイック機能	6-65
アラームのクリア方法	6-24		

はじめに

タッチパネルでプリンタの操作、その他各種操作や設定をする方法について説明します。

画面構成の説明



No.	名称	内容
1	ステータスバー	プリンタの状態が表示されます。
2	メニュー	機能グループ別にまとめられたメニューです。
3	クイックメニュー	使用頻度の高い機能をこの画面から直接実行できます。
4	コンテンツ	メニューに応じた操作画面、情報が表示されます。

ステータスバー

概要

プリンタの状態が表示されます。

画面説明



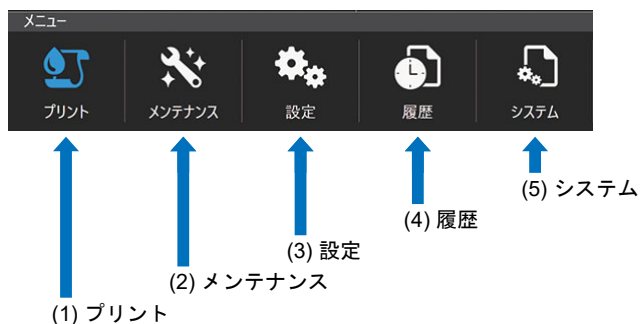
No.	項目	説明	解説
1	プリンタ状態 	プリンタの状態によりアイコンが変化します。	プリンタ状態の種類  プリント中  一時停止  待機中  メンテナンス中
2	インク情報 	インクスロット毎のインクカラーとインク残量を、グラフとパーセント (%) で表示します。 インク残量が少なくなると各インクの右下にアイコンを表示します。	インク残量を示すアイコンの種類  インクニアエンド (インク残量 :21% ~ 25%)  インクエンド (インク残量 :0% ~ 20%)  Ex.) インクエンド時の表示
3	システムアラーム 	アラームが発生した際にアイコンが表示されます。 アラームの詳細については [システムアラーム (P.6-21)] をご覧ください。	アラームの種類  情報  警告  エラー  致命的エラー






メニュー

概要

機能グループ毎のメニューで構成され、選択したメニューに応じた機能がコンテンツエリアに表示されます。

画面説明






No.	メニュー	説明	主な機能
1	プリント 	ジョブの管理とプリントに関する操作を行います。	<ul style="list-style-type: none"> • プリント実行 • プリントキュー • プリント操作（一時停止 / 再開、キャンセル） • プリント進捗表示 • ジョブの管理（インポート、選択、削除） • プリント履歴から再印刷
2	メンテナンス 	プリンタのメンテナンスメニューです。各メンテナンスは、ウィザード形式で作業を実行できます。	<ul style="list-style-type: none"> • クリーニング • ヘッドメンテナンス • ワイパー交換 • 洗浄ユニットメンテナンス 他
3	設定 	プリンタの設定メニューです。プリンタ本体の各種設定を行います。	<ul style="list-style-type: none"> • プリント品質設定 • プリンタメカ設定 • 自動機能設定 他
4	履歴 	各操作の履歴が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> • プリント履歴 • 各種メンテナンス履歴 • アラーム履歴 • 操作履歴
5	システム 	システム情報の表示と、システムの設定を行います。	<ul style="list-style-type: none"> • 言語設定（日、英） • システム設定 / 情報表示 • バージョン情報 • ライセンス情報 • PC シャットダウン / 再起動 • アプリケーションノートの表示 他

操作方法の説明

タッチパネル/マウス操作方法

タッチパネルは、マウスでも操作可能です。

No.	操作	使用場面	タッチパネル	マウス
1	選択	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する JOB の選択 メニューの選択 設定 / 操作項目の選択 他 	操作：タップ 	操作：左クリック 
2	長押し選択	<ul style="list-style-type: none"> インポートする JOB を選択 削除する JOB を選択 	操作：長押し 	操作：右クリック 
3	リストスクロール	<ul style="list-style-type: none"> JOB リストのスクロール 履歴のスクロール 他 	操作：スワイプ 	操作：マウススクロール 

本書ではタッチパネルによる操作説明を記載します。

マウスでの操作については、上記表を参照しタッチパネル操作をマウス操作に置き換えてお読みください。

各コントロール操作方法

各アイテムの操作方法について説明します。

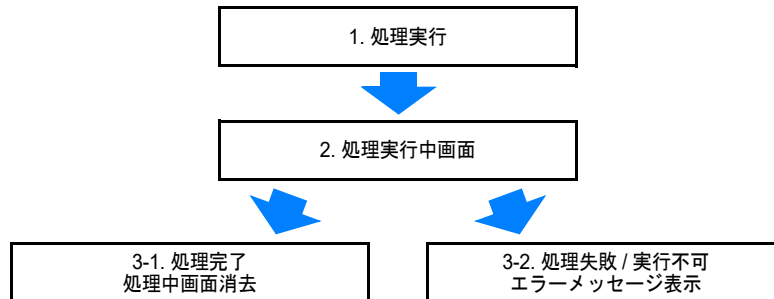
No.	コントロール名		使用場面
1	ON/OFF スイッチ		ON/OFF を選択する場合
2	ラジオボタン		複数選択肢からいずれか1つを選ぶ場合
3	数値入力 +/-		数値を入力する場合
4	数値入力テンキー		数値を入力する場合
5	ソフトウェアキーボード		アルファベット、記号を入力する場合

処理実行時の画面説明

処理を実行した際の処理中画面について説明します。

処理実行時の画面説明

処理実行時の画面遷移

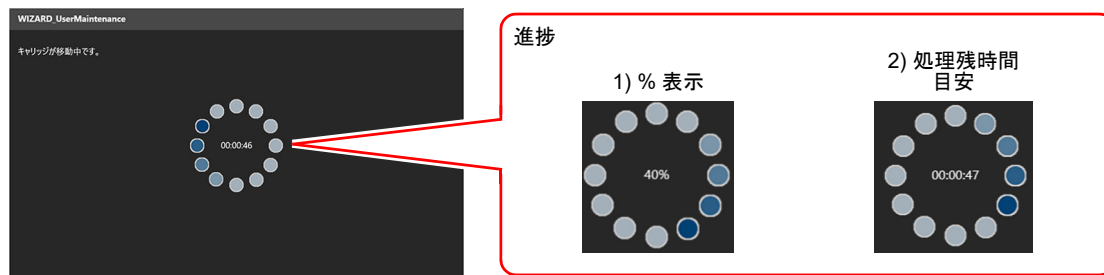


処理実行中画面

処理実行中に表示され、長い処理を実行する際は進捗が表示されます。

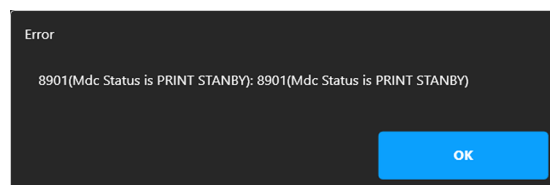


処理画面表示中は、誤操作防止のためその他の操作は受け付けません。



処理実行中画面

処理が失敗した際や処理が実行できる状態にない場合に、メッセージが表示されます。



メッセージ内容に従い、再度処理を実行してください。

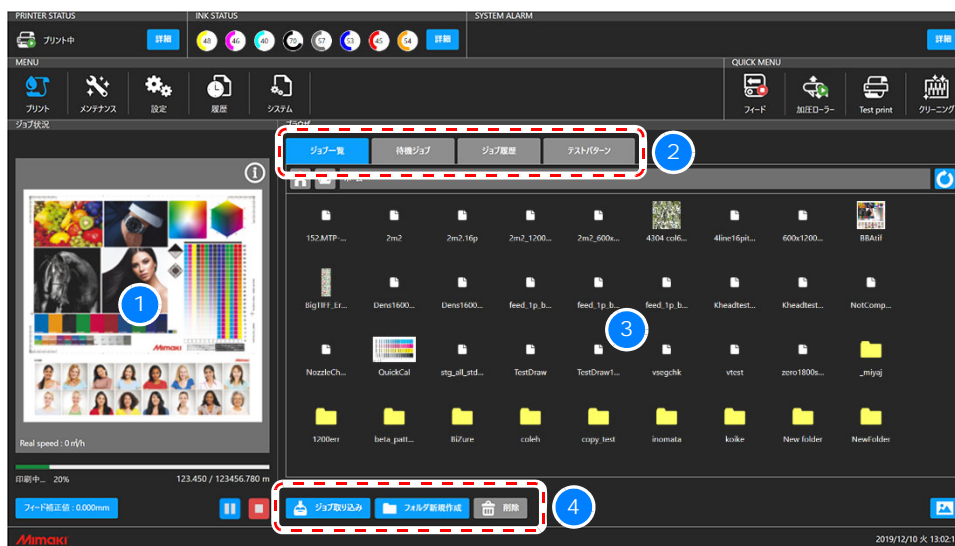
プリント操作




ジョブの管理、選択したジョブのプリント操作手順について説明します。

プリントコンテンツの説明

プリント操作はプリントメニューから行います。

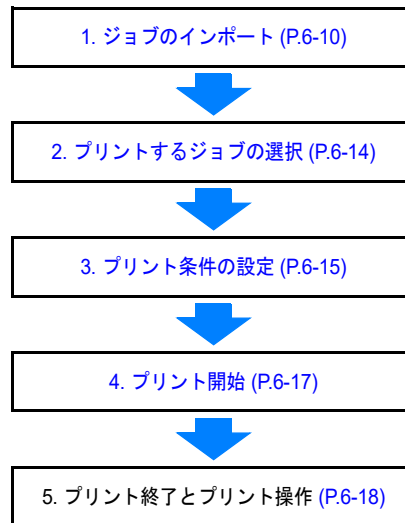
プリントコンテンツ画面構成



No.	コンテンツ項目	説明
1	プリント状況エリア	プリント中の状況が表示されます。 ・プリント中ジョブ情報 (サムネイル) ・プリントステータス (進捗) ・プリント中の一時停止 / 再開、キャンセル  一時停止  再開  キャンセル
2	ジョブ管理タブ	ジョブに関する管理を行います。 ・ジョブ一覧：プリントジョブの選択、ジョブのインポート / 削除 ・待機ジョブ：プリント待ちジョブの一覧 ・ジョブ履歴：プリント済みジョブの履歴 (履歴からジョブの再印刷可能) ・テストパターン：内蔵テストパターン (調整パターン含む)
3	ジョブ一覧エリア	ジョブ管理タブ毎に、ジョブの一覧が表示されます。 プリントする際は、一覧からジョブを選択します。
4	ジョブ操作ボタン	ジョブ一覧タブを表示している時に表示され、ジョブのインポート、削除、フォルダの作成を行います。

プリントまでの流れ

RIP アプリケーションで作成したジョブは、下記の手順でプリントします。



プリント前に以下のことを行なってください。

- テストプリントを実施しノズル状態を確認してください。必要に応じてクリーニングを実施してください。
- 加圧ローラーが Down しメディアが抑えられているか確認してください。
- インク残量、メディア残量を確認してください。
- アラームが発生していないか確認してください。
アラームが発生している場合は原因を取り除きアラームクリアを実施してください。

1. ジョブのインポート

プリントする場合、内蔵 PC にジョブをインポートしてください。
リムーバブルディスクからインポートする方法と、ネットワーク経由でインポートする方法について説明します。



リムーバブルディスク上のジョブを直接選択することもできますが、プリント動作が遅延する可能性があるため、インポートを実行してからプリントすることを推奨します。

- 遅延：
データ転送に遅延が発生し、プリントがスキャン毎に 1 秒程度、間を置く可能性があります。

1-1. リムーバブルディスクからインポートする。

RIP で作成したジョブは下記の手順でプリンタ内蔵 PC にインポートします。

1

リムーバブルディスク (USB メモリー) を内蔵 PC に挿入する。

- ジョブが入ったリムーバブルディスクを内蔵 PC の USB ポートに挿入します。

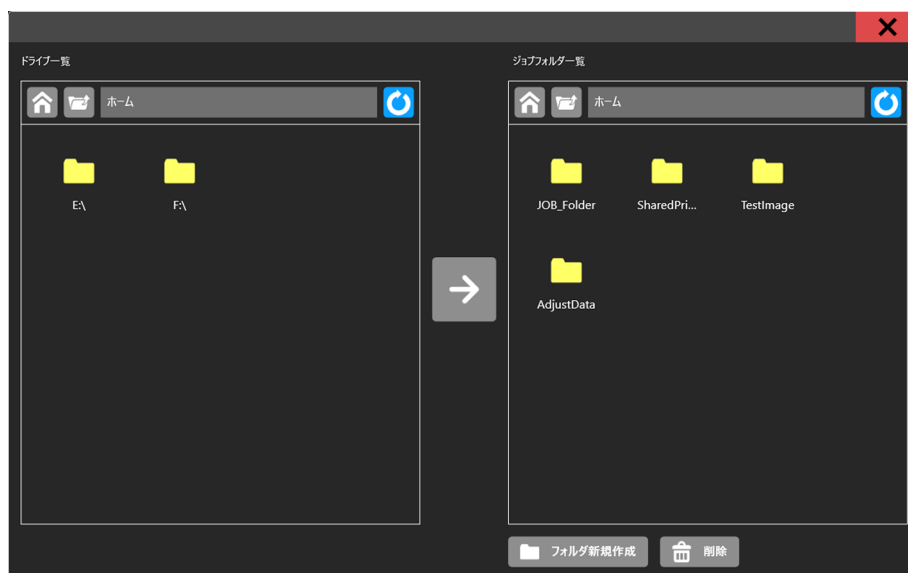


パスワード付きの USB は非対応です。

2

[ジョブ取り込み] ボタンをタップする。

- ジョブ選択後、[ジョブ取り込み] ボタンをタップすると [インポート] ダイアログが表示されます。

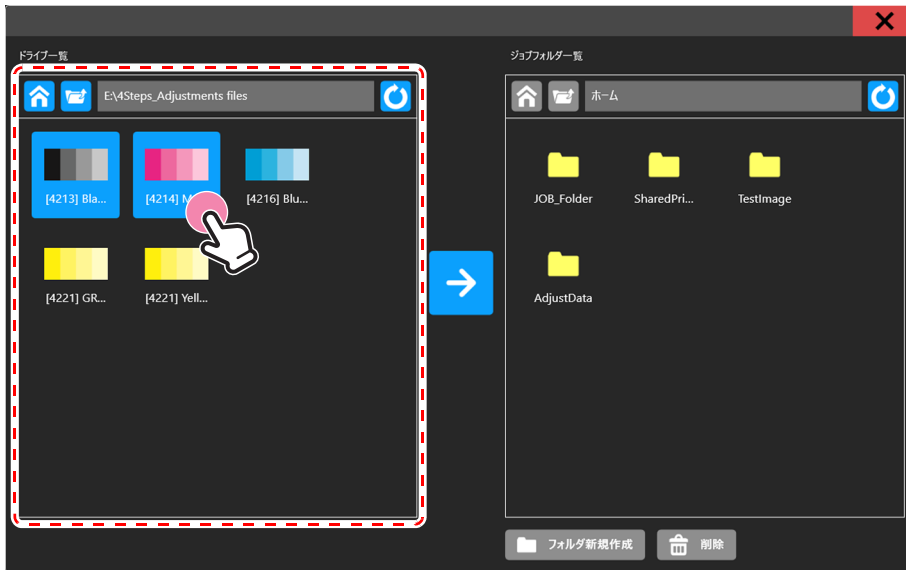


[インポート] ダイアログ

3

(画面左) インポートするジョブを選択する。

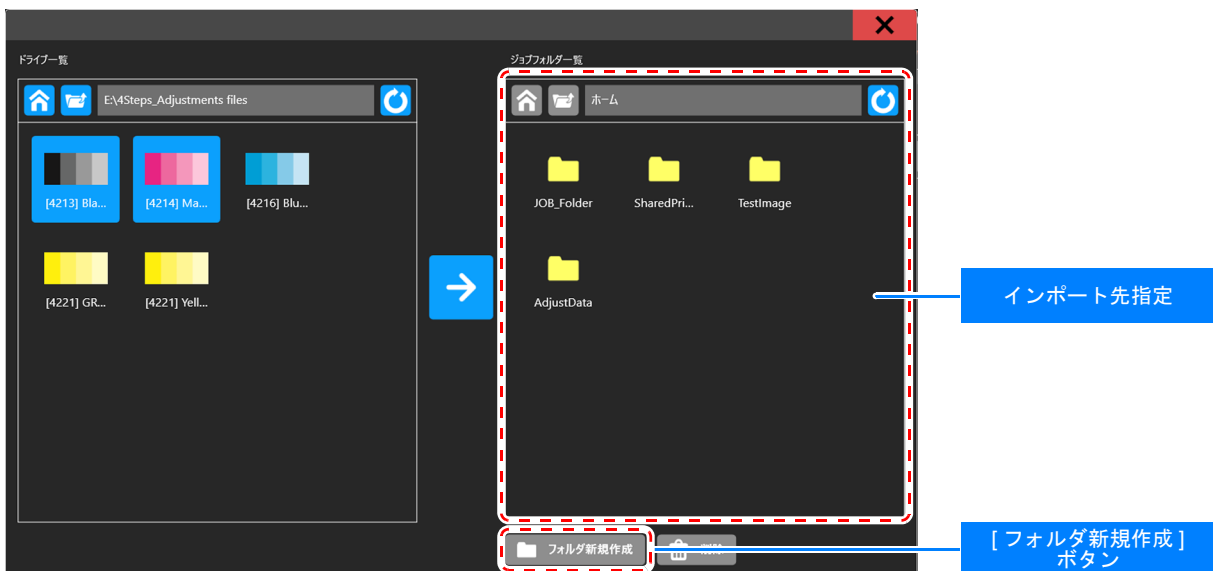
- ・インポートするジョブが入ったフォルダに移動し、ジョブを長押しして選択します。



4

(画面右) インポート先を指定する。

- ・ジョブを、コピーしたいフォルダに移動します。



[フォルダ新規作成] ボタンをタップすると [フォルダ作成] ダイアログが表示されます。

画面上でフォルダ名を入力して [Enter] キーをタップすると、入力した名前のフォルダを作成し、[フォルダ作成] ダイアログが閉じます。



[フォルダ作成] ダイアログ

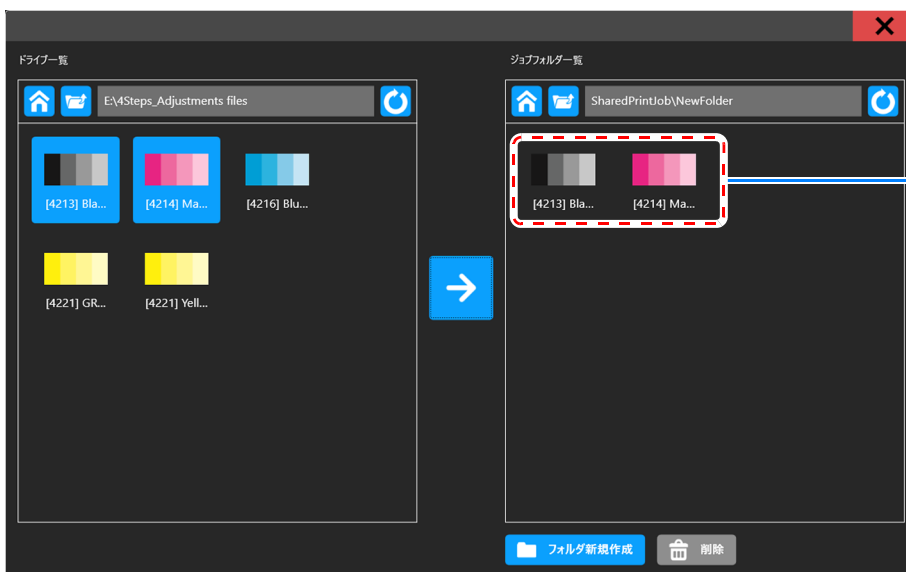
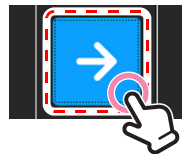


フォルダ名を入力しなかった場合は「NewFolder」という名前のフォルダが作成されます。既に同名のフォルダがある場合は、新規作成せずに[フォルダ作成]ダイアログが閉じます。

5

インポートを実行する。

- インポートするジョブ・インポート先を設定後、ダイアログ中央の[実行]ボタンをタップします。
- ジョブがリムーバブルディスクから指定パスにコピーされます。
- 転送するジョブのサイズやリムーバブルディスクの性能により、転送速度は異なります。

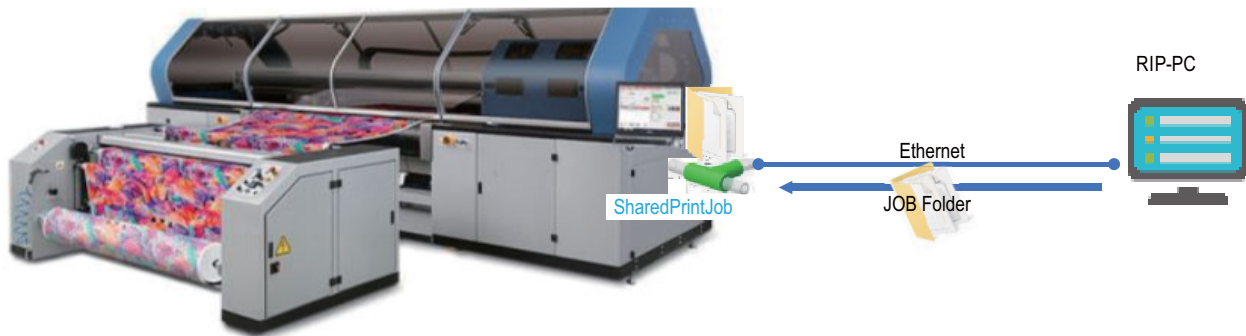


1-2. ネットワークからインポートする。

本プリンタの内蔵 PC にはネットワーク共有フォルダが設定されています。LAN に接続した他の PC から共有フォルダにジョブをインポートすることができます。

以下に、推奨するインポート方法について説明します。

- ・内蔵 PC の共有フォルダ [SharedJob] に RIP 済みジョブフォルダをファイル転送します。



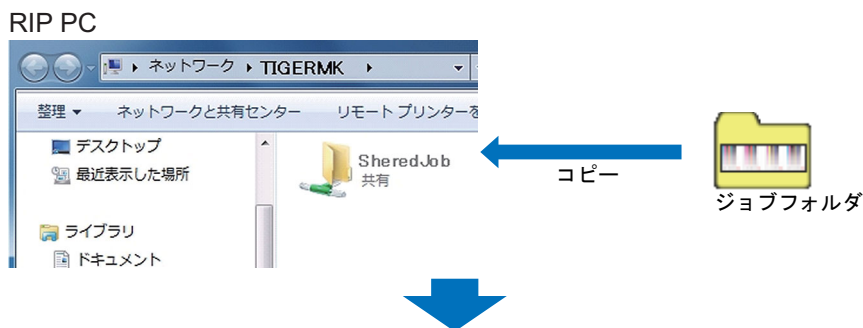
ネットワーク環境によってはインポートできないことがあります。その場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

1 本装置の共有フォルダを検索する。(他 Windows PC より操作)

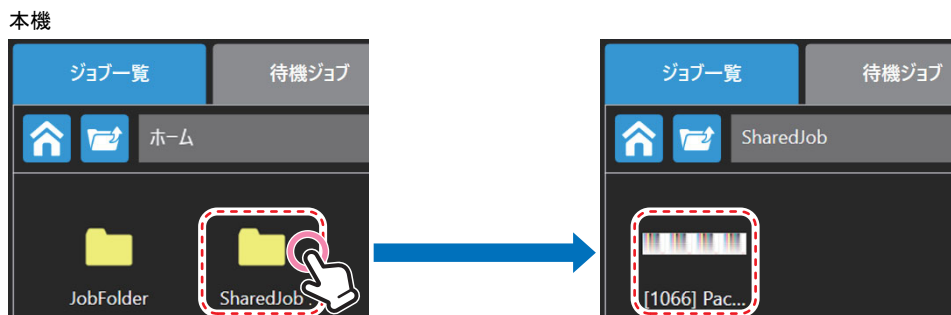
- ・インポート元の PC (RIP PC 等) から、ネットワーク検索機能によりコンピューター名「TIGERMK2」を検索または、本機の IP アドレスを指定して共有フォルダを検索します。

2 共有フォルダにジョブをインポートする。

- ・「TIGERMK2」の共有フォルダ [SharedJob] にジョブをフォルダごとコピーします。



コピーしたジョブは、[プリントメニュー]>[ジョブ一覧タブ]の[SharedJob]フォルダからプリントすることができます。

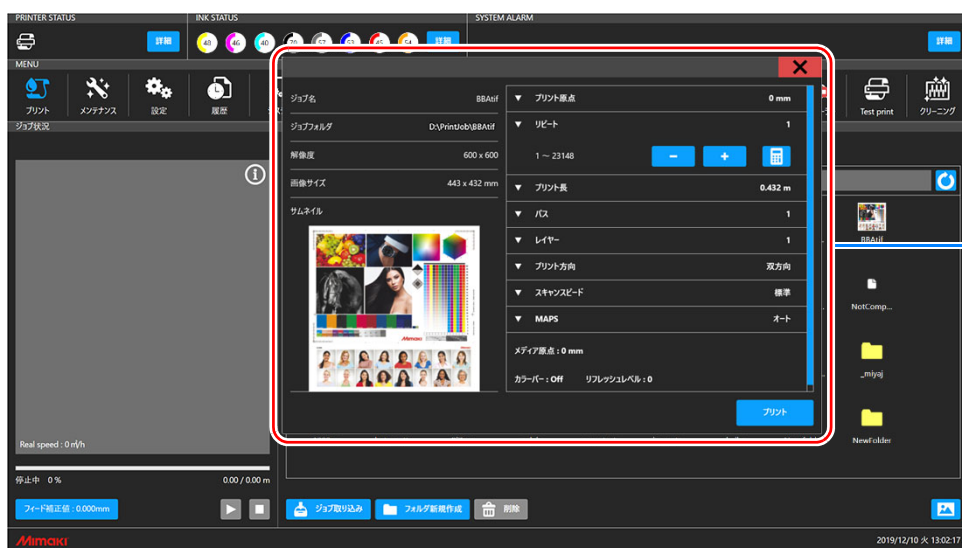
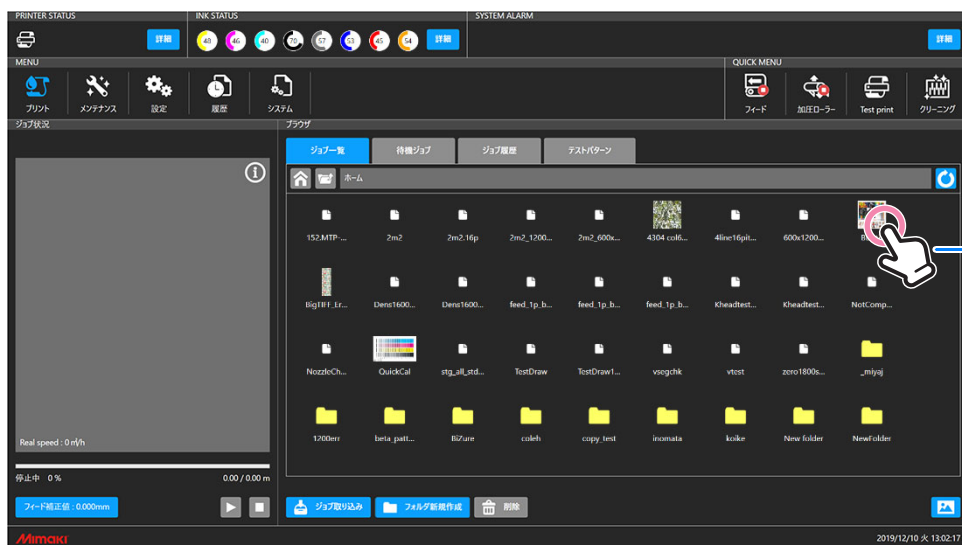


2. プリントするジョブの選択

ジョブ一覧エリアからプリントするジョブをタップすると、[プリント条件指定] ダイアログが表示されます。

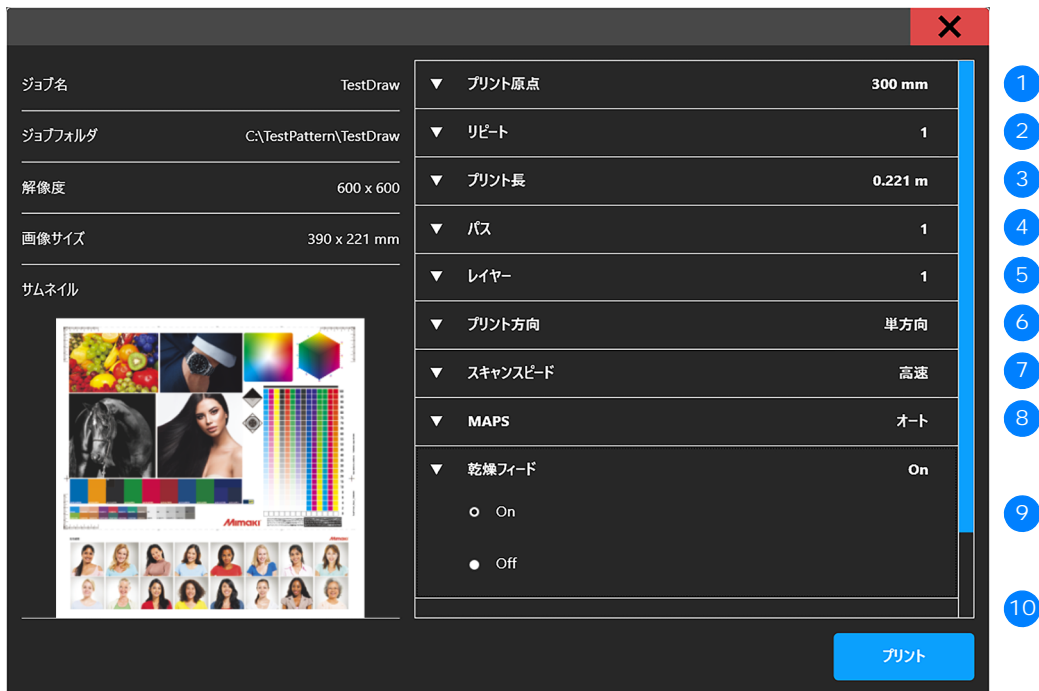


一覧タブやジョブ履歴タブに表示されているジョブをPC上から削除すると、ダイアログは表示されませんがプリントを実行するとエラーになります。



3. プリント条件の設定

[プリント条件指定] ダイアログに条件を入力しプリントを開始します。



[プリント条件指定] ダイアログ

No.	設定項目	設定項目の説明と入力値の範囲
1	プリント原点	メディア原点を基準に印刷原点を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 入力範囲：0mm～MAX1600mm * MAX はイメージ幅により変動 メディア原点よりプリントを開始する左位置の値を入力
2	リピート	選択したジョブを繰り返しプリントする場合に回数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> MAX：印刷長×リピート設定=10000.00m 以下^{*1}
3	プリント長	選択したジョブを何 m プリントするかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 入力範囲：画像高さ～9999.00 m^{*1}
4	パス	パスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 1-4 (パス) ジョブの解像度によって選択可能なパス数が異なります。 Ex.) 1200dpi 時は 2 パス以上で使用可能です。
5	レイヤー	レイヤー (重ね塗り回数) を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 1-4 (レイヤー)
6	プリント方向	印字を行うスキャンの方向を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 単方向 / 双方向
7	スキャンスピード	スキャンスピードを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ハイスピード (速い) / スタンダード (標準速) * Big ドットのジョブデータの場合、ハイスピードは選択できません。 * ハイスピードのジョブをスタンダード設定にするとプリント速度は遅くなります。
8	MAPS ^{*2}	MAPS を指定します。 <ol style="list-style-type: none"> 設定：オート (推奨) マニュアル (下記入力値を適用してください) スピード：50%～100% 50%に近いほどプリント速度が低下します。ジョブと画像品質に合わせて値を決定してください。 スムージング：0%～100% プリントの重なり部分の濃度差を軽減します。 0%に近いほど濃い濃度となります。 * メディア種に応じて最適な濃度に調節する必要があります。
9	乾燥フィード	乾燥フィードのオン/オフを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> On / Off
10	設定情報表示	設定メニューで設定されている、以下の情報が表示されます。 プリント前に内容を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> メディア原点 カラーパー * 設定を変更する場合は、設定メニューより行ってください。

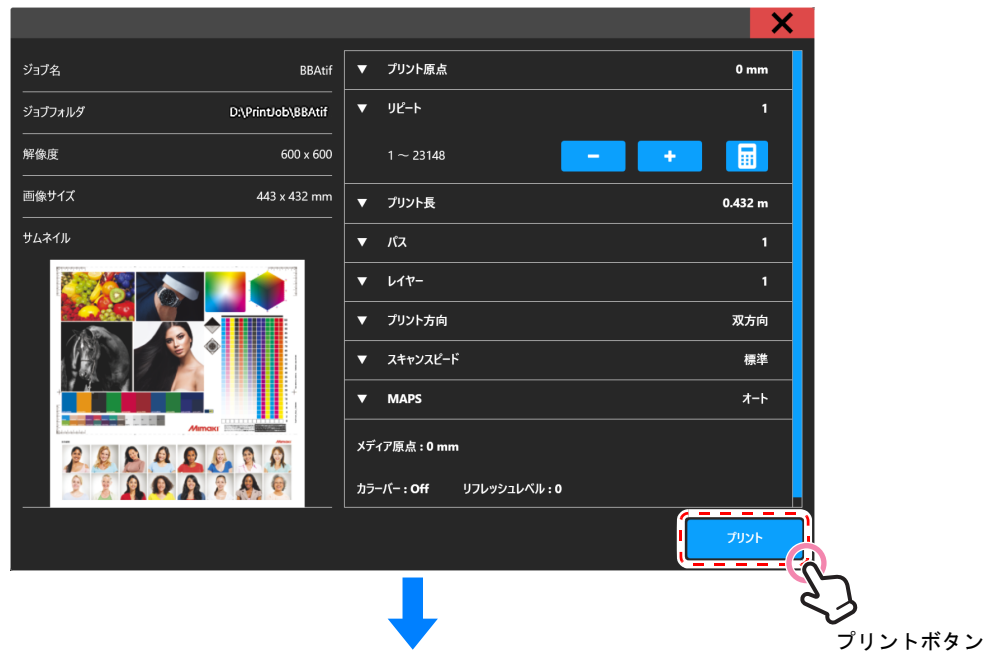
*1 リピート・プリント長は、設定した値と画像サイズによりそれぞれ変化します。

*2 MAPS：

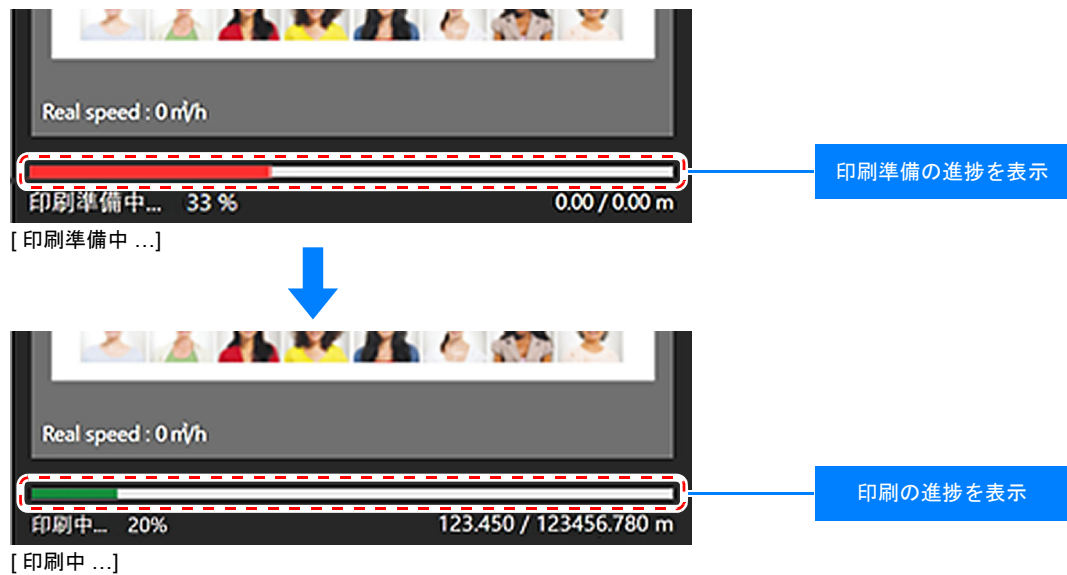
MAPS 機能 (Mimaki Advanced Pass System) とは、パスの境界を分散させ、送り縞を目立たなくする機能です。
 1Pass 印刷等、印刷条件によっては MAPS によるマスク模様が見える場合があります。

4. プリント開始

プリント条件を指定後、[プリント]ボタンをタップするとプリントが開始されます。

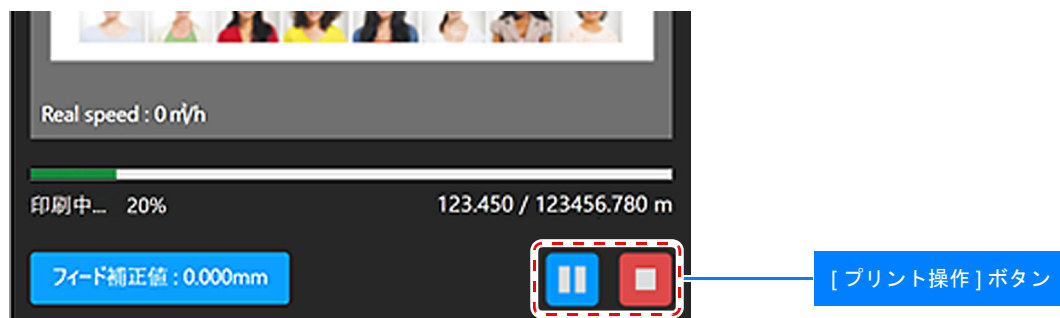


プリントが開始されると[プリント条件指定]ダイアログが閉じ、[プリント状況エリア]にプリント中のジョブ情報と進捗が表示されます。



プリント中の操作

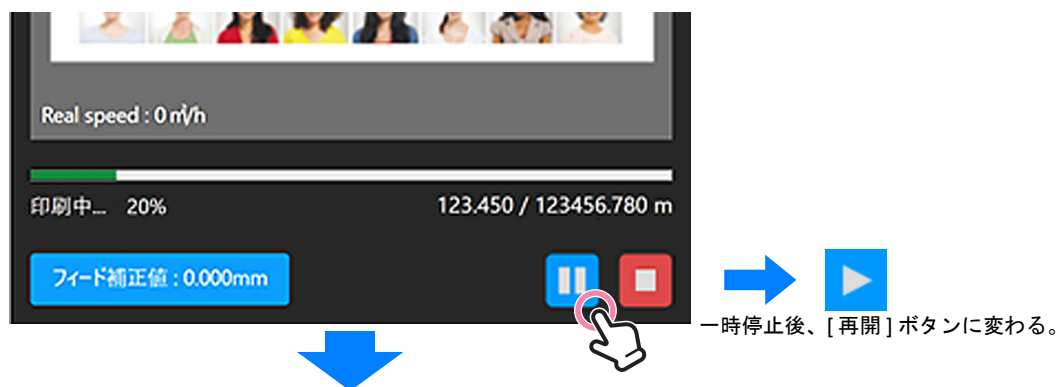
[プリント操作] ボタンをタップすると、プリントの一時停止 / 再開、キャンセルを行うことができます。



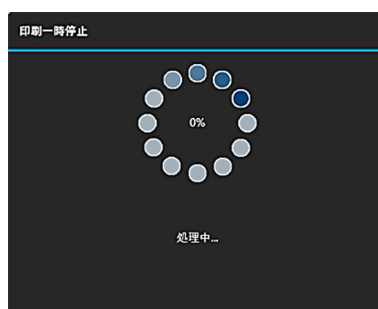
一時停止

プリントを一時停止します。

プリント状況欄内の [一時停止] ボタンをタップします。



一時停止が完了するまでの間、処理中画面が表示されます。⇒ 完了



[印刷一時停止] ダイアログ

一時停止処理をするとキャリッジがステーションに戻ります。
キャリッジがステーションに戻ると処理が完了します。

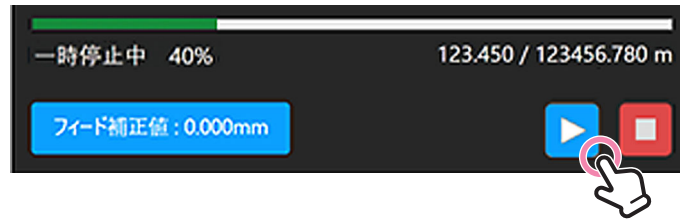


双方向印刷モードの場合に [一時停止] ボタンをタップすると、復路分のプリントをしてから停止します。
[一時停止] ボタンをタップするタイミングによっては、一往復プリントした後、停止します。

再開

一時停止中のジョブのプリントを再開します。

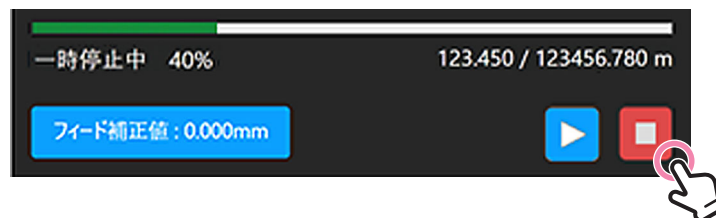
プリント状況欄内の [再開] ボタンをタップします。



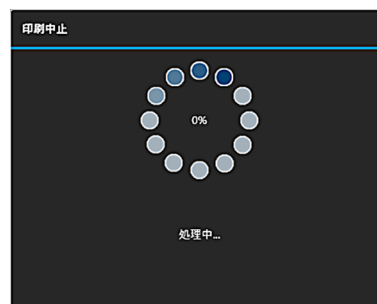
キャンセル

プリントをキャンセルします。

プリント状況欄内の [キャンセル] ボタンをタップします。



キャンセルが完了するまでの間、処理中画面が表示されます。⇒ 完了



[印刷中止] ダイアログ

キャンセル処理をするとキャリッジがステーションに戻ります。

キャリッジがステーションに戻ると処理が完了します。



キャンセル後、プリントキューに待機 JOB がある場合は、次の JOB の情報がプリント状況エリアに表示されます。

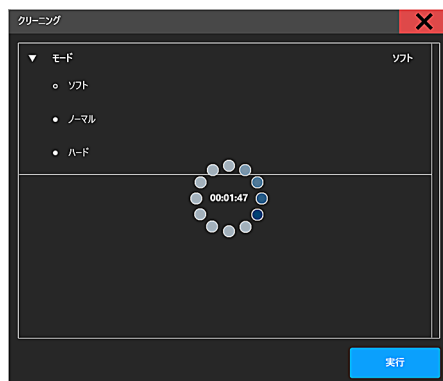
次の JOB をプリントする場合は、▶ [再開] ボタンをタップしてください。

プリント中のクリーニング

プリント中においても、任意のタイミングでクリーニングを実行できます。

クイックメニューまたはメンテナンスメニューからクリーニングを実行します。

クリーニングについては、[\[任意のタイミングによるクリーニング \(P.6-25\)\]](#)をご覧ください。



一時停止後、キャリッジがステーションに戻りクリーニングが実行されます。



クリーニング終了後は、自動でプリントが再開されます。

システムアラーム

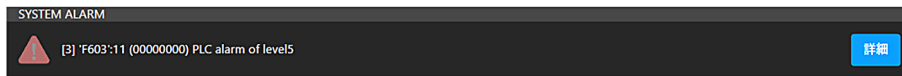
システムアラーム欄には、プリンタで発生したエラー情報が表示されます。エラーが発生した場合の表示と、対処方法について説明します。

エラー発生時の表示

エラーが発生すると、システムアラームエリアにアラームアイコンとエラーの内容が表示されます。エラー発生時に [詳細] ボタンをタップすると、詳細情報と [アラームクリア] ボタンが表示されアラームをクリアすることができます。

ステータスバー表示

ステータスバーのシステムアラームエリアに、エラーレベルに応じた色でアラームアイコンが表示されます。



本エリアには、発生しているエラーの中でエラーレベルが一番高く、かつ発生時刻が最新のエラーが表示されます。

アラーム詳細表示


システムアラームエリアの [詳細] ボタンをタップすると、発生しているすべてのエラーが表示されます。

アラーム詳細画面表示方法




アラームアイコン


情報 (エラーレベル : 0)

アイコン色	アラーム内容	対応方法
青色 	インクニアエンドなどのように処置が必要な場合に発生します。 プリントを継続します。	アラーム内容を確認し情報に応じた処置をしてください。


警告 (エラーレベル : 1)

アイコン色	アラーム内容	対応方法
黄色 	インクエンドなどのように処置が必要な場合に発生します。 プリントが一時停止します。	必要な処置を実施し、アラームクリアを行うとプリントを再開できます。

エラー (エラーレベル : 2)

アイコン色	アラーム内容	対応方法
オレンジ色 	インクオーバーフローなど、プリントの継続ができない場合に発生します。 プリントがキャンセルされます。	必要な処置を実施し、アラームクリア後に再度ジョブを登録してください。

致命的エラー (エラーレベル : 3) * FATAL 状態を含む

アイコン色	アラーム内容	対応方法
赤色 	Emergency 状態や、System halt が発生時、プリントの操作または動作ができない場合に発生します。 緊急停止状態になり、動作が停止します。	必要な処置を実施し、アラームクリア後に再度ジョブを登録してください。

エラー内容

表示されているエラーの内容は以下の通りです。

[2] 0602:09 (__ 3 __) INK END
(1) (2) (3) (4)

エラー内容の読み方		
1	Level	エラーレベル (0-3)
2	Code	エラーコード
3	Unit	エラー発生したユニット番号
4	Contents	エラー情報

アラーム発生時の操作制限

エラー発生時、エラーレベルに応じて操作を制限します。プリンタ状態とエラーレベルに応じた操作を説明します。

待機中状態

待機状態でエラーが発生すると、エラーレベルに応じて操作が制限されます。

Level	操作制限	説明
0	すべての操作が可能です。	情報を確認し、各操作を実行してください。
1	プリントを開始できません。	プリントを開始できないエラーが発生しました。エラー要因を取り除きアラームクリア実施後にプリントを開始してください。
2,3	プリントを開始できません。その他の操作ができません。(エラー内容によります)	プリントを開始できない、または致命的なエラーが発生しました。内容によっては、その他の操作も行うことができません。エラーの要因を取り除き、アラームクリアを実施後に各操作を行ってください。

* Level0 以外の、インク供給系のエラーが発生した場合はクリーニングが制限されます。

プリント中状態

プリント中にエラーが発生すると、エラーレベルに応じてプリント動作が一時停止または中止します。

Level	操作内容	説明
0	プリントが継続されます。	処置が必要な場合は、一時停止またはキャンセルしてください。
1	プリントが一時停止されます。	インクエンド等、プリントを継続するために処置が必要なエラーが発生しました。エラーの要因を取り除き、アラームクリアを実施後にプリントを再開してください。 * 中断したところから、プリントが再開されます。
2,3	プリントがキャンセルされます。	ジャム等、プリントを継続できないエラーが発生しました。エラーの要因を取り除き、アラームクリアを実施後に再度ジョブを選択してプリントを開始してください。 * 再度選択したジョブの先頭からプリントが開始されます。

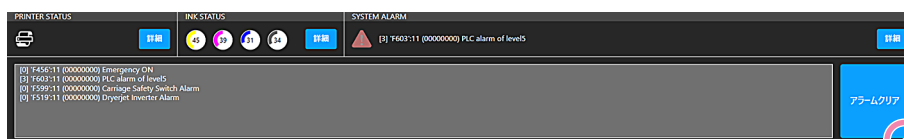


エラーが発生した際は、エラー一覧(9章)でエラーコードの内容を確認して、指定の処置を実施してください。([[エラー一覧\(PLC\)\(P.9-5\)](#)],[[エラー一覧\(その他\)\(P.9-18\)](#)])
処置実施後も状況が改善しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

アラームのクリア方法

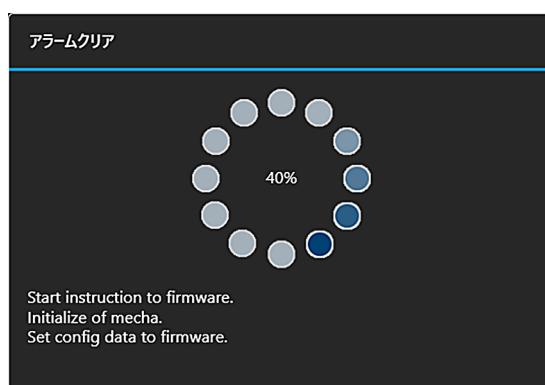
エラー発生時はエラーレベルに応じた処置を実施後、アラーム詳細画面からアラームクリアを行なってください。

[アラームクリア] ボタンをタップします。



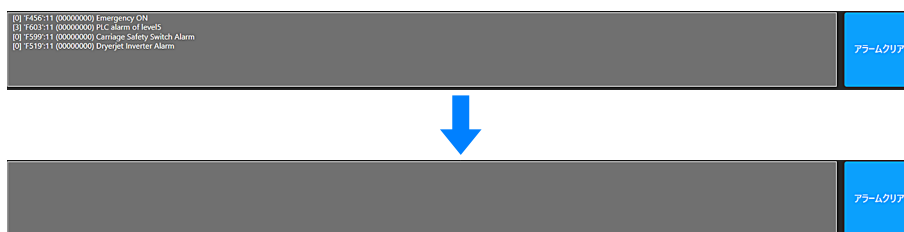
[アラームクリア] ボタンタップ

アラームクリアが完了するまでの間、処理中画面が表示されます。⇒ 完了



[アラームクリアダイアログ]

アラームクリアに成功すると [アラームクリア] ダイアログが閉じ、アラーム詳細画面がクリアされます。



誤った処置や不十分な処置であった場合は、エラーをクリアできず再度アラームが表示されることがあります。その際は、再度エラー内容に応じた処置を実施してください。



アラームをクリアしても本機の動作が不安定な場合は、[システム]>[電源]>[マシンリセット]メニューから、本機のリセットを実施してください。

クリーニング

ヘッドのクリーニングについて説明します。

* 待機中またはプリント中のオートクリーニング設定については、設定メニューから行います。

任意のタイミングによるクリーニング

プリント開始前のテストプリントによるノズルチェック結果が悪かった場合や、プリント中にノズル詰まり等の不良を発見した際に実施します。



クリーニングを実行できるタイミング

- 1) プリンタが待機状態の時
- 2) プリント中の時 (一時停止操作をすることなく実行できます。)



任意のタイミングによらず、システムは一定間隔ごとに待機中、プリント中を問わず自動でクリーニングを実行します。([オートクリーニング設定 (P.6-27)])

1 クリーニング実行画面を開く。

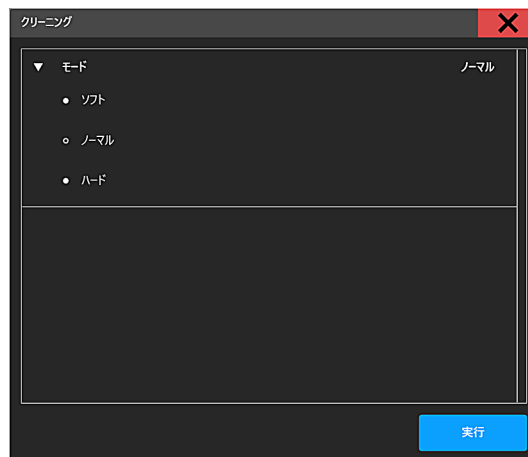
1. クイックメニューから開く。
クイックメニューから、[クリーニング]を選択します。



2. メニューから開く。
メンテナンスメニューから、[クリーニング]>[クリーニング]を選択します。



上記の (1) または (2) の操作により、クリーニング実行画面が表示されます。



2

クリーニングモードを選択する。

- ・クリーニング実行画面内の Mode 選択欄から、クリーニングモードを選択します。

**各クリーニングモードの主な用途**

No.	モード	用途	所用時間
1	ソフト	プリント前など、ノズル表面をリフレッシュする場合	約 50 秒
2	ノーマル	ノズルが複数抜けている場合	約 1 分
3	ハード	ノズル詰まりがノーマルクリーニングで回復しない場合、ノズル詰まりが多い、またはヘッドの充填時	約 1 分 30 秒

3

クリーニングを実行する。

- ・クリーニング実行画面内の実行ボタンからクリーニングを実行します。



- ・クリーニングが開始され、クリーニング中画面が表示されます。
- ・クリーニングが終了すると、クリーニング中画面が消えます。

オートクリーニング設定

オートクリーニングを使用することにより、プリント中または待機中に自動でクリーニングを実施し、ノズルを正常な状態に維持します。

オートクリーニングを設定した時点から、設定した周期がスタートされます。

- 任意のタイミングでクリーニングをした場合、その後から設定した周期が再スタートされます。

推奨設定

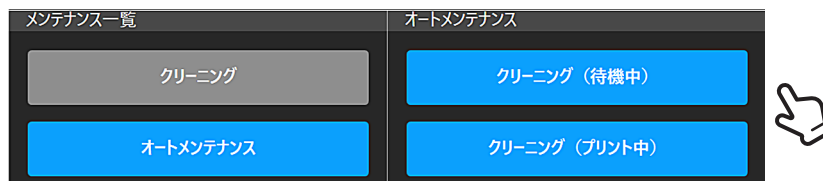
吐出安定性を確保するための、推奨設定は下記の通りです。

インク種類	プリント中		待機中		
	モード	間隔 印刷時間 [min]	モード	フラッシング回数	時間 [min]
MLRc500	Normal	30	Normal	3	30
MLSb510	Normal	30	Normal	3	30
MLSb520	Normal	30	Normal	3	30

- プリント中のオートクリーニングは距離による設定もできますが、作図モードによりタイミングが異なるため時間による設定を推奨します。

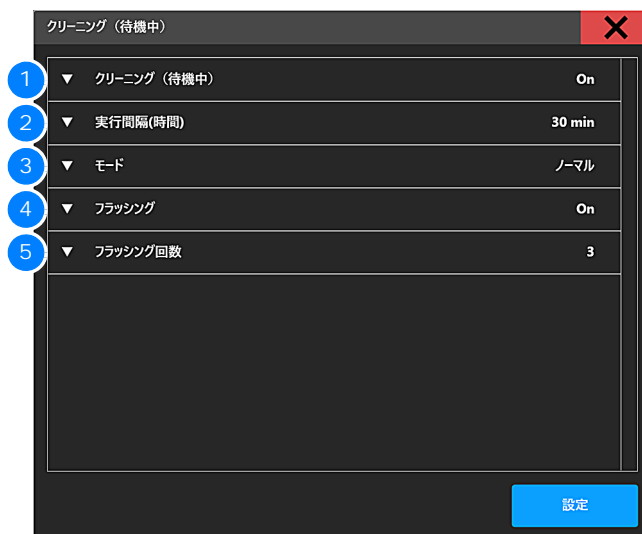
オートクリーニング設定画面表示

メンテナンスメニュー内の [オートメンテナンス] > [クリーニング (プリント中)] または [クリーニング (待機中)] を選択し、設定画面を表示します。



オートクリーニング設定

待機中のオートクリーニング設定

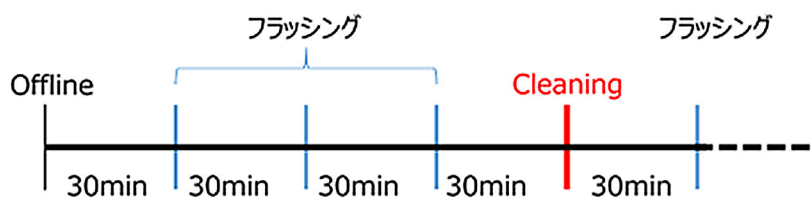


No.	説明
1	待機中のオートクリーニング On/Off
2	時間周期 (min)
3	クリーニングモード (ソフト, ノーマル, ハード)
4	クリーニングとクリーニング間のフラッシング On/Off
5	4 を設定した場合のフラッシング回数

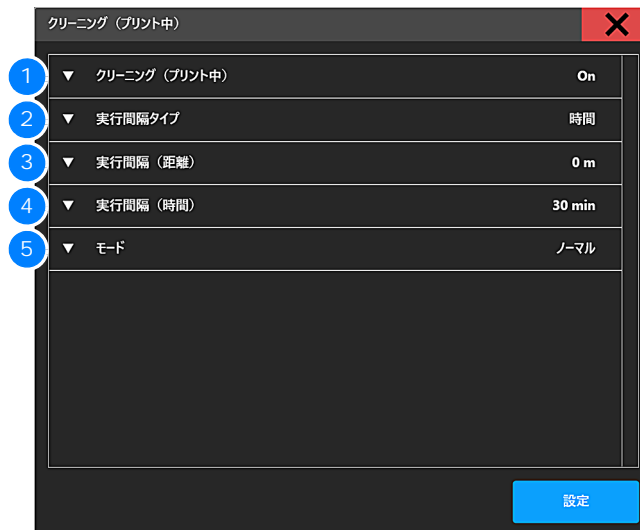
● 設定例

時間 : 30 分、フラッシング : ON、フラッシング回数 : 3 回

設定後、30 分毎にフラッシングを実施し、2 時間後にクリーニングが実施されます。



プリント中のオートクリーニング設定



No.	説明
1	プリント中のオートクリーニング On/Off
2	周期のタイプを選択 プリント距離 / プリント時間
3	2 でプリント距離を選択した際のプリント距離 (m)
4	2 でプリント時間を選択した際のプリント時間 (min)
5	クリーニングモード (ソフト, ノーマル, ハード)

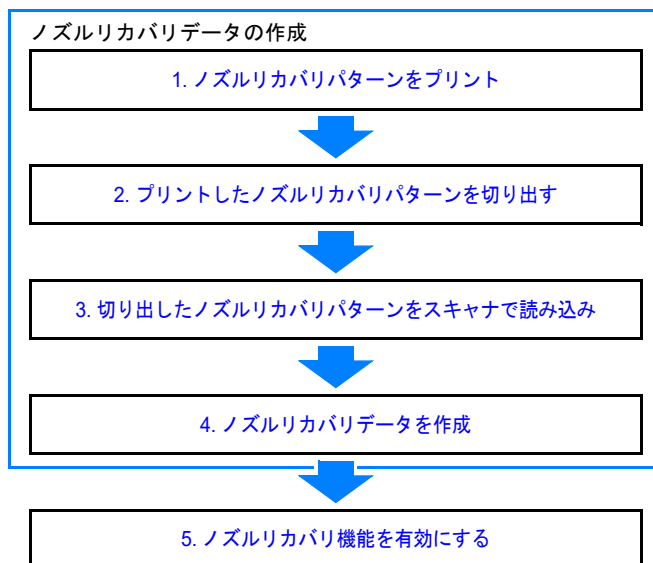
ノズルリカバリ

クリーニングを実施しても、特定のノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用(ノズルリカバリ)してプリントすることができます。



- ノズルリカバリは、マルチパスのプリント時のみ適用されます。
(600×600dpi 2パス以上、600×1200dpi 4パス以上、1200×1200dpi 4パス以上)
- 作成したリカバリノズルによっては、ノズルリカバリが適用できないことがあります。

ノズルリカバリの流れ



ノズリカバリデータの作成

ノズリカバリパターンからノズリカバリデータを作成する手順について説明します。

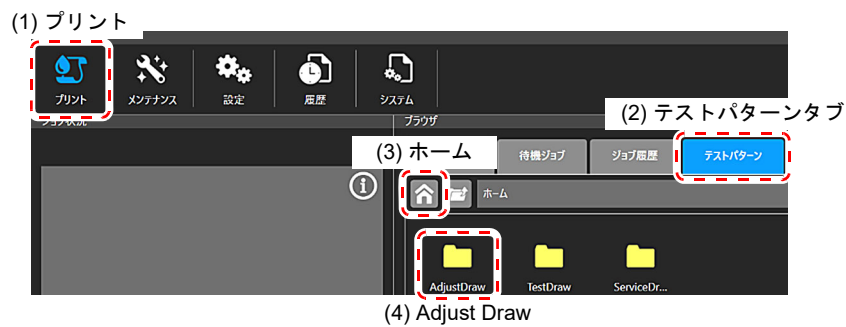
ノズリカバリパターンをプリント

1 ノズリカバリ用のメディアをセットする。

- ・ノズリカバリ用のメディア (白PET、または Mimaki Vision Jet-X-162) をプリントエリアにセットしてください。

2 ノズリカバリパターンを選択する。

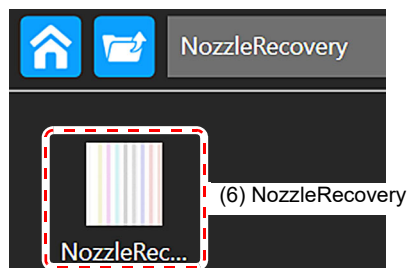
1. [プリント]メニューを選択する。
2. [テストパターン]タブを選択する。
3. [ホームボタン]を押す。
4. Adjust Draw フォルダを選択する。



5. NozzleRecovery フォルダを選択する。

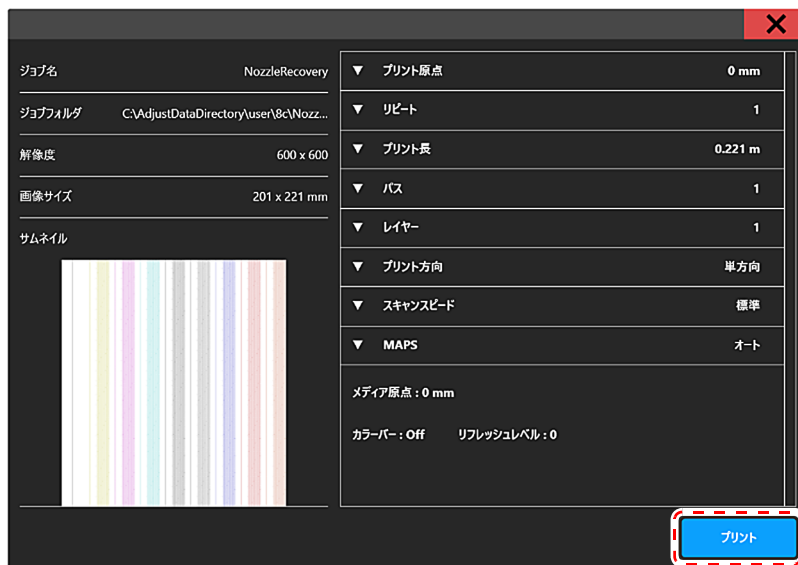


6. NozzleRecovery パターンを選択する。



3 ノズリカバリパターンをプリントする。
 ・選択したノズリカバリパターンをプリントします。

! Pass、および、Layer、Print direction、Print Speed、MAPS の設定は変更しないでください。パターンを正常に作図できなくなる恐れがあります。



プリントしたノズリカバリパターンを切り出す

下図 (4色モデルのパターン) のノズリカバリパターンがプリントされます。スキャナで読み込むために、パターン外周部の切り取り線に沿って、パターンを切り出してください。

! 切り取り線に沿ってパターンを切り出してください。切り取り線以外の部分で切り出すと、ノズル抜け解析に失敗することがあります。

スキャン原点



切り取り線 (外周部)

切り出したノズルリカバリパターンをスキャナで読み込み

切り出したノズルリカバリパターンを、スキャナで内蔵 PC 内に読み込みます。

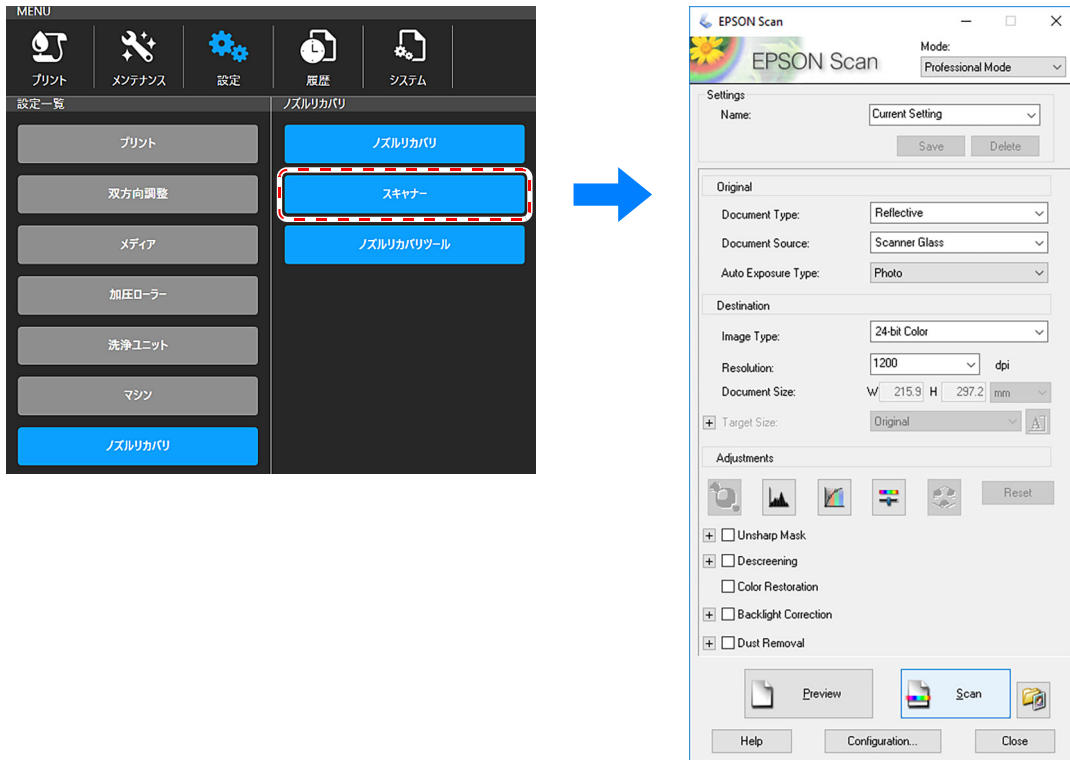


付属のスキャナを用いて、ノズルリカバリパターンの読み取りを行ってください。付属以外のスキャナの場合、ノズル抜け解析に失敗することがあります。

1

スキャナ付属の読み込みアプリケーションの起動。

・[設定]>[ノズルリカバリ]>[スキャナー]メニューから、読み込み用のアプリケーションを起動します。



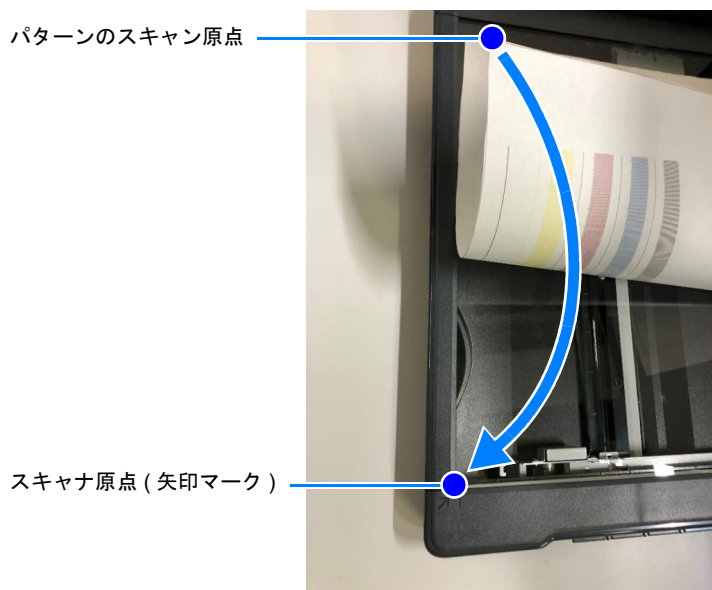
2

スキャナにノズルリカバリパターンをセット。

・スキャナの原点に、ノズルリカバリパターンの原点を合わせてセットしてください。



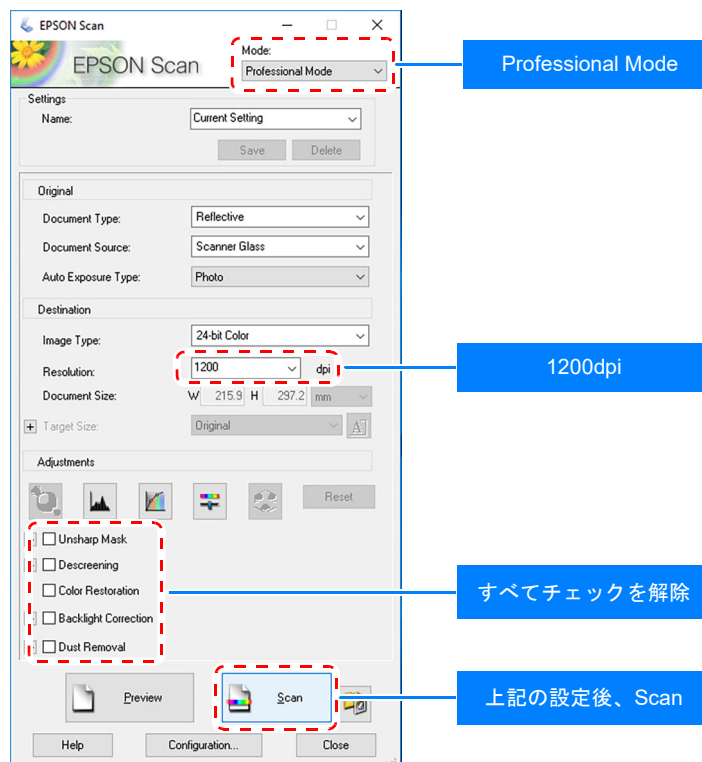
ノズルリカバリパターンをスキャナにセットする方向に注意してください。スキャナの原点と、パターンの原点が一致していないと、ノズル抜け解析に失敗する原因となります。



3 ノズルリカバリパターンの読み込み

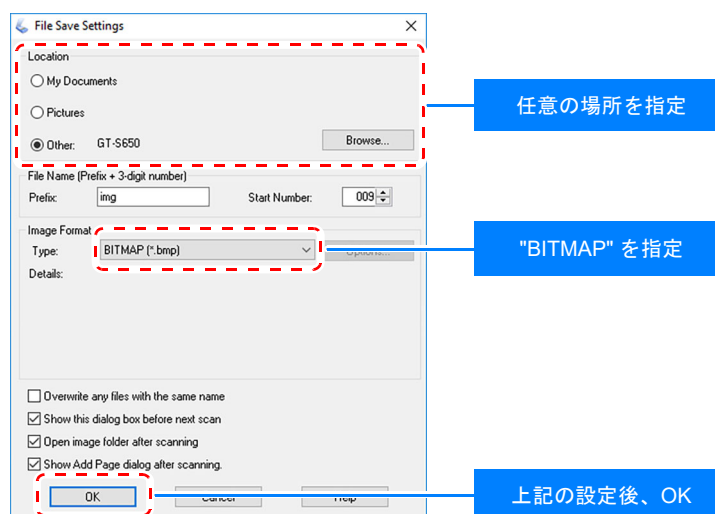
1. スキャナの読み込み設定

項目	設定内容
解像度	1200dpi
読み込み形式	BITMAP
その他	読み込み画像に加工が加わらない設定とする



2. ノズルリカバリパターン読み込み

任意の場所を指定し、パターンを読み込んでください。



ノズリカバリデータを作成

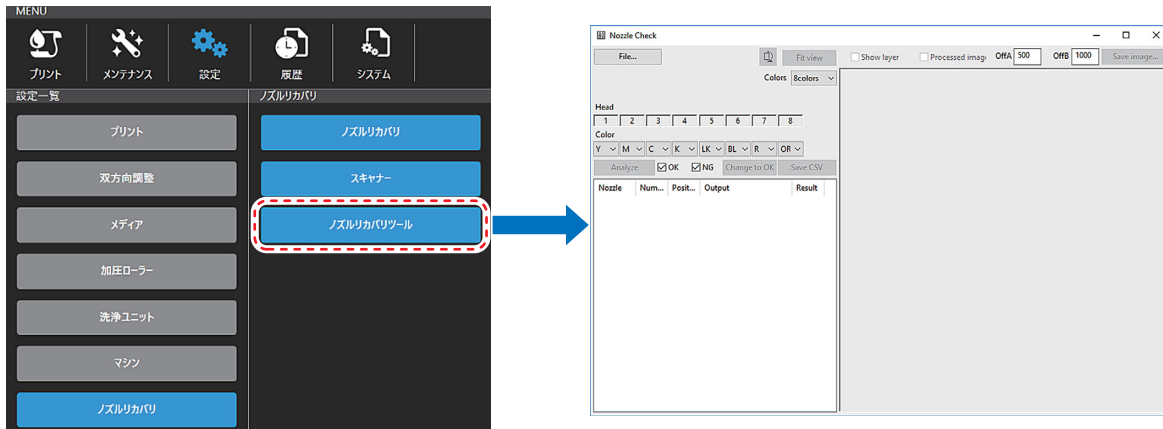
スキャナで読み込んだノズリカバリパターンを基にノズル抜けを解析し、ノズリカバリデータの作成を行います。



ノズリカバリパターンをスキャナにセットする方向に注意してください。スキャナの原点と、パターンの原点が一致していないと、ノズル抜け解析に失敗する原因となります。

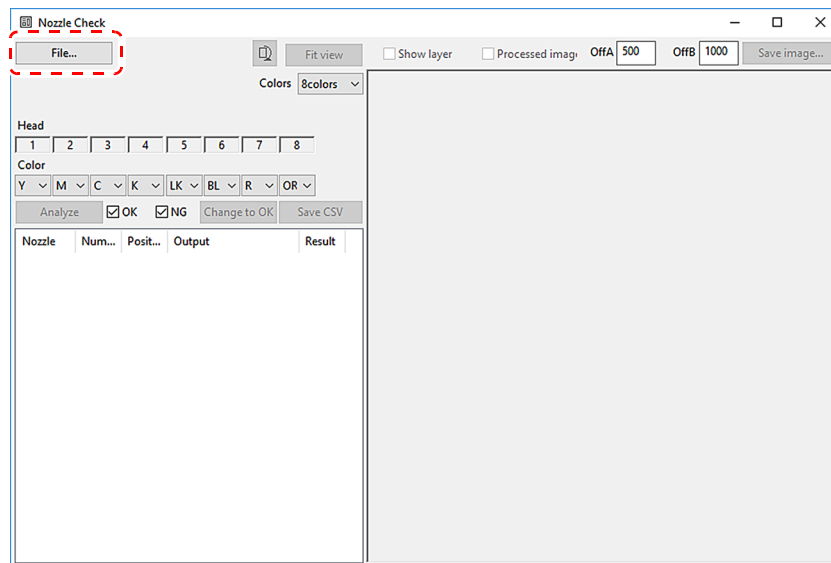
1 解析アプリケーション“NZCApp”を起動する。

・[設定]>[ノズリカバリ]>[ノズリカバリツール]メニューから、解析アプリケーションを起動します。

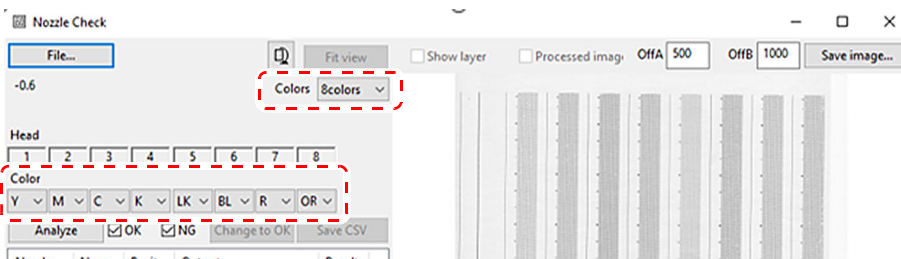


2 パターンを解析する。

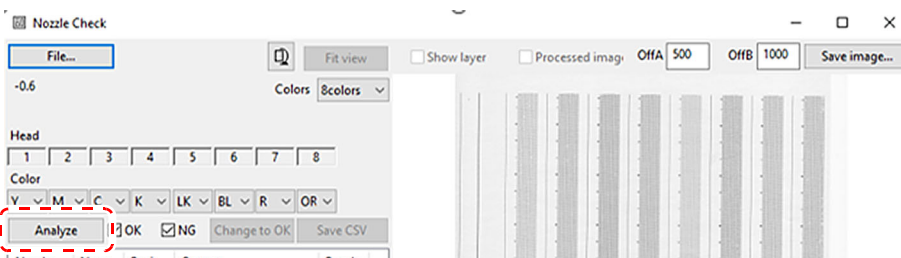
1. [File...] ボタンをタップし、スキャンしたノズリカバリパターンの画像データを選択してください。



2. インクセットおよびインクセットの色順が選択した画像データと相違がないか確認してください。



3. [Analyze] ボタンをタップすると、解析が開始されます。



3

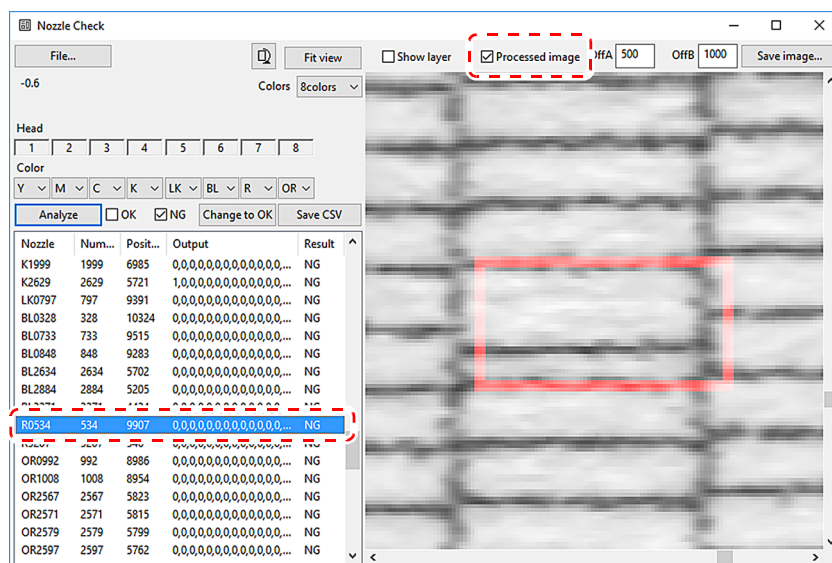
ノズル抜け解析結果を確認 / 修正。

- 解析を終了すると、左下に解析結果が表示されます。
- 解析結果の確認と、場合により結果を修正してください。

Nozzle	Num...	Posit...	Output	Result
Y0001	1	10999	0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,0,...	OK
Y0002	2	10997	0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,0,0,...	OK
Y0003	3	10994	0,0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,...	OK
Y0004	4	10992	0,1,1,1,0,0,0,0,0,0,0,0,...	OK
Y0005	5	10990	0,0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,...	OK
Y0006	6	10988	0,0,0,0,0,0,1,1,0,0,0,0,...	OK
Y0007	7	10986	0,0,0,0,1,1,0,0,0,0,0,0,...	OK
Y0008	8	10984	0,0,0,0,0,1,1,0,0,0,0,0,...	OK
Y0009	9	10982	0,0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,...	OK
Y0010	10	10980	0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,0,...	OK
Y0011	11	10978	0,0,0,0,0,0,1,1,0,0,0,0,...	OK
Y0012	12	10976	0,0,0,1,1,1,0,0,0,0,0,0,...	OK
Y0013	13	10974	0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,0,...	OK
Y0014	14	10972	0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,0,...	OK
Y0015	15	10970	0,0,0,0,1,1,0,0,0,0,0,0,...	OK
Y0016	16	10968	0,1,1,0,0,0,0,0,0,0,0,0,...	OK
Y0017	17	10966	0,0,0,0,0,0,1,1,1,0,0,0,...	OK

1. 結果の確認

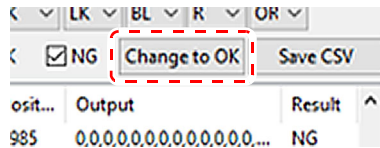
確認したいノズル番号を選択し、右上の [Processed image] チェックボックスにチェックを入れてください。
 該当ノズルの画像が表示されますので、ノズル状態を確認してください。



2. 結果の修正

ノズル状態を確認し、ノズル抜けが問題とされない範囲の場合は、結果を“NG” から ”OK” に修正できます。

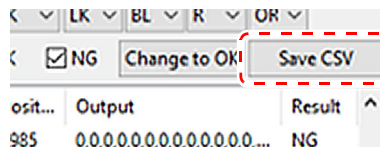
“OK” に変更する場合は、該当ノズルを選択し [Change to OK] ボタンをタップしてください。



4

ノズルリカバリデータの作成。

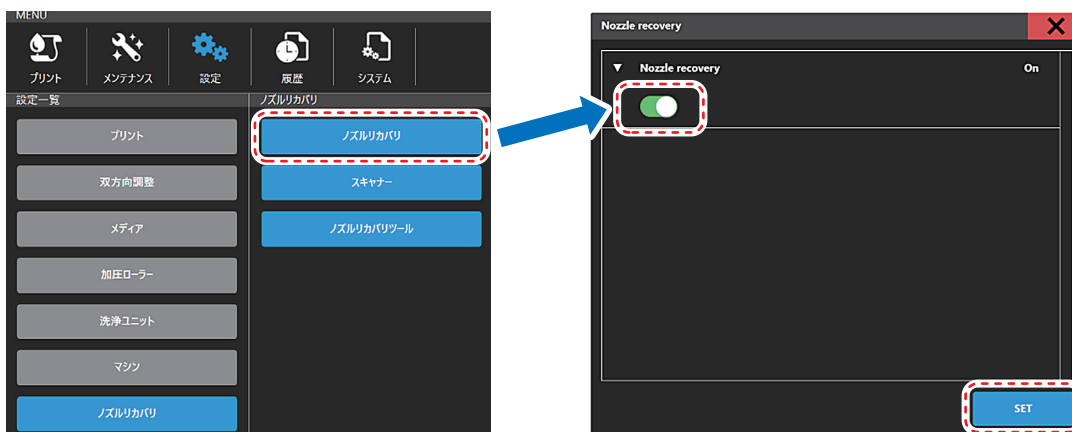
- 解析結果の確認、修正が完了した後、[Save CSV] ボタンをタップしノズルリカバリデータを作成してください。



ノズルリカバリ機能を有効にする

ノズルリカバリデータを作成後、ノズルリカバリ機能を有効にすることで、次回のプリントからノズルリカバリ機能が適用されます。

[設定]>[ノズルリカバリ]>[ノズルリカバリ]メニューから、設定画面を開きノズルリカバリを“ON”に設定してください。



メンテナンス

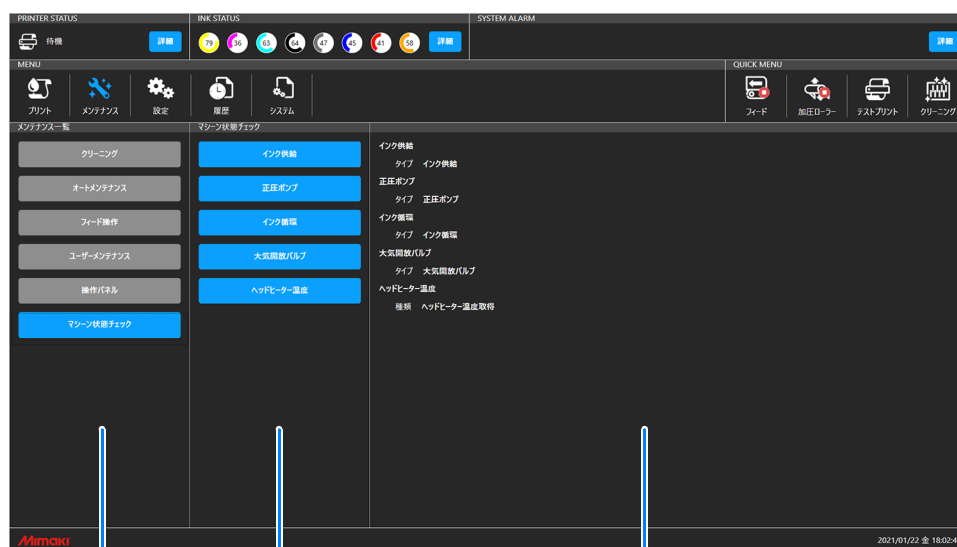
クリーニング動作、ヘッドクリーニングなどのメンテナンス方法について説明します。
待機中またはプリント中のオートクリーニング設定については、設定メニューから行います。

メンテナンスコンテンツの説明

メンテナンス操作はメンテナンスメニューから行います。

メンテナンスコンテンツ画面構成

[メンテナンス一覧] > [メンテナンスアイテム] から実施するメンテナンスを選択して実行します。
[メンテナンス一覧] を選択すると、メンテナンス設定内容一覧に各メンテナンスアイテムの設定値が表示されます。



メンテナンス一覧


メンテナンスアイテム

メンテナンス設定内容
一覧

操作パネルの操作方法

MPC メニュー、マシン操作パネルからフィード操作、加圧ローラー操作、キャリッジアウト操作、ワイパー洗浄ポンプ操作が実施可能です。

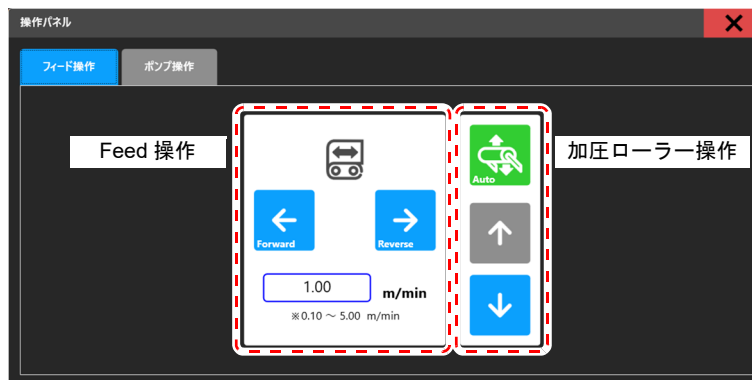
操作パネルの表示

[ メンテナンス] > [操作パネル] > [操作パネル] を選択すると、[フィード操作] と [ポンプ操作] ダイアログが表示されます。



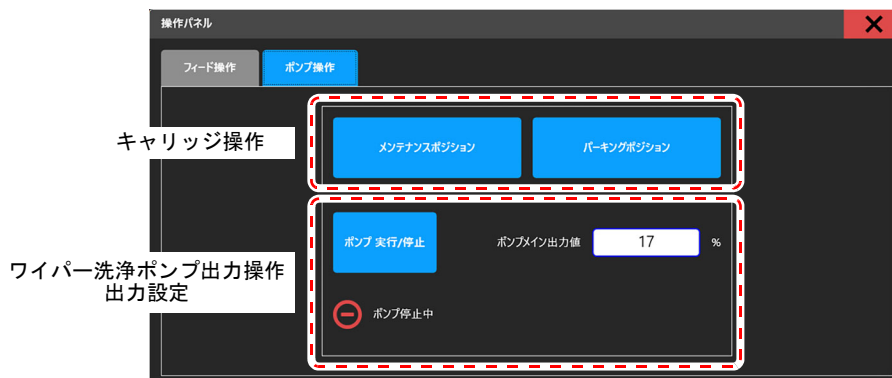
Feed 操作、加圧ローラー操作

本操作画面で、Forward Feed、Reverse Feed、Feed 速度変更、加圧ローラー操作をすることができます。地張り剤の張替えや、メディアセット時にご活用ください。



ワイパー洗浄ポンプの操作方法

本操作画面で、キャリッジの操作、ワイパー洗浄ポンプの出力設定と操作をすることができます。設定した、ワイパー洗浄ポンプ出力はクリーニング時の洗浄ポンプ出力に適用されます。ワイパーのメンテナンスと洗浄ポンプの出力値変更と出力確認時にご活用ください。



設定

ユーザーが設定可能な印刷品質やオートメンテナンスに関連する設定、周辺装置の動作条件や機器の動作などの設定方法について説明します。

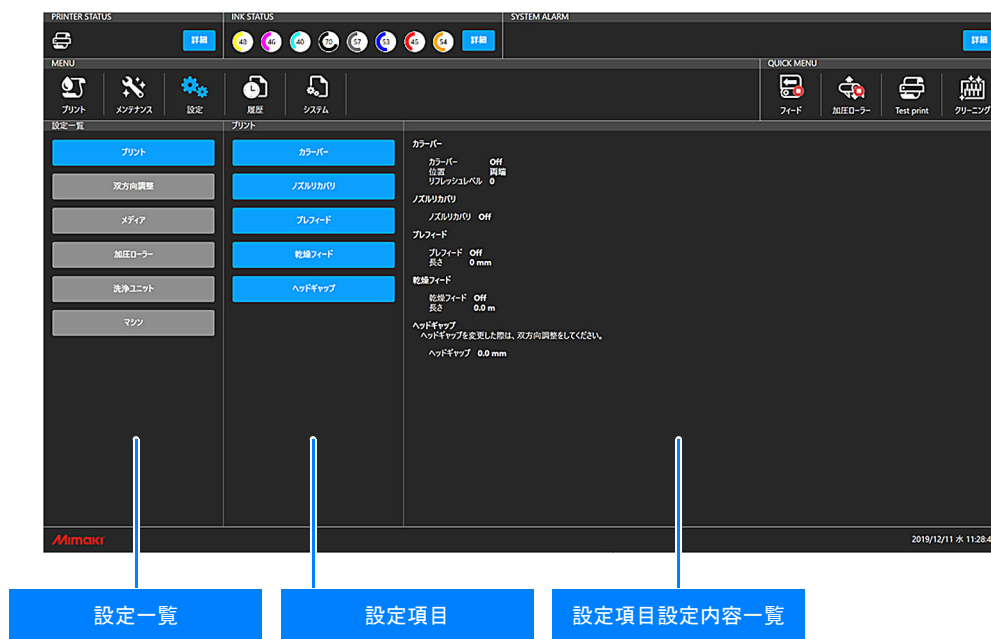
設定コンテンツの説明

設定操作は設定メニューから行います。

設定コンテンツ画面の説明

[設定一覧] > [設定項目] から設定する項目を選択します。


[設定一覧] を選択すると、設定項目設定内容一覧に各設定項目の設定値を表示します。

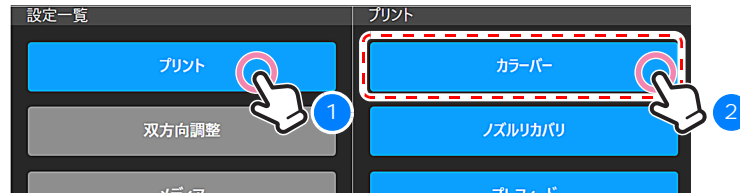


設定手順 例) カラーバー

カラーバー設定を例に、手順を説明します。

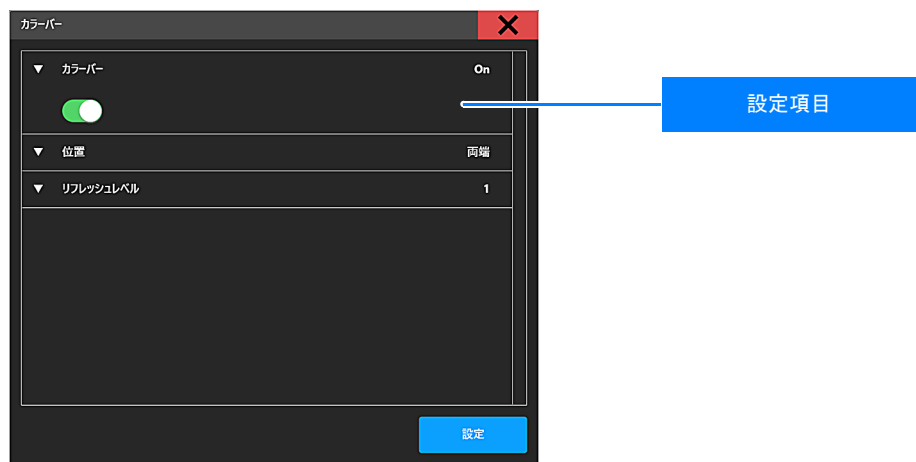
1 設定項目を選択する。

- ・[ 設定メニュー] > [プリント] > [カラーバー] を選択すると、[設定] ダイアログが表示されます。



2 設定値を入力する。

- ・[設定] ダイアログ内の各種項目で値を入力または選択します。



[設定ダイアログ]

3 設定を確定する。

- ・[設定] ボタンをタップし設定を確定します。設定完了後は [設定] ダイアログが閉じ、設定内容は設定項目設定内容一覧に反映されます。



機能説明

ステータスバー

プリンタステータス

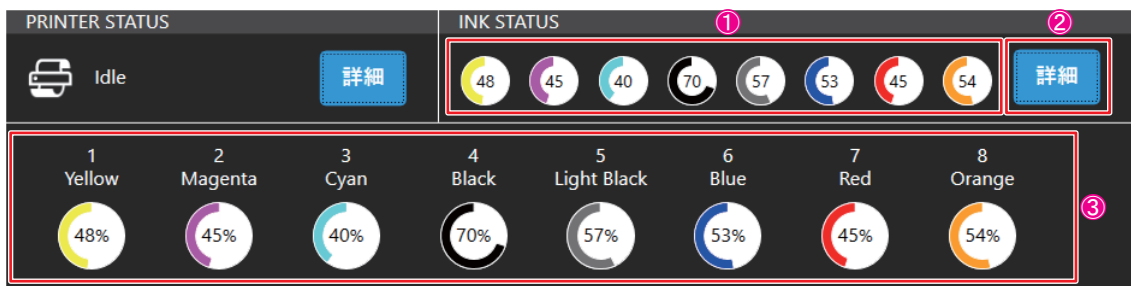
プリンタの状態が表示されます。



No.	名称	アイコン	説明
1	プリンタ状態アイコン		初期状態
			待機中
			プリント中
			一時停止中
			メンテナンス中
2	プリンタ状況説明	-	待機中 / プリント中 / 一時停止中 / クリーニング中
3	[詳細] ボタン		タップするとメカ状態が表示されます。
4	メカ状態表示		キャッピング / 加圧ローラー / フィード / 後方フィード / ベルトヒーター / 換気ファン / 洗浄水 / ブラシの状態が表示されます。

インク情報

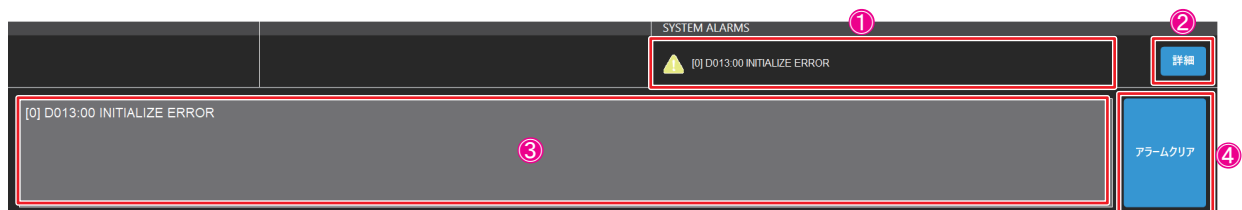
インクスロット毎のインクカラーとインク残量がグラフとパーセント (%) で表示されます。インク残量が少なくなると各インクの右下にアイコンが表示されます。



No.	名称	アイコン	説明
1	インク情報		通常表示 (インク残量 : 26% ~ 100%)
			: 右下の表示アイコン インクニアエンド (インク残量 : 21% ~ 25%)
			: 右下の表示アイコン インクエンド (インク残量 : 0% ~ 20%)
2	[詳細] ボタン		タップするとインク毎に情報が表示されます。
3	インク情報詳細表示		インク毎に No. と色名とインク残量が表示されます。

システムアラーム

本機でエラーが発生した際にアラーム情報が表示されます。



アラームの詳細については[システムアラーム \(P.6-21\)](#) をご覧ください。

メニュー

メニューは機能毎に構成され、選択したメニューの機能項目がコンテンツエリアに表示されます。



No.	名称	アイコン	説明	参照先
1	[プリント]メニュー		ジョブの管理とプリントに関する操作を行います。	P.6-46
2	[メンテナンス]メニュー		プリンタのメンテナンスを行います。各メンテナンスに関する操作を行います。	P.6-51
3	[設定]メニュー		プリンタの各種設定を行います。	P.6-55
4	[履歴]メニュー		各操作の履歴を表示します。	P.6-61
5	[システム]メニュー		システム情報の表示と、システムの設定を行います。	P.6-62

メニュー構成一覧

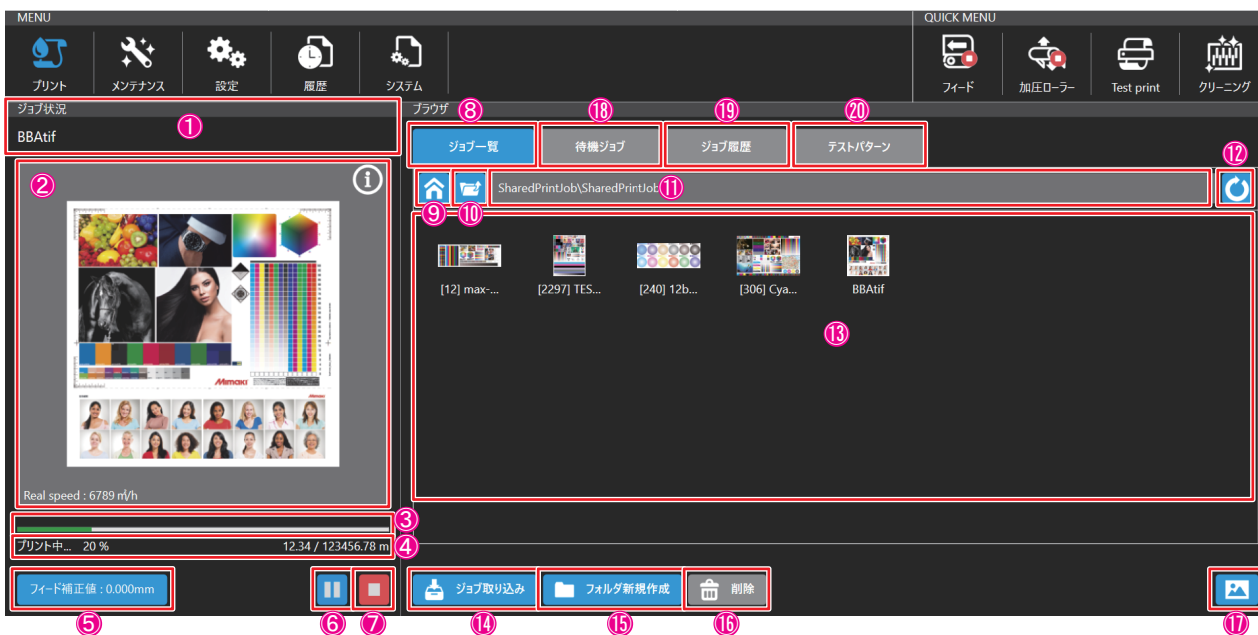
メニュー			参照先
プリント			P.6-46
メンテナンス	[クリーニング]	クリーニング	P.6-51
		パワフルクリーニング	
	[オートメンテナンス]	クリーニング (待機中)	P.6-52
		クリーニング (プリント中)	
	[フィード操作]	フィード	P.6-53
		後方フィード	
		フィード速度	
	[ユーザーメンテナンス]	キャリッジ操作	P.6-53
		ウィザード	
	[操作パネル]	操作パネル	P.6-54
[マシン状態チェック]	インク供給	P.6-54	
	正圧ポンプ		
	インク循環		
	大気開放バルブ		
	ヘッドヒーター温度		
設定	[プリント]	カラーバー	P.6-55
		プレフィード	
		乾燥フィード	
		ヘッドギャップ	
	[双方向調整]	双方向調整値	P.6-56
		└ 600Std パターン	
		└ 600Hi パターン	
		└ 1200Std パターン	
	[メディア]	メディア設定	P.6-57

メニュー		参照先	
設定	[加圧ローラー]	自動設定	P.6-57
		加圧ローラー	
	[洗浄ユニット]	自動設定	P.6-58
		洗浄タンク	
		洗浄ブラシ	
		洗浄水供給	
	[マシン]	しわセンサー	P.6-59
		巻き取り - 繰り出し	
		ベルトヒーター	
		換気ファン	
		ライト On/Off	
	[ノズルリカバリ]	ノズルリカバリ	P.6-60
		スキャナー	
ノズルリカバリツール			
履歴	プリント	P.6-61	
	メンテナンス		
	アラーム		
	操作		
	部品		
	マシンの状態		
システム	[システム設定]	言語	P.6-62
	[情報]	ディスク容量	P.6-62
		バージョン	
		ライセンス	
		ログ採取ツール	
	[ドキュメント]	操作ガイド	P.6-63
		アラーム一覧	
	[保守モード]	保守モード	P.6-63
	[電源]	システム再構成	P.6-64
		マシンリセット	
PC再起動			
PCシャットダウン			

[プリント]メニュー

ジョブの管理とプリントに関する操作を行います。

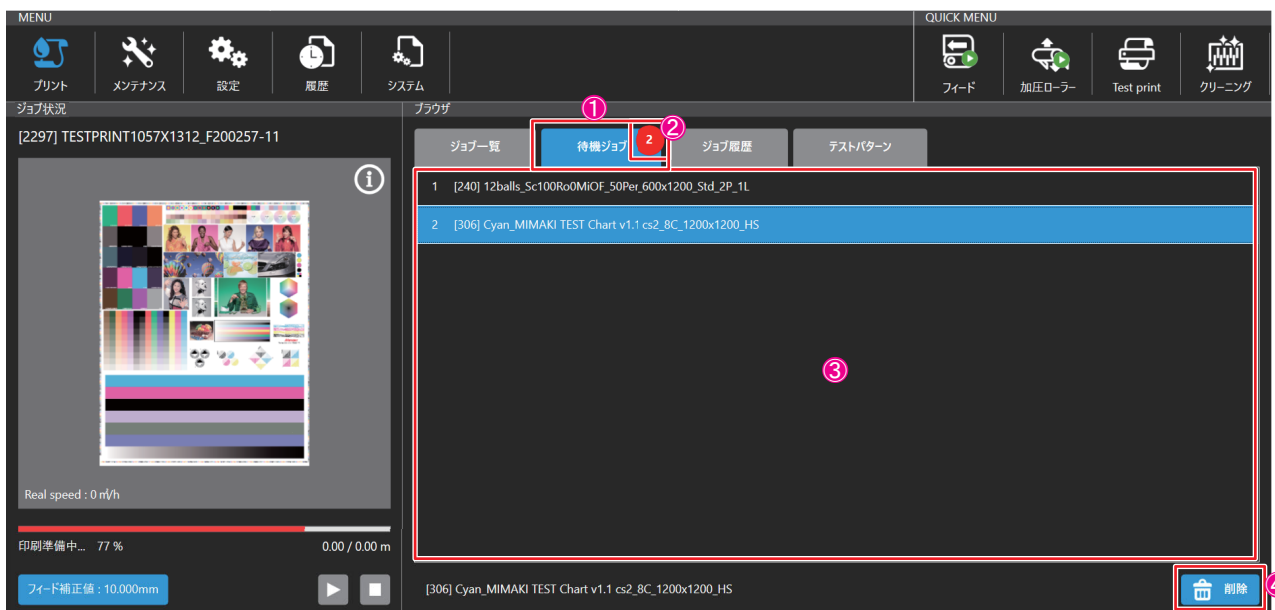
[ジョブ一覧]タブ



No.	名称	アイコン	説明
1	ジョブ名表示	ファイル名 BBA.tif	プリント中のジョブ名を表示します。
2	ジョブサムネイル表示		ジョブのサムネイルを表示します。
3	印刷進捗表示	プリント中... 20% 12.340 / 123456.780 m	プリントの進捗状況が表示されます。
4	印刷ステータス表示	プリント中... 20% 12.340 / 123456.780 m	プリントの状態が表示されます。 ・ 停止中 ・ プリント準備中 ... ・ プリント中 ... ・ プリント一時停止中
5	フィード補正值	フィード補正值 : 10.000mm	[フィード補正值設定] ダイアログが表示されます。
6	印刷一時停止		プリントを一時停止します。
	印刷再開		プリントを再開します。
7	印刷キャンセル		プリントをキャンセルします。
8	ジョブ一覧タブ	ジョブ一覧	ジョブ一覧が表示されます。
9	ホームフォルダーへ		ホームフォルダーが表示されます。

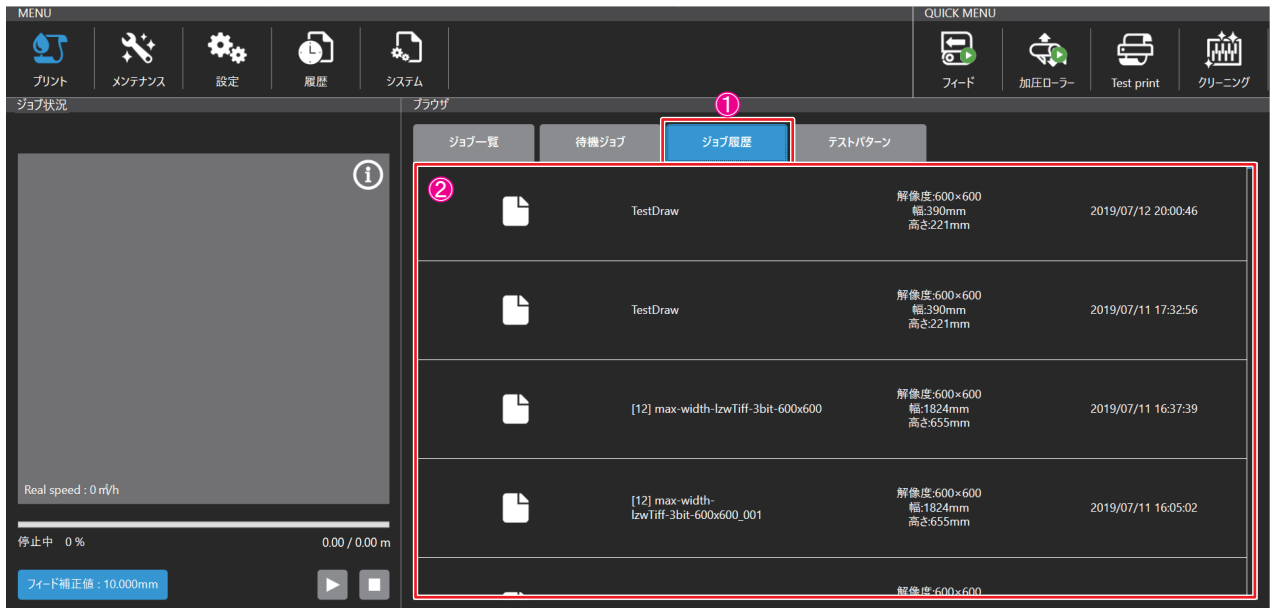
No.	名称	アイコン	説明
10	一階層上のフォルダーへ		一階層上のフォルダーが表示されます。
11	現在フォルダー名表示		タップすると現在開かれているフォルダー名が表示されます。
12	フォルダーの更新		現在開かれているフォルダーが更新されます。
13	ジョブサムネイル表示		現在開かれているフォルダーにあるデータがサムネイル表示されます。
	ジョブ選択		ジョブをタップすると[プリント条件指定]ダイアログが表示されます。
14	ジョブ取り込み		[取り込み]ダイアログが表示されます。
15	フォルダの新規作成		[フォルダ作成]ダイアログが表示されます。
16	ジョブの削除		削除したいジョブを長押しして選択し、[削除]をタップするとジョブが削除されます。
17	表示、並び替えメニュー		<p>アイコンをタップすると[表示]メニューと[並び替え]メニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [表示]メニュー <ol style="list-style-type: none"> (1) グリッド：簡易サムネイル表示 (2) リスト：詳細リスト表示 • [並び替え]メニュー <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブ名 (2) 最終印刷日 (3) 解像度 (4) 幅 (5) 高さ
18	待機ジョブタブ		プリント待ちのジョブ一覧が表示されます。 [待機ジョブ]タブ (P.6-48)
19	ジョブ履歴タブ		プリント済のジョブ一覧が表示されます。 [ジョブ履歴]タブ (P.6-49)
20	テストパターンタブ		テストパターン用のジョブ一覧が表示されます。 [テストパターン]タブ (P.6-50)

[待機ジョブ] タブ



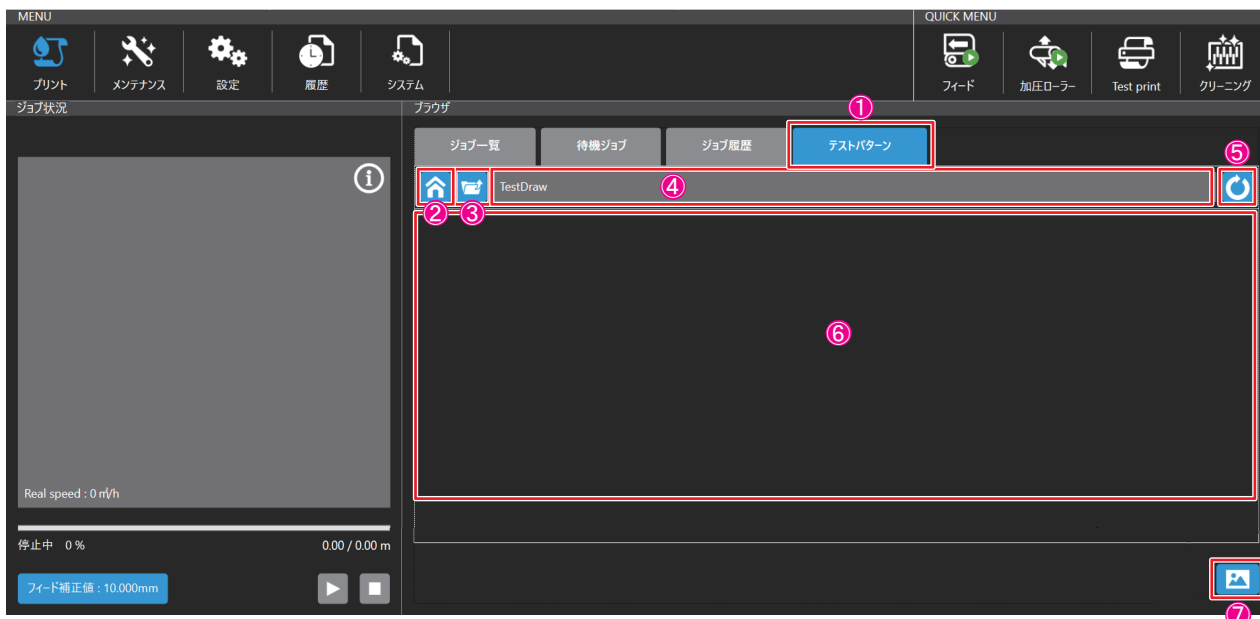
No.	名称	アイコン	説明
1	待機ジョブタブ		プリント待ちのジョブ一覧が表示されます。
2	待機ジョブ数		プリント待ちのジョブ数が表示されます。
3	待機ジョブ選択		ジョブをタップすると[プリント条件指定]ダイアログが表示され、プリント条件を変更することができます。
4	ジョブの削除		削除したいジョブを長押しして選択し、[削除]をタップするとジョブが削除されます。

[ジョブ履歴]タブ



No.	名称	アイコン	説明
1	ジョブ履歴タブ		プリント済のジョブ一覧が表示されます。
2	ジョブ選択		ジョブをタップすると[プリント条件指定]ダイアログが表示され、再印刷が可能です。

[テストパターン]タブ



No.	名称	アイコン	説明
1	テストパターンタブ		テストパターン用のジョブ一覧が表示されます。
2	ホームフォルダーへ		ホームフォルダーが表示されます。
3	一階層上のフォルダーへ		一階層上のフォルダーが表示されます。
4	現在フォルダー名表示		タップすると現在開かれているフォルダー名が表示されます。
5	フォルダーの更新		現在開かれているフォルダーが更新されます。
6	ジョブサムネイル表示		現在開かれているフォルダーにあるデータがサムネイル表示されます。
7	表示, 並び替えメニュー		<p>アイコンをタップすると [表示] メニューと [並び替え] メニューが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [表示] メニュー <ul style="list-style-type: none"> (1) グリッド: 簡易サムネイル表示 (2) リスト: 詳細リスト表示 • [並び替え] メニュー <ul style="list-style-type: none"> (1) ジョブ名 (2) 最終印刷日 (3) 解像度 (4) 幅 (5) 高さ

[メンテナンス]メニュー

メンテナンスやメンテナンスの設定を行います。

[クリーニング]メニュー



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	クリーニング	[クリーニング], [パワフルクリーニング]メニューが表示されます。	-	-
2	クリーニング	クリーニングのモード(ソフト/ノーマル/ハード)を選択してクリーニングを実施します。	ノーマル	ノーマル
3	パワフルクリーニング	パワフルクリーニングを実施します。	-	-

[オートメンテナンス]



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	オートメンテナンス	[クリーニング (待機中)], [クリーニング (プリント中)] メニューが表示されます。	-	-
2	クリーニング (待機中)	以下の項目を設定します。	-	-
		• 待機中のクリーニングの On/Off	On	On
		• 実行間隔 (時間)	30	30
		• モード (ソフト / ノーマル / ハード)	ノーマル	ノーマル
		• フラッシングの On/Off	On	On
3	クリーニング (プリント中)	以下の項目を設定します。	-	-
		• 印刷中のクリーニングの On/Off	On	On
		• 実行間隔タイプ: 距離 / 時間	時間	時間
		• 実行間隔 (距離)	100	100
		• 実行間隔 (時間)	30	30
		• モード (ソフト / ノーマル / ハード)	ノーマル	ノーマル

[フィード操作]



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	フィード操作	[フィード], [後方フィード], [フィード速度] メニューが表示されます。	-	-
2	フィード	[開始 / 停止] ボタンでフィード操作を行います。	-	-
3	後方フィード	[開始 / 停止] ボタンで後方フィード操作を行います。	-	-
4	フィード速度	フィード速度 (0.01 ~ 5.00 m/min) を設定します。	2.0	2.0

[ユーザーメンテナンス]



No.	名称	説明
1	ユーザーメンテナンス	[キャリッジ操作], [ウィザード] メニューが表示されます。
2	キャリッジ操作	キャリッジを [メンテナンスポジション] または [パーキングポジション] に移動します。
3	メンテナンスウィザード	画面の指示に従ってヘッドメンテナンス、ワイパーメンテナンス、ステーションメンテナンスを行ってください。

[操作パネル]



No.	名称	説明
1	操作パネル	操作パネルウインドウが表示されます。
2	操作パネル	Feed 操作、加圧ローラー操作、キャリッジアウト操作、ワイパー洗浄ポンプ操作が実施可能です。

[マシン状態チェック]



No.	名称	説明
1	マシン状態チェック	状態確認ウインドウが表示されます。
2	インク供給	インク供給の確認動作を実行して実行時間を表示します。 ^{*1}
3	正圧ポンプ	正圧生成の確認動作を実行して実行時間を表示します。 ^{*1}
4	インク循環	インク循環の確認動作を実行して実行時間を表示します。 ^{*1}
5	大気開放バルブ	大気開放バルブの確認動作を実行して実行時間を表示します。 ^{*1}
6	ヘッドヒーター温度	ヘッドの温度を表示します。

*1 ノズル面保護のため、ソフトクリーニング相当のインクを消費します。

[設定]メニュー

各種設定を行います。

[プリント]



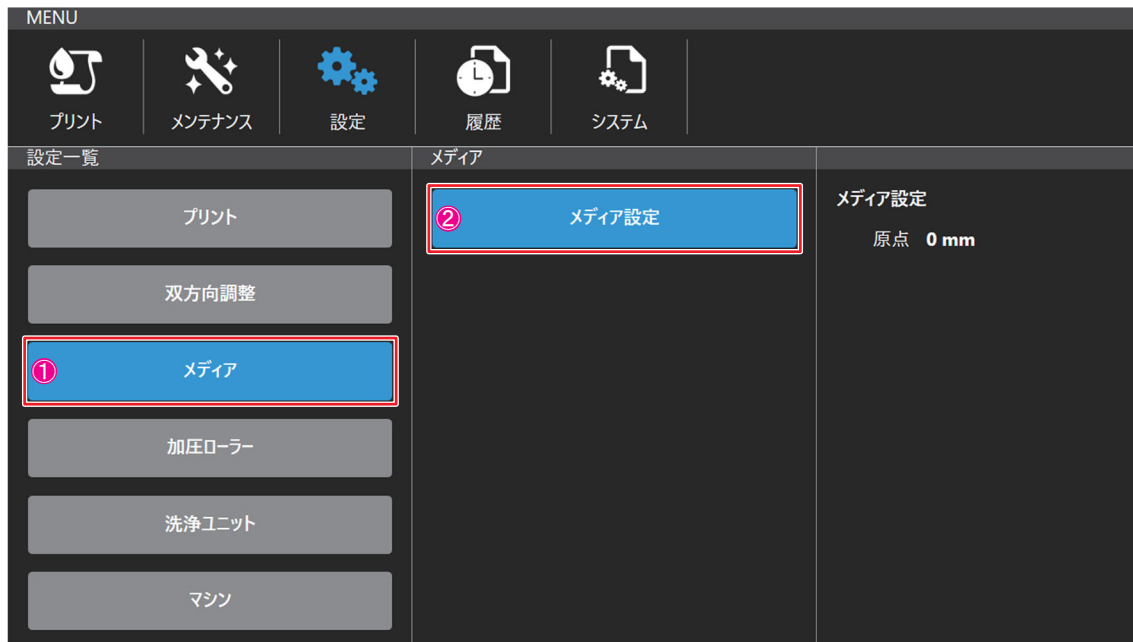
No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	プリント	[カラーバー],[プレフィード],[乾燥フィード],[ヘッドギャップ]メニューが表示されます。	-	-
2	カラーバー	以下の項目を設定します。	-	-
		・カラーバーの On/Off	On	On
		・カラーバーの位置 (両端 / 左)	両端	両端
3	プレフィード	以下の項目を設定します。	-	-
		・プレフィードの On/Off	On	On
4	乾燥フィード	以下の項目を設定します。	-	-
		・乾燥フィードの長さ (0.1 ~ 10.0m)	0.1	0.1
5	ヘッドギャップ	ヘッドギャップ (0.0 ~ 15.0mm) を設定します。	1.5	1.5

[双方向調整]



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	双方向調整	[双方向調整値], [600Std パターン], [600Hi パターン], [1200Std パターン], [1200Hi パターン] メニューが表示されます。	-	-
2	双方向調整値	以下の項目を設定します。	-	-
		• 600dpi Standard: -40.0 ~ 40.0	0.0	-
		• 600dpi High: -40.0 ~ 40.0	0.0	-
		• 1200dpi Standard: -40.0 ~ 40.0	0.0	-
	• 1200dpi High: -40.0 ~ 40.0	0.0	-	
3	600Std パターン	600Std パターンをプリントします。	-	-
4	600Hi パターン	600Hi パターンをプリントします。	-	-
5	1200Std パターン	1200Std パターンをプリントします。	-	-
6	1200Hi パターン	1200Hi パターンをプリントします。	-	-

[メディア]



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	メディア	[メディア設定]メニューが表示されます。	-	-
2	メディア設定	原点 (500 ~ 1950mm) を設定します。	500	-

[加圧ローラー]



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	加圧ローラー	[自動設定], [加圧ローラー]メニューが表示されます。	-	-
2	自動設定	On/Off を設定します。	Off	Off
3	加圧ローラー	[上げる / 下げる] ボタンをタップして加圧ローラーを上 下します。	-	-

[洗浄ユニット]



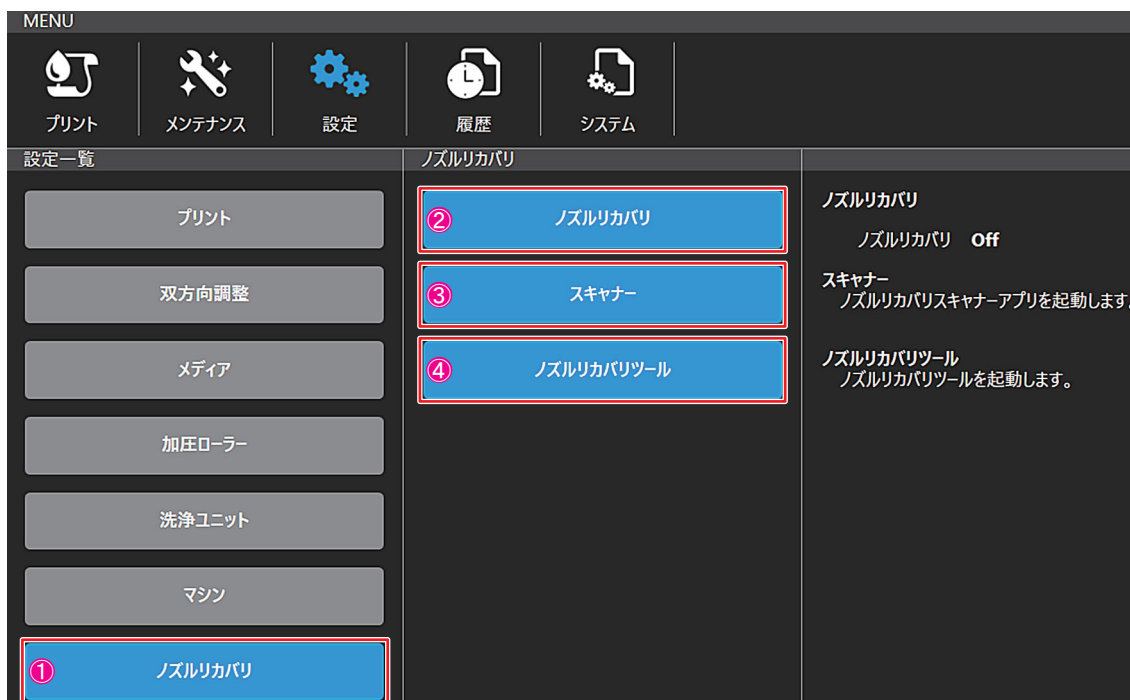
No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	洗浄ユニット	[自動設定], [洗浄タンク], [洗浄ブラシ], [洗浄水補給] メニューが表示されます。	-	-
2	自動設定	On/Off を設定します。	On	On
3	洗浄タンク	[稼働], [停止] ボタンをタップして、洗浄タンクをコントロールします。	-	-
4	洗浄ブラシ	[稼働], [停止] ボタンをタップして、洗浄ブラシをコントロールします。	-	-
5	洗浄水供給	以下の項目を設定します。	-	-
		• 供給の On/Off	On	On
		• 供給間隔 (1 ~ 60 min)	30	30
		• 供給時間 (1 ~ 50 sec)	5	5

[マシン]



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	マシン	[障害物センサー], [巻き取り-繰り出し], [ベルトヒーター], [換気ファン], [ライト On/Off] メニューが表示されます。	-	-
2	障害物センサー	障害物センサーの On/Off を設定します。	On	On
3	巻き取り-繰り出し	巻き取り機 / 繰り出し機無効の有効 / 無効を設定します。	-	-
		巻き取り機無効の有効 / 無効	有効	有効
		繰り出し機無効の有効 / 無効	有効	有効
4	ベルトヒーター	以下の項目を設定します。	-	-
		• ヒーターの On/Off	On	On
		• 遅延時間 (1 ~ 5 sec)	5	5
		• 加熱量 (0 ~ 100%)	60	60
5	換気ファン	以下の項目を設定します。	-	-
		• 換気ファンの On/Off	On	On
		• 遅延時間 (1 ~ 60 sec)	5	5
6	ライト On/Off	以下の項目を設定します。	-	-
		• ステーションライトの On/Off	Off	Off
		• インク格納庫ライトの On/Off	Off	Off

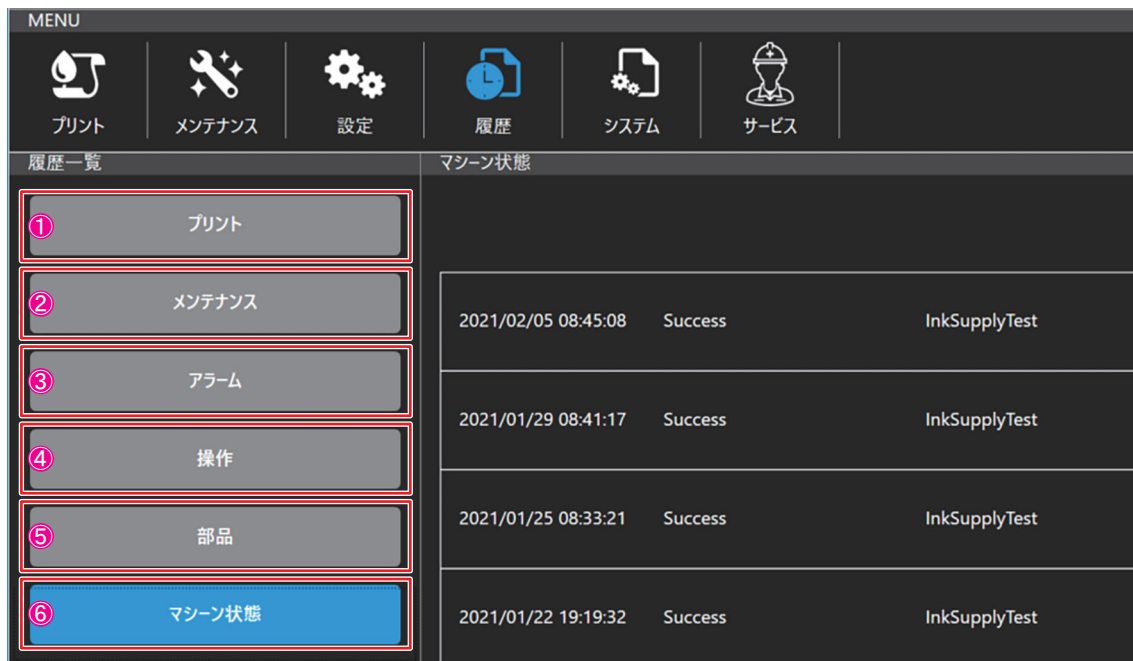
[ノズルリカバリ]



No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	ノズルリカバリ	[ノズルリカバリ],[スキャナー],[ノズルリカバリツール]メニューが表示されます。	-	-
2	ノズルリカバリ	ノズルリカバリ機能の On/Off を設定します。	Off	Off
3	スキャナー	ノズルリカバリパターンを読み込むためのスキャナーソフトを起動します。	-	-
4	ノズルリカバリツール	スキャナで読み込んだパターンをチェックするツールを起動します。	-	-

[履歴]メニュー

メンテナンスやメンテナンスの設定を行います。

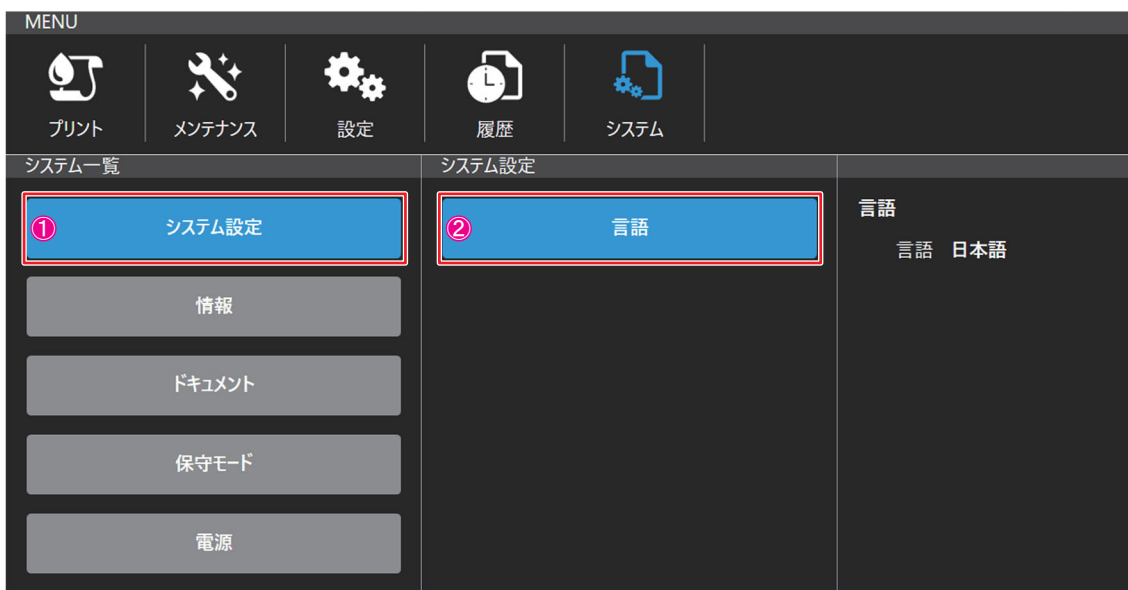


No.	名称	説明
1	プリント	プリントジョブの履歴が表示されます。
2	メンテナンス	メンテナンスの履歴が表示されます。
3	アラーム	アラームの履歴が表示されます。
4	操作	操作履歴が表示されます。
5	部品	主に、装着されたヘッドの履歴が表示されます。
6	マシン状態	マシン状態メニューから実行したインク供給、正圧ポンプ、インク循環、大気開放バルブ、ヘッドヒーター温度状態の結果が履歴表示されます。

[システム]メニュー

メンテナンスやメンテナンスの設定を行います。

[システム設定]



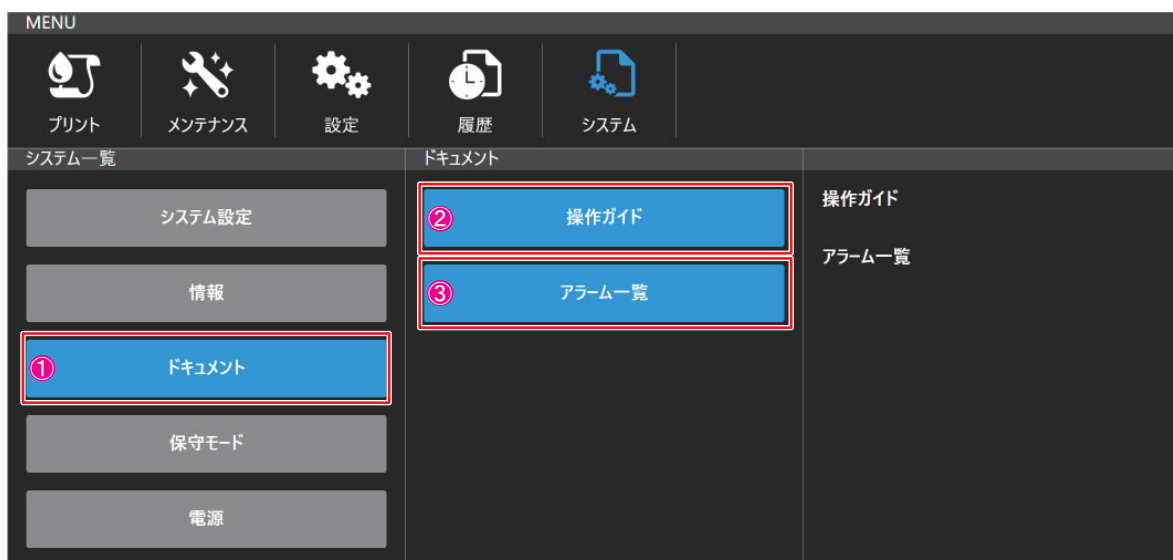
No.	名称	説明	初期値	推奨値
1	システム設定	[言語]メニューが表示されます。	-	-
2	言語	言語 (English/ 日本語) を設定します。	English	-

[情報]



No.	名称	説明
1	情報	[ディスク容量],[バージョン],[ライセンス],[ログ採取ツール]メニューが表示されます。
2	ディスク容量	ディスク容量が表示されます。
3	バージョン	MPC (本ソフトウェア) Version, MDC Version, FW の Version が表示されます。
4	ライセンス	ライセンスが表示されます。
5	ログ採取ツール	内部に保存しているログデータを USB メモリに圧縮しコピーができます。

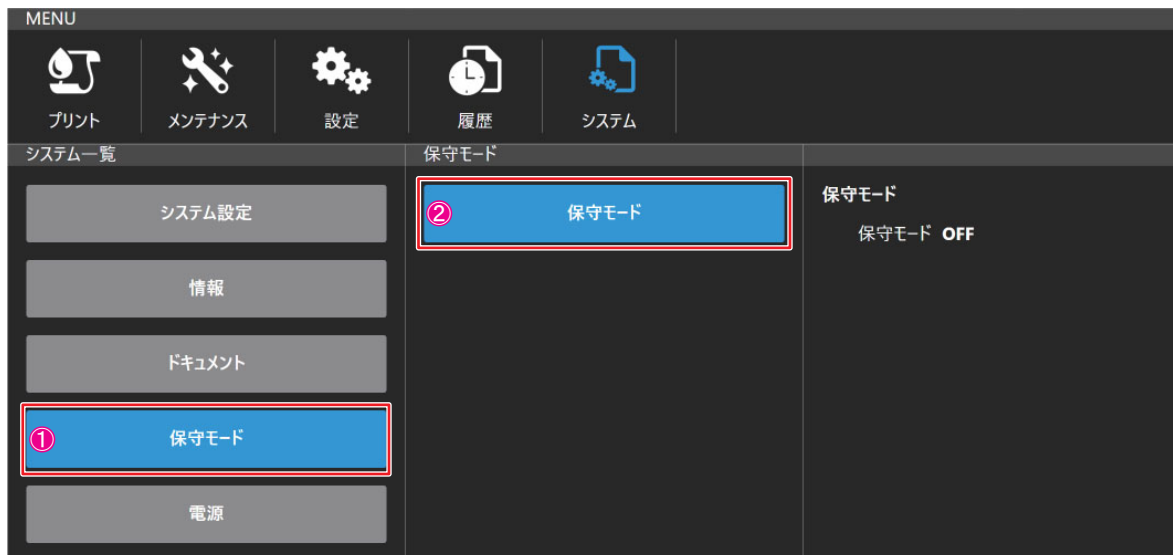
[ドキュメント]



No.	名称	説明
1	ドキュメント	[操作ガイド], [アラーム一覧]メニューが表示されます。
2	操作ガイド	操作ガイドが表示されます。
3	アラーム一覧	アラーム一覧が表示されます。

[保守モード]

サービス用のメニューです。使用できません。



[電源]






No.	名称	説明
1	電源	[システム再構成], [マシンリセット], [PC再起動], [PCシャットダウン]メニューが表示されます。
2	システム再構成	システム再構成の確認ダイアログが表示されます。 [OK]をタップすると再初期化されます。
3	マシンリセット	マシンリセットの確認ダイアログが表示されます。 [OK]をタップするとマシンのリセットを行います。 実行中の操作はすべてリセットされます。
4	PC再起動	PC再起動の確認ダイアログが表示されます。 [OK]をタップするとPCが再起動されます。 実行中の操作はすべてリセットされます。
5	PCシャットダウン	PCシャットダウンの確認ダイアログが表示されます。 [OK]をタップするとPCがシャットダウンされます。 実行中の操作はすべてリセットされます。

クイック機能

使用頻度の高い機能をショートカットアイコンから直接実行します。



No.	名称	アイコン	説明
1	フィード	 停止中  フィード中	フィード操作を行います。
2	加圧ローラー	 上  下	加圧ローラーを上下します。
3	Test print		テストプリントを実施します。
4	クリーニング		クリーニングを実施します。

第7章 操作、調整、お手入れ



この章では、

本機の基本的な操作方法について、また調整方法とお手入れについて説明します。

作業員（オペレーター）へのトレーニング	7-2
オペレーターについて	7-2
オペレーターの作業	7-2
作業開始前の準備	7-2
生地の搬送	7-3
プリンターの操作	7-4
一時停止	7-4
長期停止	7-4
清掃および地張り剤張替えの手順	7-5
ベルト洗浄ユニットの準備	7-5
スキージブレードの調整	7-6
スキージブレードの交換	7-7
ベルトの清掃手順	7-10
クリーニングの手順	7-10
ワイパーブレードの交換	7-11
インクタンクの交換	7-13
クリーニング洗浄液（ワイパー洗浄液）の補充	7-16
廃液タンクの設置・交換	7-18

作業員（オペレーター）へのトレーニング

- 本機を操作する作業員（オペレーター）は、Mimaki の技術者による現地でのトレーニングに参加し、取扱説明書（本書）に記載のすべての情報、特に事故防止および安全規則について理解していなければなりません。
- 雇用主は、本機を操作するすべてのオペレーターに本書を公開する責任があります。また、オペレーターは、本機を取り扱う前に、本書の内容を知らされていなければなりません。



• 本書では、使用する保護具を一目で認識できるように図記号で表示しています。

オペレーターについて

オペレーターは、以下の要件を満たす必要があります。

- 本書の内容や図表、また本機のディスプレイに表示されるメッセージや記号について正しく理解できる程度の一般教養と専門教養。
- 本機と成果物の両方に関する知識。

オペレーターの作業

- 通常操作の手順
 - 本機でのメディアの繰出し
 - 本機の使用前準備
 - 本機の起動
 - 本機の停止
 - 緊急停止
 - 緊急事態後の再起動
 - 印刷済みメディアの確認
 - 本機および各ユニットの清掃
 - 通常の保守

作業開始前の準備

本機は、Mimakiにて調整とテストが行われています。

設置後、Mimaki 公認の保守作業員は、最終調整と最初の起動を行います。

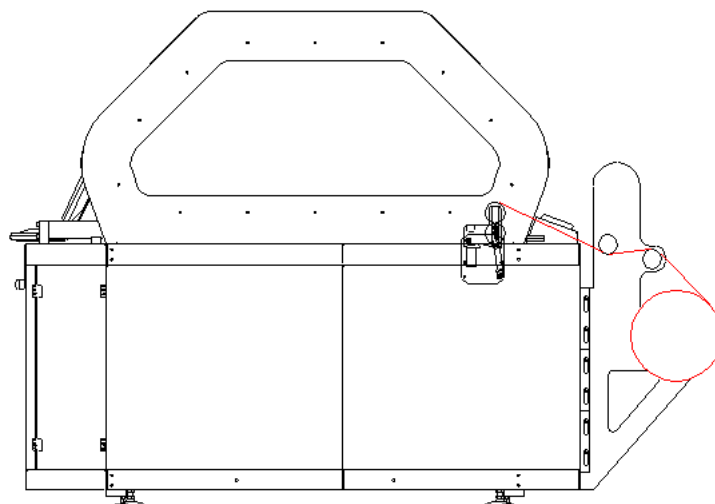
これ以上の調整は必要ありません。

供給ラインの事前確認

オペレーターは、本機の最初の起動前に、すべての安全性システムが適切に機能していることを目視で確認し、回転方向を確認してすべての駆動系が適切に接続されていることを確かめます。

手順		供給ラインの事前確認			
S	モード	キー	表示	説明	参考
1				緊急事態に行う復旧作業と安全装置の準備ができたことを確認します。	
2				切り替え装置の調整が行われたことを確認します。	
3				本機の充電が終わりメディアの搬送が行われたことを確認します。	
4		[GENERAL SWITCH]	0 - 1	主電源スイッチの位置を 1 にして、本機に電圧を供給します。	5-2
5		P01 - No.1		押しボタンパネル（P01）の白いライトが点灯した場合、本機に電圧が供給されています。	5-3
6		P01 - No.3	緊急事態のリセット	RESET EMERGENCY が点灯した場合は、リセット状態を復元する必要があります。	5-3
7		P01 - No.3	緊急事態のリセット	RESET EMERGENCY ボタンを消灯するまで押し続けます。	5-3
8	AUT			RESET EMERGENCY ボタンが消灯したら、ソフトのアラームをリセットしてください。	
手順の終了					






メディアの搬送



手順		メディアの搬送			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1			メディアの装着 - 取り外し	エアシャフトにメディアロールを装着します。	2-2
2				2つの折り返しローラーにメディアを通過させます。	
3		P02 - No.3	加圧ローラー	加圧ローラーを持ち上げます。	5-4
4				加圧ローラーにメディアを通過させます。	
5				搬送ベルトにメディアを接着させます。	
6		P02 - No.3	加圧ローラー	加圧ローラーを下げます。	5-4
7				オペレーターパネルでジョグモードに設定します。	
8				ベルトの動作を制御します。	
9				ベルトからメディアを放し、巻取ユニットに挿入します。	
10		P02 - No.1	[PNEUMATIC BRAKE ADJUSTMENT] [ON] - [OFF]	必要に応じて、空気圧ブレーキ調整のレバーでメディアのテンションを増減します。	5-4
11		注記 		繰出し操作の間は、低速でのみ実行してください。	




手順の終了

プリンターの操作

手順		プリンター操作の開始			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1			メディアの装着 - 取り外し	エアシャフトにメディアロールを装着します。	2-2
2				メディアが正しく通過しているかを確認します。	7-3
3				[start] を押して、プリンターの作業を開始します。オペレーターパネルで操作できます。	
4				オペレータは、操作が適切に実施されているかを管理します。	
5				印刷とメディアの繰出しが終わったら、オペレーターはメディアロールを取り外します。	
手順の終了					

一時停止

本機を一時停止するには、以下に示す手順を行います。




手順		本機の一時的停止			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1				オペレーターは、オペレーターパネルから本機を停止します。	
2				本機の停止を確認します。	
3		PEM	緊急	緊急事態の場合、本機のいずれかの非常停止スイッチを押して停止します。	5-4
手順の終了					



- メディアの回収に失敗しないように、印刷中のメディアが終わりにくる前に、本機を停止することをお奨めします。

長期停止

休日期間中や 24 時間を超えて本機を停止するには、以下に示す手順に従います。

手順		延長停止			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1				タッチパネルの [システム] > [電源] > [PC シャットダウン] から、PC をシャットダウンします。	6-64
2					
3		[GENERAL SWITCH]	0 - 1	電装ボックスの正面側のメインスイッチの位置を 0 にして、電圧を切ります。	5-2
手順の終了					



- 2 日以上本機を停止する場合は、事前に Mimaki にお知らせください。Mimaki 保守作業員がヘッドの長期保存処置を行う必要があります。

清掃および地張り剤張替えの手順

ベルトに地張り剤層が均等に塗布されている場合、メディアの接着性と安定性が確保されます。これは、プリンターの適切なパフォーマンスを得るために不可欠な作業です。

一定時間の経過後、印刷条件に応じて、地張り剤の効力が落ちていないかを確認できます。

効力が落ちた場合、地張り剤を完全に取り除いてから、再度新たな地張り剤を張替える必要があります。



- 清掃に使用する洗浄剤や張替えの地張り剤には、毒性および燃性の物質が含まれます。
- 供給メーカーが提供するすべての安全指示に慎重に従うことをお奨めします。
- Mimaki では、これらのガイドラインに従わない場合の結果については責任を負いません。

ベルト洗浄ユニットの準備

本機には、2つの回転ブラシ付きのベルトが装備されています。

ベルト洗浄ユニットの操作を行うには、以下の手順に従います。

手順		ベルトの清掃システムの準備			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1				排出バルブが閉じていることと、タンク内に埃や汚れがないことを確認します。	
2				コンピューターからコマンドを使用してソレノイドバルブの動作時間(頻度と機能時間)を変更するか、タンク内に直接水を充填して、排出レベルまでタンクをいっぱいにします。	
3				水を直接充填する場合は、本書に記載の手順に従い、タンクを取り出す必要があります。	9-3
4	AUT			水が最大レベルに達すると、プラントの主要排水管に自動的に排出されます。	
5				タンクを徹底的に清掃する必要がある場合は、排出バルブを開けて空にします。	
6				タンクの内部清掃を実行して、インクの残留物、埃、汚れを取り除きます。	
7				排出バルブを閉じます。	
8				手動で、あるいはPCからソレノイドバルブを使用して、清浄水を入れます。	
手順の終了					

スキーブレードの調整



・設置したスキーブレードは、機器の最終構成によって異なる場合があります。

スキーブレードの高さを再確認する必要があります。特にノイズが増加した場合や水滴がベルトに見られた場合に確認します。

再調整後、ノイズが大幅に増えた場合は、まずベルトが濡れ始めるまで高さを下げます。

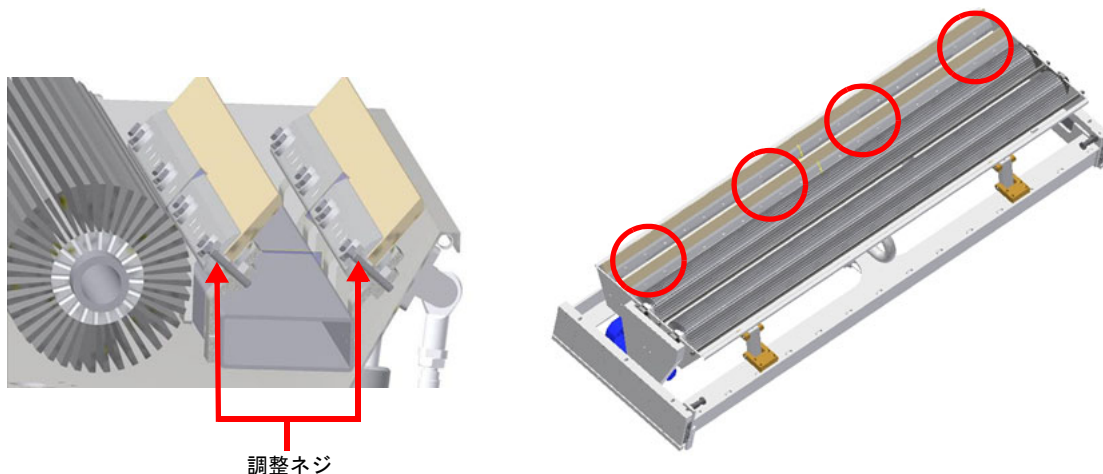
次に、ベルトが乾燥するまで高さを再度増やします。ベルトの全体を確認することをお奨めします。

スキーブレードとブラシによって、ベルトに過度の圧力を与えないください。スキーブレードはノイズが多いため、ベルトの地張り剤層の摩耗が酷くなり、ブラシで水が飛び散る可能性があります。

調整操作については、以下の手順を参照してください。

手順		スキーブレードの調整			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1				スキーブレードの調整は、以下の場合に行います。 ベルトに水滴が付いている場合 ノイズや振動が増えた場合	
2				該当の制御機能を使用して、タンクの背面部を下げます。	
3				洗浄タンクのロックを解除して、機器から取り出します。	
4				指定のネジを緩めて、スキーブレードの位置を調整します、その後、正しい位置に達したらネジを締めます。	

スキーブレードの調整








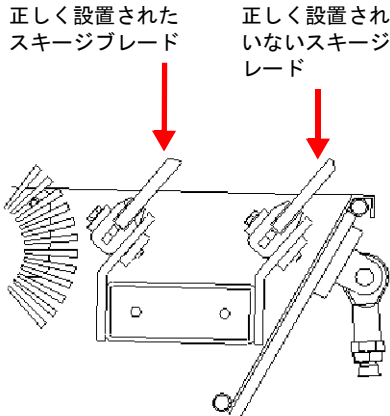
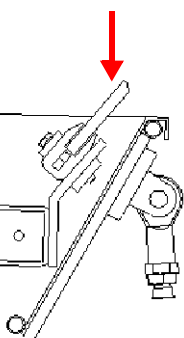
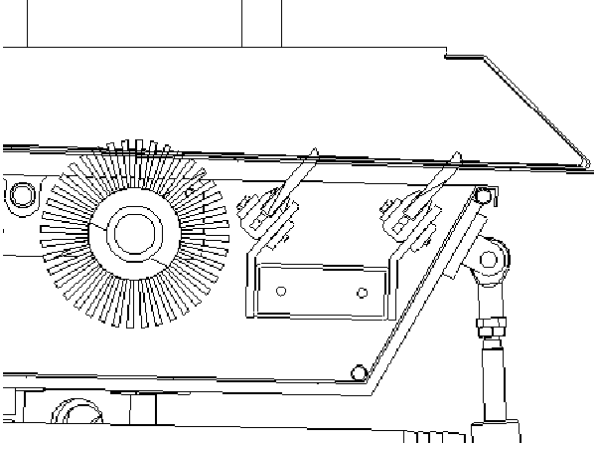

手順の終了

スキージブレードの交換

スキージブレードは、ベルトから洗浄水を取り除く際に使用するゴム製のデバイスです。

スキージブレードはゴム製のため、一定時間が経過すると、処理のタイプにもよりますが、摩耗の影響を受けて清掃作業を適切に出来なくなります。

交換作業は、以下の手順に従います。

手順		スキージブレードの交換			
S	モード	キー	指示	操作	参考
1				該当の制御機能を使用して、タンクの背面部を下げます。	
2				洗浄タンクのロックを解除して、本機から取り出します。	
3				適切なサイズの六角レンチを使用して、締め付けネジを取り外します。	
4				摩耗したスキージブレードを取り外し、新しいものと交換します。	
5			注	スキージブレードの設置位置に注意してください。以下の図面に、正しい設置場所を示します。正しく設置しないと、機器の不具合やコンポーネントの損傷が生じます。	
スキージブレードの設置					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>正しく設置された スキージブレード</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>正しく設置されて いないスキージブ レード</p>  </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>					
6				スキージブレードの位置を調整します。その後、正しい位置に達したらネジを締めます。	
手順の終了					

ベルトへの地張り剤の塗布に必要な材料

表	機能	データ
▶	接着用中性塩基	Unilevel ML ATR1948 Fortex S.p.A. 1 [Kg]
▶	樹脂接着剤	Atrafix ML/K ATR1947 Fortex S.p.A. 1.5 [Kg]
▶	アルコール	100 [°]
▶	粘着紙テープ	25 [mm]
▶	溶剤 (清掃用)	Persolvan NV Villa I.C.
▶	地張り剤の塗布後にバーを取り外すための PET フィルム	幅 : 60 [mm] 長さ 1650 [mm] 厚さ : 1 [mm]

ベルトを一度も使用したことがない場合は、清掃して、残っている汚れや埃を除去してください。

ベルトへの地張り剤の塗布

捺染モデルで使用する場合、樹脂接着タイプ Atrafix ML/K ATR1947 と中性塩基の Unilevel ML ATR1948 を 4:1 の割合で混合した地張り剤を調製することをお奨めします。

* 地張り剤の組成は使用するメディアにより異なります。

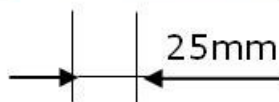
樹脂の割合を増減して、ベルトへのメディアの固着力を増減させます。

含有成分を混ぜて、塗布に必要な量の地張り剤を調製したら、以下に示す手順に従います。

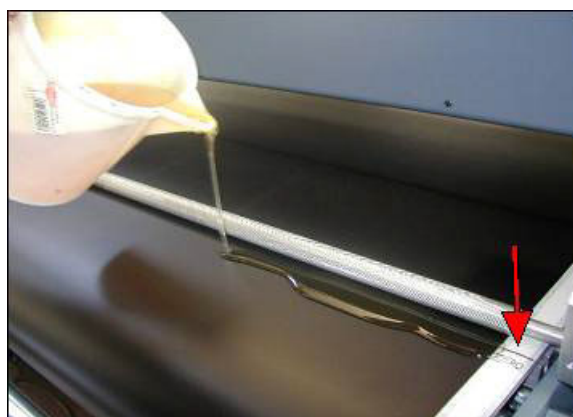





- この作業の前に、除外キーを回します。
- この作業中は、ヒーターを稼働しないでください。また、洗浄システムはオフにしてください。

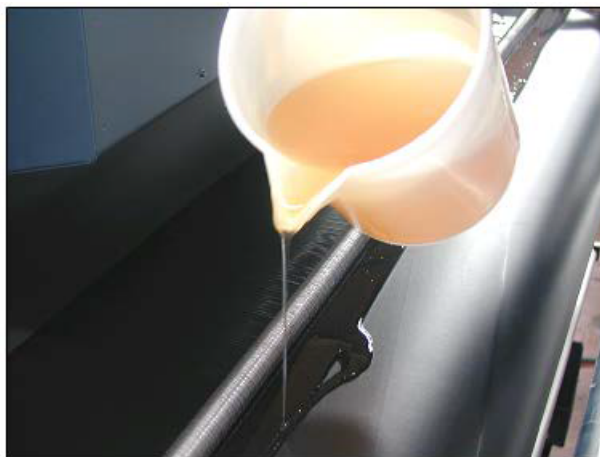
手順		ベルトへの地張り剤の塗布			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1				地張り剤が漏れないように、ベルトの端に粘着テープの細片 (幅 25 mm) を 2 本付けることをお奨めします。	下図








2				ベルトのジョグ逆方向モードを設定します。	
3				支持部に地張り剤を塗布するドクターを配置し、ベルトに最初の地張り剤層を均等に塗布します。	
4				ベルトが一周した事がわかるように、粘着テープに初期点 (印) を付ける事をお勧めします。	下図
5				地張り剤組成： 80% Atrafix ML/K ATR1947 Resin 20% Unilevel ML ATR1948 Neutral Base	7-8



6				オペレーターパネルの適切なコマンドを使用して、手動による後方移動を開始します。	
7	 			ベルトに地張り剤を均等に塗布します。	下図



8				地張り剤がベルトの表面全体に均等に塗布されたら、操作の完了です。	
9	 			PET フィルム (幅 60 cm) を使用して、ドクターを取り外します。	
10				ベルトが低速で移動しているときに、ドクターの前にプラスチックの細片を置きます。	下図
11				PET フィルムがドクターの下になったときに、ベルトを停止します。PET フィルムをドクターに巻き付けてベルトから取り外します。	下図
手順の終了					






PET フィルム



ドクターの取り外し

ベルトの清掃手順

プリンターの使用後、地張り剤を除去する必要がある場合は、以下に示す手順に従います。

手順		ベルトの清掃手順			
S	モード	キー	表示	操作	参考
1				清掃に使用する溶剤がベルトに損傷を与えないように、洗浄タンクを取り外します。	9-3
2				プリントヘッドとシリンダーを保護します。	
3				ベルトの移動中(地張り剤の塗布作業中など)に、溶剤タイプ Persolvan NV をベルトの表面全体に均等に散布して、1枚以上の布で余分な地張り剤を除去します。	
4				溶媒の塗布には噴霧器の使用をお奨めします。	
5				残留物をすべて除去すると、新しい地張り剤層を塗布できます。	
手順の終了					

クリーニングの手順

プリントヘッドステーションは、プリンター構造内部の、プリントヘッドのキャリッジFにあります。

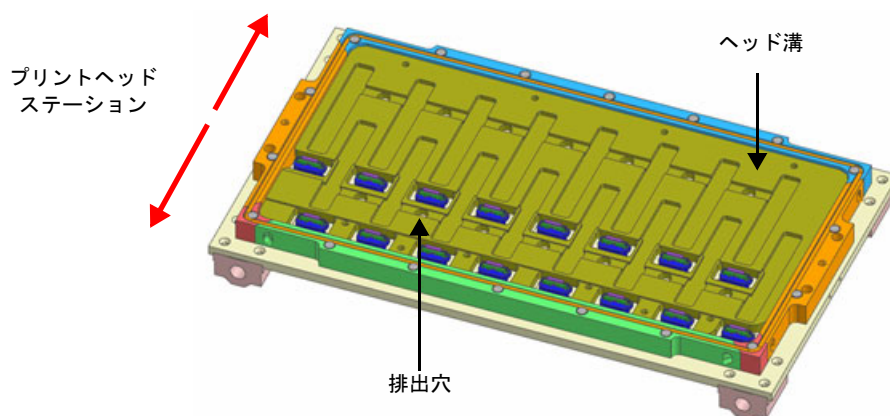
キャリッジが静止位置にある場合、ステーションはプリントヘッドに接触します。この場所で、プリントヘッドはインクのパージを実行し、その後、ステーションの前後移動により、余分なインクが除去されて、プリントヘッドは適切な状態になります。

各ヘッド溝の周辺には、プリントヘッドからインクを除去できるワイパーがあります。

ユニット内のインクは、本機の主要排水管に接続した適切な排出装置(各ユニットに1つ)を使用してステーションから排出されます。

各ヘッド溝の排水管は上昇した位置にあります。この方法でヘッドを湿らせるためのインク層が常にありますが、ヘッド溝がいっぱいになると排出穴を通してヘッド溝の下部へ排出が行われます。

クリーニングは、メディアへの印刷に影響を与えるヘッドからのインクの液滴を除去するために行われます。



ワイパーブレードの交換

ワイパーの交換タイミングの目安は、2週間に1回となります。

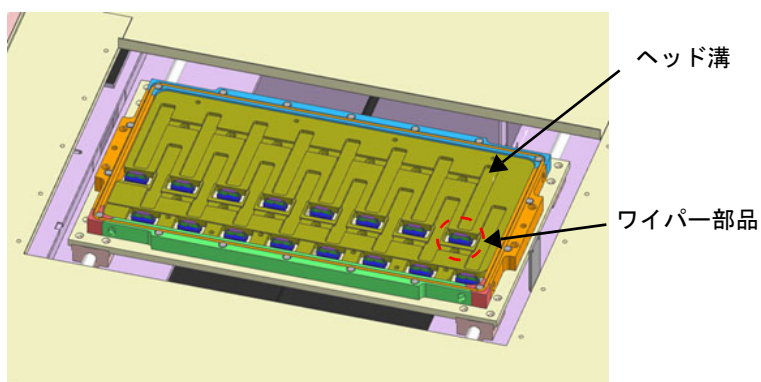


・オペレーターは、交換作業を開始する前に、保護めがねや保護手袋を身につけてください。

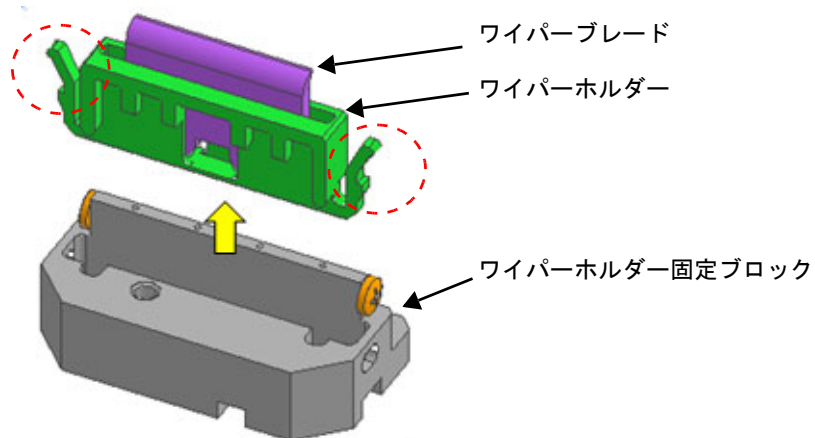


・ワイパーブレードの交換は、下記の方法の他に[メンテナンス]メニューの[ユーザーメンテナンス]>[メンテナンスウィザード]を使用して行うこともできます。

- 1 タッチパネルで[メンテナンス]メニューの[ユーザーメンテナンス]>[キャリッジ操作]を選択する
- 2 [キャリッジ操作]ダイアログで[メンテナンスポジション]をタップする
・キャリッジがメンテナンス位置に移動します。
- 3 安全のために緊急スイッチを押す
- 4 右前側のカバーを開く
- 5 ステーションを清掃する
・ステーションのヘッド溝とワイパー部品からすべてのインクを取り除きます。



- 6 ワイパーホルダーの赤丸部（下図）を内側に倒しながら持ち上げ、ワイパーホルダーをワイパーホルダー固定ブロックから取り外す



7

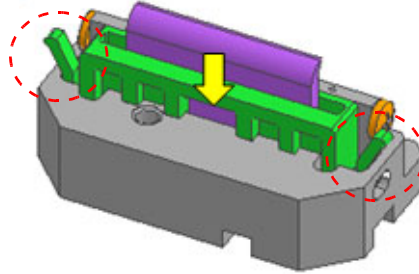
ワイパーホルダーからワイパーブレードを取り外し、新しいワイパーブレードに交換する

- ・ワイパーホルダーは使い回します。
- ・ワイパーブレードの取り付け向きを間違えないよう注意してください。

8

ワイパーホルダーをワイパーホルダー固定ブロックにセットする

- ・ワイパーホルダーの赤丸部がワイパーホルダー固定ブロックに引っ掛かるまで押し込んでください。
- ・ワイパーホルダーを引っ張っても外れないことを確認してください。



9

カバーを閉じる

10

緊急スイッチをリセットする

インクタンクの交換

● タッチパネルに "INK NEAR END" が表示された場合

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクタンクを交換することをお勧めします。

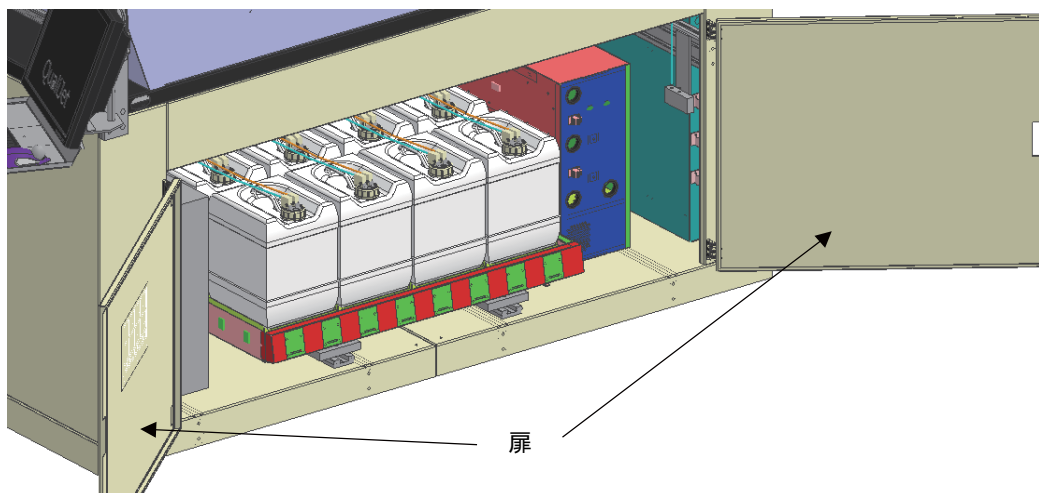
● タッチパネルに "INK END" が表示された場合

新しいインクタンクに交換してください。



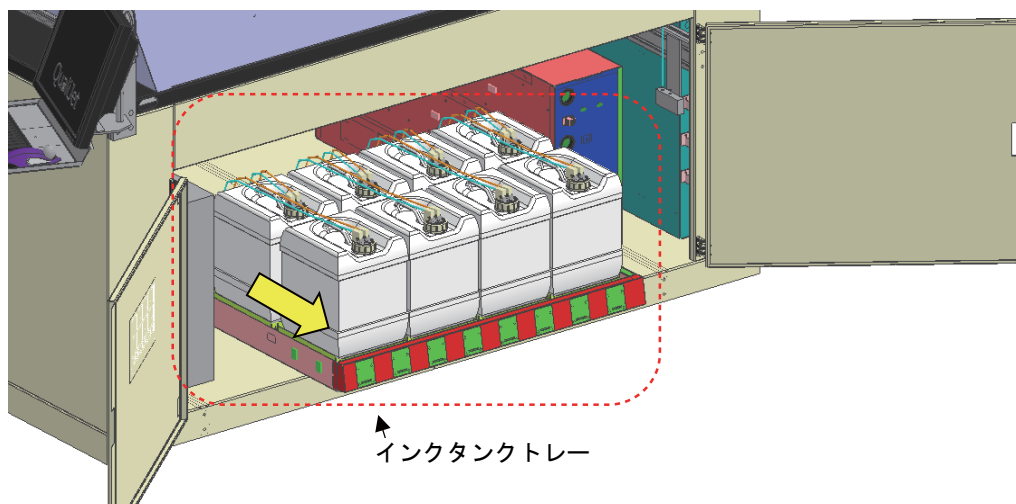
・インクタンク交換時は必ず手袋と保護メガネを着用してください。

1 本体右側面の扉を開く



2 インクタンクトレーを手前に引き出す

- ・手前に突き当たるまで、インクタンクトレーをゆっくり引き出します。
- ・インクタンクトレーの引き出し動作をセンサーが検知し、タッチパネルに "ERROR 66D Inktank pull out" と表示され、一時的に供給、循環動作が停止します。



- ・インクタンクトレーは必ず引き出してください。
- ・インクタンクトレーを引き出さずにインク交換を行うと、供給、循環動作が停止せず、部品の破損やインク漏れに繋がる恐れがあります。

3 未開封の新しいインクタンクを 20 回以上ゆっくりと左右に振る

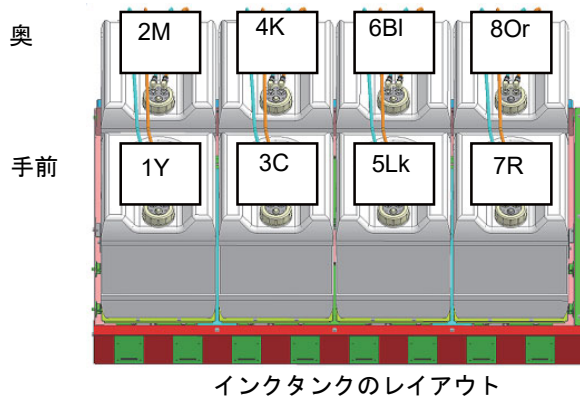
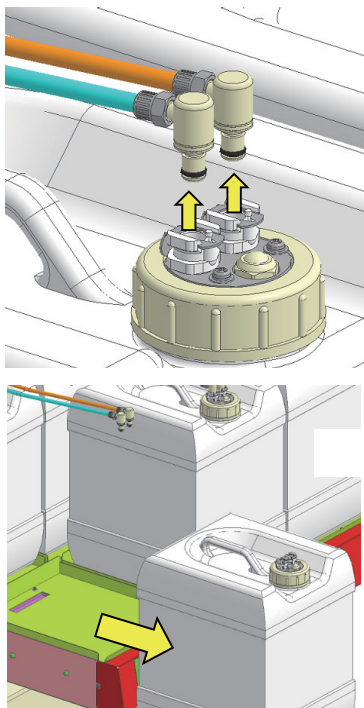
- ・振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐ為、手袋を着用してウェスなどでインクボトルのフタを押さえた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。



- ・強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。

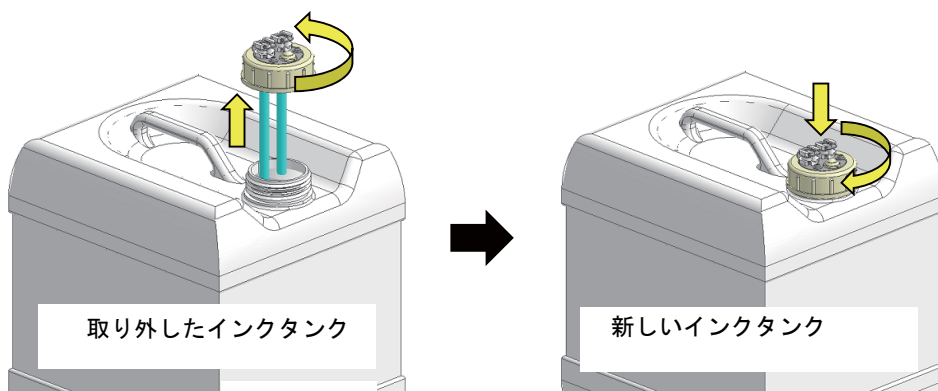
4

インクタンクのキャップからフィッティングを外し、インクタンクをインクタンクトレイから取り除く
 ・奥側のインクタンクを交換する場合は、はじめに手前のインクタンクを外してください。



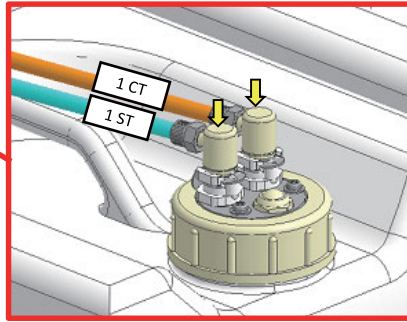
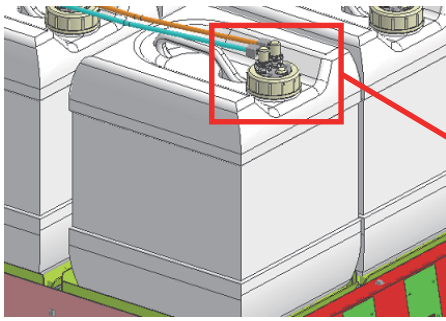
5

インクタンクのキャップを回して外し、新しいインクタンクに取り付ける



- ・インクタンク交換時に、インクが飛び散ることがあります。必ず手袋と保護メガネを着用してください。
- ・ウェス等で周囲を養生してからインクタンクを交換してください。チューブ先端からのインク垂れにより、周囲が汚れる恐れがあります。

6 新しいインクタンクをインクタンクトレーに乗せ、フィッティングを取り付ける



[タグの読み方]

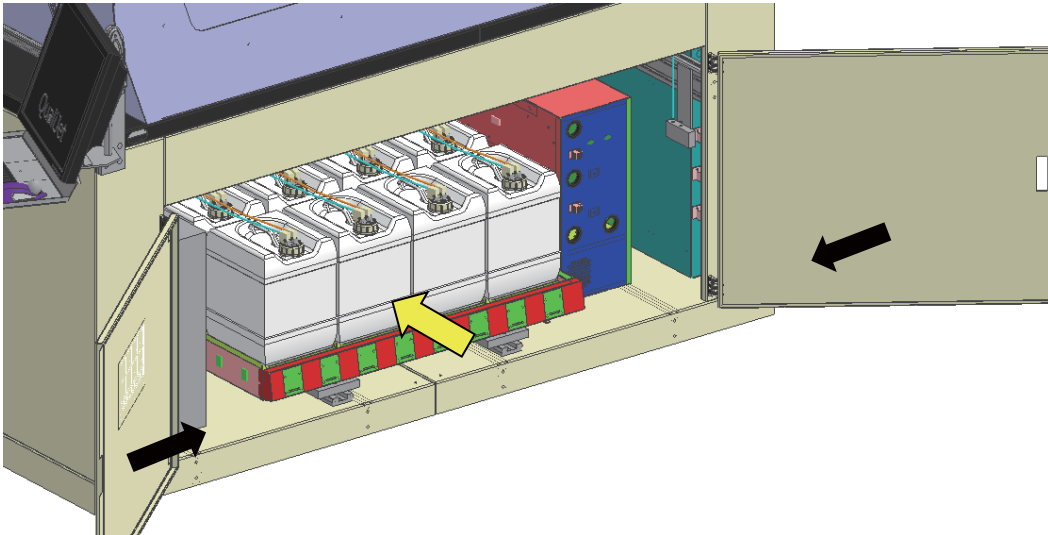
1 ST
 └ ST: 供給チューブ
 CT: 循環チューブ
 経路番号
 (1 ~ 8)



- 複数のインクタンクを取り外した場合、チューブの接続先、インクタンクの置き場所を間違えないよう注意してください。混色やインク制御不具合の原因になります。
- 同タンクキャップ上の2個のフィッティング（CTとST）は接続先不問のため、どちらに接続しても問題ありません。

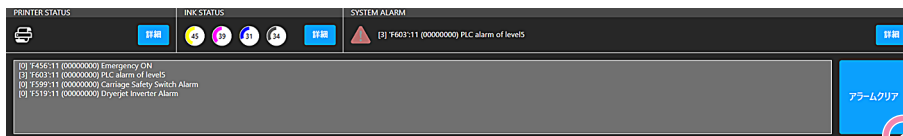
7 インクタンクトレーを押し込み、扉を閉じる

- 奥に突き当たるまで、インクタンクトレーをゆっくり押し込みます。



8 タッチパネルの[アラームクリア]ボタンをタップする。

- “[1]: 066D:09(____)1)INKTANK PULL OUT” アラームが消え、供給・循環動作が再開します。



[アラームクリア] ボタンタップ

クリーニング洗浄液（ワイパー洗浄液）の補充

- クリーニング洗浄液タンクは、1日1回残量を確認してください

補充の目安：印刷時間 24H ごとに1回（オートクリーニング 30min の場合）

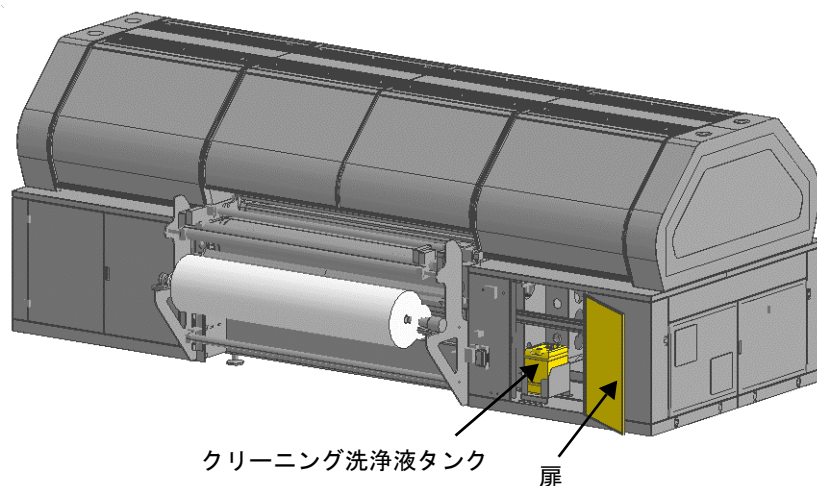
クリーニング洗浄液の残量が不足するとタッチパネルに "F466 Cleaning Solution LOW level Alarm" が表示されます。

- タッチパネルに "F466 Cleaning Solution LOW level Alarm" が表示された場合

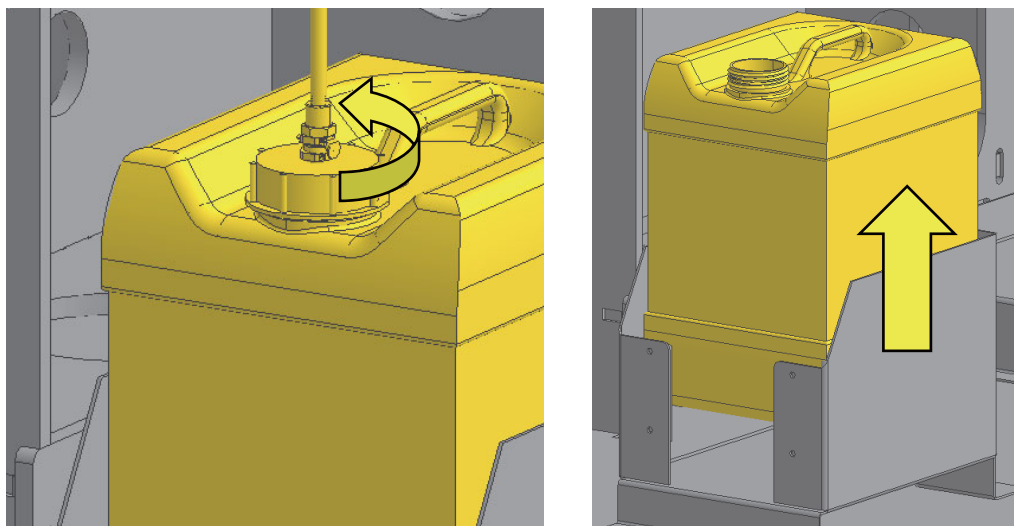
ワイパー洗浄用のクリーニング洗浄液が不足しています。本アラーム発生中はクリーニングが実行できません。

クリーニング洗浄液タンクにクリーニング洗浄液を補充してください。

- 1 本体背面右側の扉を開く。

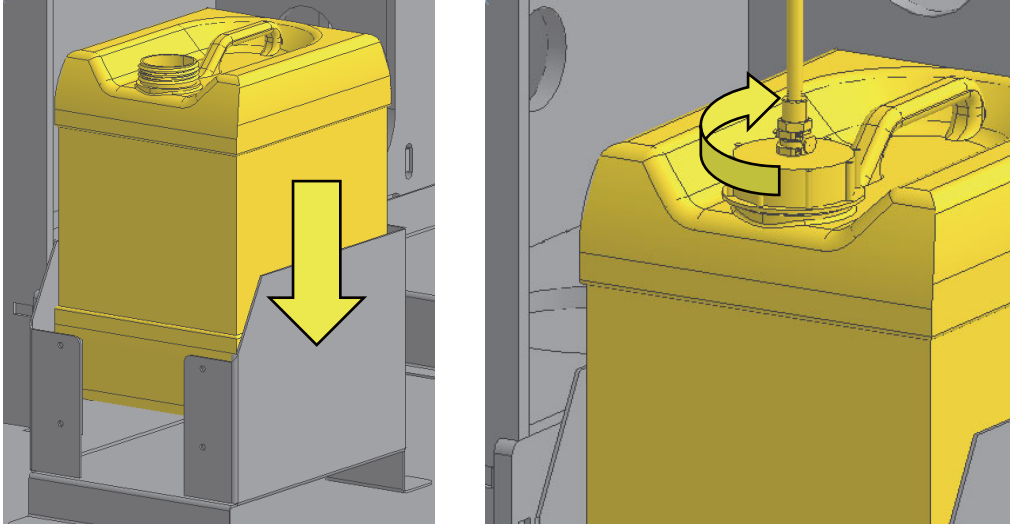


- 2 クリーニング洗浄液タンクのキャップを外し、タンクを取り出す。



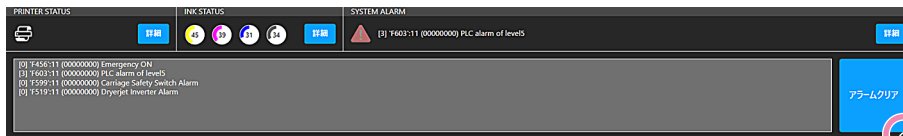
- 3 クリーニング洗浄液タンクにクリーニング洗浄液を補充する。

4 クリーニング洗浄液タンクを所定の位置に戻し、キャップを取り付ける。



5 タッチパネルの [アラームクリア] ボタンをタップする。

- “[1] : F466:11 Cleaning Solution LOW level Alarm” アラームが消え、クリーニング実行可能になります。



[アラームクリア] ボタンタップ

廃液タンクの設置・交換

クリーニング時の廃液および吸水ローラーユニットの廃液には、廃液タンク（20Lタンク推奨）が必要です。廃液タンクは1日1回廃液量を確認し、定期的に交換を実施してください。廃液の処理は各自治体・地域の法令を遵守してください。



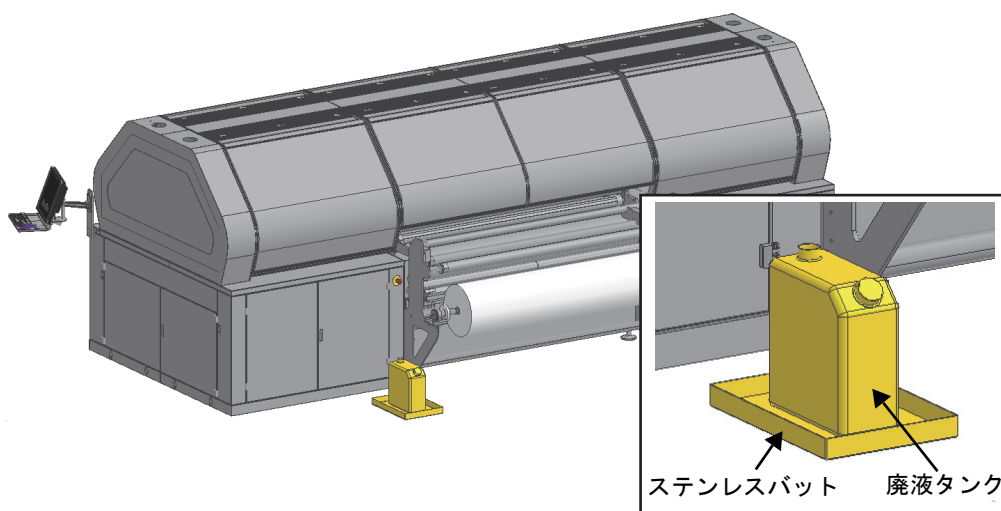
- ・廃液タンクの交換は、マシン停止時に実施してください。
- ・廃液タンク交換時は必ず手袋と保護メガネを着用してください。

● 設置・交換方法

1

本体背面左側のスペースに廃液タンクを設置する。

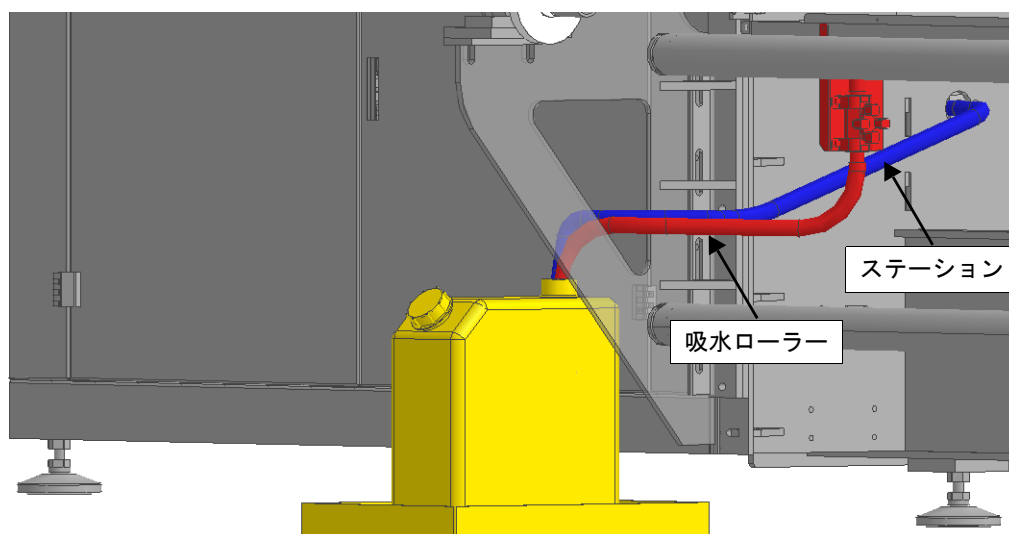
- ・廃液タンクからインクがあふれた場合の対策として、タンクの下にステンレスバット等の設置を推奨します。



2

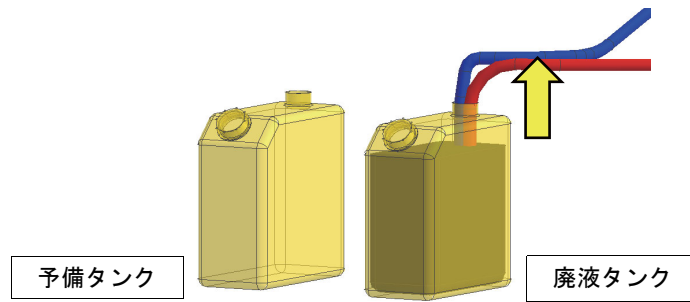
廃液タンクに廃液ホース2本（ステーションの廃液・吸水ローラーユニットの廃液）を挿入する。

- ・廃液タンク交換時は、ホース内に残留しているインクが垂れる可能性があります。予備タンクを用意して交換することを推奨します。

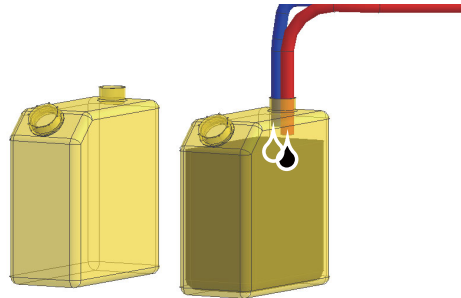


● 交換手順

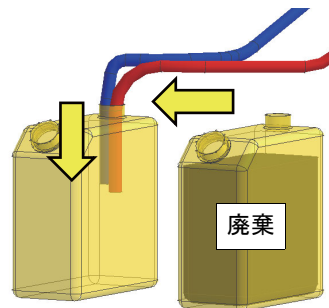
- (1) 廃液タンクから廃液ホースをゆっくりと引き上げる。
 ・勢いよく引き上げると廃液が飛び散る可能性があります



- (2) 廃液ホース内のインクを廃液タンクに入れる。
 ・廃液ホースを廃液タンクの口から完全に出さないでください



- (3) 予備タンクに廃液ホースを挿入する。廃液タンク内のインクは廃棄する。
 ・ホースのタンク間移動時は、ウェス等で廃液ホースの出口をおさえてください
 ・廃液の処理は各自治体・地域の法令を遵守してください



第 8 章

安全装置と残存リスク



この章では、

本機に装着されている安全装置について、また残存リスクについて説明します。

安全装置	8-2
残存リスク	8-3
必須要件と安全注意事項	8-3



- Mimaki は、安全ガードを取り外したり通り抜けたり、本機を必要な安全条件の不在下で操作したときの負傷や部品の破損に対するいかなる責任も免除されています。
- Mimaki は、本機やその部品に不正な機械的変更を加えた場合の負傷や部品の破損に対するいかなる責任も免除されています。
- Mimaki は、設計および購入時とは異なる目的で本機を使用した場合の負傷や部品の破損に対するいかなる責任も免除されています。

安全装置



- 保護システムの不具合や誤動作および何らかの危険な状態の可能性がある場合、お客様は Mimaki に通知する義務があります。

非常停止スイッチ

非常停止スイッチを押して、進行中の操作をすぐに停止し、制御を無効にします (緊急状態)。

非常停止スイッチが有効になったかどうかは、警告ライトでわかります。このライトは、発生した緊急事態を発見しやすいように点灯します。緊急事態から回復するには、非常停止スイッチをカチッと音が鳴るまで時計方向に回して放します。

非常停止スイッチをリセットするには、以下に示す手順に従います。

手順		非常停止スイッチのリセット			
S	モード	キー	表示	機能	参考
1	AUT. 	P01 - No.3	緊急事態のリセット	警告ライトが点灯した場合、非常停止スイッチが有効になっています。	5-3
2	 			どの押しボタンが押されたかを確認します。緊急事態の原因を取り除きます。	
3		PEM	[EMERGENCY]	非常停止スイッチをカチッと音が鳴るまで時計方向に回して放します。	5-4
4		P01 - No.3	緊急事態のリセット	オフになるまで緊急リセットボタンを押します。	5-3
5	AUT. 			警告ライトが消灯した場合、非常停止スイッチがリセットされています。	
手順の終了					

作業保護装置



- 保護システムの不具合や誤動作および何らかの危険な状態の可能性がある場合、お客様は Mimaki に通知する義務があります。

作業保護装置はオペレーターのリスクを排除する装置です。このリスクは、系统设计時の目的とする処理に応じて異なります。この装置により、本機的设计段階で排除できなかったリスクを許容レベルまで下がり、装置の予防処置で必要なオペレータの積極的な介入が軽減されます。

本機に設置される主な作業保護装置は、以下のとおりです。

本機の機械部品用の本体カバー：オペレーターと本機の機械部品との接触を防止します。

危険識別ピクトグラム：本機の危険部品に対してオペレーターが配慮すべき注意点を描画します。

残存リスク

オペレーターは、本機にごみや油などの異物がないことを確認してください。

このため、本機の電源を切り、アシスタントと協力して、シフトが終わるときに清掃手順をスケジュールに組み入れる必要があります。



- 空気圧や水圧を使用して清掃作業を行う場合、保護メガネや防護マスクを使用する必要があります。本機の近くにいる場合、誰もが物質や埃の影響を受ける可能性があるため、その場所から離れてください。噴射した水や跳ねた水が電気装置を含むスイッチボードに直接届かないようにしてください。

清掃作業への可燃性流体の使用は禁止されています。オペレーターは、清掃手順の最後に、摩耗や破損している部品がないか（それが生じている場合は、保守専門家のサポートをすぐに依頼）、しっかりと固定されているか（できる限りの対策を講じる）を目視で管理する必要があります。摩耗や裂け傷の影響を受ける電気システム、ホース、その他部品の保全に特に注意してください。



- 不良状態が見つかった場合、オペレーターは、問題を解消するまで本機を起動しないでください。このような状態がシフトの終了時に見つかった場合、オペレーターは、作業場を離れる前に、本機の保守実行中につき再起動は絶対禁止である旨の警告標示を制御パネルに付けておく必要があります。オペレーターは、本機とその周辺領域から、本機の必須部品ではないすべての物（保守作業後に置き忘れた工具、部品の取り扱いに使用したコード、個人の所有物など）を取り除いてください。
- オペレーターと保守作業員は、実用的で適切な作業服を着用し、ネックレスやブレスレットなどは身につけないでください。機械の可動部品に巻き込まれる可能性があります。また、長髪の作業員は、髪が巻き込まれないようにヘアネットもつけてください。
- 本体カバーと安全装置は、修理や保守作業が必要な場合を除き、取り外すことはありません。取り外した場合、その原因が判明したらすぐに、本機を再起動する前に必ず元の位置に戻してください。

必須要件と安全注意事項

危険電圧

通常の動作条件（電気キャビネットを除く）では、危険電圧の影響を受ける機器の部品はありません。電気キャビネット内の危険電圧の影響を受ける部品は、ロックされたキャビネットのドアで保護されます。



- 機器や電気キャビネット内の保守または修理作業を行う前に、必ず電気キャビネットのマスタースイッチで電力供給を切断する必要があります。

残留電圧



- 電気キャビネットには、電圧が残っている可能性があるコンデンサはありません。ただし、電気キャビネットのマスタースイッチを操作して位置を0にした場合でも、スイッチ近辺の電気ケーブルは電気を帯びたままの状態です。端子に接続する電源ケーブルは、特殊な透過プラスチックカバーで保護されます。残留電圧の場所は、電気回路図に付属のマップに示されます。

搬送ローラーと巻取ローラーの速度回転の調整に使用する周波数コンバーター（インバーター）内には、接続コンデンサCCがあります。これは、電源を切っても、非常に高く危険な電圧の影響を受けます。



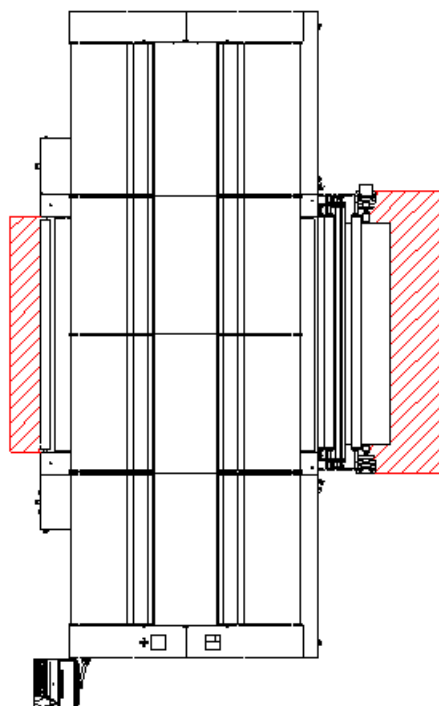
- 周波数コンバーターは、その電源を切って10分以上経過しないと開くことができません。開いた後、部品は電圧の影響を受けているため、その部品に触れないでください。
- 装置のクランプにより、コンバーターが機能していない場合でも高い電圧が生じる可能性があります。

本機の危険区域

リスクを回避するため、本機が稼働している間は、示されている区域（下図、赤い斜線内）に絶対に留まらないでください。



- 本機は 1 人のオペレーターが使用してください。複数のオペレーターが許可されるのは、ロールの装着と取り外しの場合のみです。



第 9 章 保守



この章では、

オペレーターが行う、本機の保守について説明します。

保守の概要	9-2
通常の保守	9-2
予定に組み込まれている保守	9-2
保守作業一覧	9-4
特別な保守	9-4
トラブルシューティング	9-5
エラー一覧 (PLC)	9-5
エラー一覧 (解析アプリケーション "NZCApp")	9-16
エラー一覧 (その他)	9-17
解体	9-26

保守の概要

本機を効率良くまた信頼性の高いレベルに保つために不可欠な条件は、正確かつ一定の保守を行うことです。以下に示す操作を集中して入念に行ってください。

保守に関する警告

- 通常または特別を問わずどのような保守を行う場合も、その前に本機から電圧を除去し、作業のすべての段階で手袋、つなぎ服、保護メガネなどの個人保護具を使用することが通常義務付けられています。
- 本機に工具を置き忘れないでください。
- 必ず、本書に記載の手順に従ってください。
- 本書に記載以外の保守を行う場合は、弊社に連絡してください。

特定の技術知識を有する場合の作業

オペレーターは、本機の清掃作業のみを実行できます。
機械的な作業や電気的な作業は、保守作業員が行います。
特別な保守作業は、Mimaki 公認の作業員が行います。

通常の保守

通常の保守作業は、オペレーターの判断や常識に基づき、特定の周期を事前に決めずに行います。



- 移動中や、本機が動作中かつ電圧を受けている状態で、通常の保守作業を行うことは禁止されています。通常の保守手順を開始する前に、操作サイクルの完了を待ってから、メインスイッチの位置を0にして本機の電源を切ります。

清掃

本機は、正常で安全な作業環境を維持するために、1稼働日(8時間)ごとに清掃してください。そのため、識別表示がはっきりと読み取れるようにしておきます。

また、本機周辺の領域を適切かつ頻繁に清掃することで、作業領域の健全性と歩行領域の安全性が向上します。



- オペレーターは、清掃作業を開始する前に、防護服を着用してください。
- 保守作業が終わったときに、本機に工具を置き忘れないでください。

透明部品、コントロールパネル、ゴムまたは布製部品の清掃作業の場合、石鹼などの中性洗剤のみを使用してください。中性洗剤以外の溶媒やトリクロロエチレンなどを使用した場合、このような部品が修復できなくなる可能性があります。

洗浄する場合は、コネクタブロックや電気装置などの電気部品内で水溶液や可燃性溶液を利用しないでください。特に、清掃作業中に電気キャビネットのドアを絶対に開けたままにしないでください。これは、水しぶきが原因で、電気装置と電子装置の絶縁が失われないようにするためです。絶縁が失われた場合、感電死や火災が生じる可能性があります。

予定に組み込まれている保守

予定に組み込まれている保守作業は、弊社が設定した、あらかじめ決められた間隔で行います。



- 移動中や、本機が動作中かつ電圧を受けている状態で、予定されている保守作業を行うことは禁止されています。通常の保守手順を開始する前に、操作サイクルの完了を待ってから、メインスイッチの位置を0にして本機の電源を切ります。

安全装置

1稼働日(8時間)ごとに、機器類の電気安全装置(スイッチ、センサーなど)が正しく動作しているかを確認します。異常がある場合、シフトを開始する前に、通常の動作条件をすぐにリセットしてください。

これらの装置のいずれかに断線や障害があるかどうかによって、機器類を即座に停止するかが決まりますので注意してください。

デバイスの誤作動の原因として、固定場所から外れている可能性や、短絡を生じさせる断線のみが考えられます。

内部の安全機能の場合や防御性の高い状況にある場合は、制御の頻度は少なくともかまいません。制御は、本体カバーを開く必要がある通常の保守作業中に行うことができます。

電気回路図に、すべての安全性電気装置の位置を示します。

空気圧系統

50 時間ごとに、本機の空気圧シリンダーとすべての空気圧デバイスが適切に機能しているかを確認します。

インク排出の確認

インクの排出が正しく行われているかを定期的を確認します。インクには、毒性や有害なものは含まれていないため、タンクの清浄水で排出されます。

ベルトへの地張り剤の張替え






各シフトの終わりに、ベルトの地張り剤層を確認し、本書に記載の手順（[清掃および地張り剤張替えの手順 \(P.7-5\)](#)）に従い、必要に応じて地張り剤を張替えます。

インクレベルの確認

タンク内のインクレベルが印刷に十分な量であることを定期的を確認し、レベルが最小に達している場合はタンクがいっぱいになるまで補給します。

ベルト洗浄ユニットの確認

ベルト洗浄ユニットの点検と清掃を行うには、手順を以下のように進める必要があります。

手順		ブラシ洗浄タンクの確認			
S	モード	キー	表示	機能	参考
1				排水管が主要排水系統に正しく接続されていることを確認します。	
2		メインスイッチ	0 - 1	機器を停止した後、メインスイッチを回して 0 にします。	5-2
3				電気接続、空気圧接続、油圧接続からタンクを切断します。	
4				バルブを回して、洗浄タンクを完全に空にします。	
5				タンクのロックシステムをクリックして、手で取り外し、必要な保守を行います。	
手順の終了					

ステーションの清掃

プリントヘッドのステーションを週に一度清掃し、インクの残留物を取り除きます ([P.7-10](#))。

プリントヘッド周辺の保守

専用の布を使用してプリントヘッド周辺を週に一度清掃します。この作業中は、キャリッジを本機の左側に移動します。

プリントヘッドの保守の詳細については、専用のマニュアルを参照してください。



- Mimaki は、プリントヘッドの予定されている保守作業を実行する際の過失で生じる負傷や物的損害に対する一切の責任を負いません。プリントヘッドの保守については、メーカー提供のマニュアルに記載されています。

保守作業一覧

以下の表に、保守作業と関連の頻度（作業時間で表現）を示します。

表	時間	操作
▶	8	安全装置の確認
▶	8	本機の清掃全般
▶	8	クリーニング洗浄液タンクの確認
▶	8	インクレベルの確認
▶	8	ベルト洗浄タンクの確認
▶	8	ベルトの地張り剤層の確認
▶	40	プリントヘッドの洗浄ステーションの清掃
▶	40	ヘッド周辺の清掃（添付マニュアル）
▶	50	空気圧系統の確認
▶	336	ワイパーブレードの交換
▶	500	エアフィルターの凝縮レベルの確認
▶	500	エアフィルターのフィルター部品の清掃
▶	500	給気圧の確認
▶	500	取り付け具とパイプの確認



・Mimaki は、本書に記載の保守作業を行う際の過失で生じる負傷や物的損害に対する一切の責任を負いません。

特別な保守

機器類に対する特別な保守作業は、故障や破損が生じた場合や予測可能な技術更新が行われた場合に実行されます。

特別な保守の範囲

- ・破損を修理します。
- ・設置後に効力を発する安全規則に機器類を適合させます。
- ・付属品やユニットを取り付ける技術的な変更を行う事で、設計時に計画された状態に機械を適応させます（ただし、設計段階の安全レベルを低下させない作業に限ります）。



・保守作業を開始する前に、適切な手段として、以下の提言を考慮してください。

- ・実行する作業に関わるオペレーターのトレーニングレベルを確認します。
- ・特殊な工具や装置を使用する必要性を確認して、解体、再組み立て、調整を行います。
- ・スペア部品リストを調べて、交換する市販部品が入手できるか存在するかを確認します。
- ・企業内外の手段によって、摩耗した部品や破損した部品を修理できるかを確認します。
- ・操作に必要な電力接続を確立します。
- ・残存リスクの可能性を評価します。
- ・残存リスクに対する必要な予防策を講じます。
- ・操作中に生じる可能性のある緊急事態を推定します。
- ・操作後に実行する確認内容を規定します。
- ・Mimaki の保守作業員の介入が必要かどうかを評価します。あるいは、取り上げる提案や講じる予防策に対するリモートのテクニカルサポートを確保します。この目的の場合、Mimaki に直接問い合わせてください。



・Mimaki は、未熟なオペレーターによる保守作業の実行または作業に必要な安全予防策を講じていない状況（あるいはその両方）で生じる負傷または物的損害、および設計段階での不要な変更に対して一切の責任を負いません

特別な保守作業の最後に、オペレーターは、機器類への介入の理由、その実行日と責任者を技術データとして保管しておくことをお奨めします。

トラブルシューティング



- 本機のいかなる作業の実行も正確な技術知識や専門技能が必要です。専門の作業員が実行してください。
- 人員は、永続ジョブまたは一時ジョブ(あるいはその両方)での安全性に関して施行されている法律で求められるすべての条件を作成する必要があります。

エラー一覧 (PLC)

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F372	0	Dryerjet Paper Dancing Bar out of reference position	リバースジョグを実行した際、Dryerjet Paperのダンシングバーが設定位置より低い位置にいること。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダンシングバーの重量をコントロールするエア圧のバルブ調整値を確認してください。搬送動作が停止した状態でエア圧バルブの圧力が1.5Bar以下であることを確認してください。 2. シャフトが空回りしていないか確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 再度シャフトにエアを挿入してください。 (2) シャフトからエア漏れがないことを確認してください。(バルブからなど) (3) 紙管を変えてみてください。 3. メディアの表面処理がべたつかず、古すぎないことを確認してください。コーティングがメディア巻線の間に付着するため、メディアが適切に巻き戻されない場合があります。必要に応じて、メディアを交換してください。 4. ベルトに塗布されている地張り剤が強すぎて、メディアがベルトから簡単に外れないか確認してください。この場合は、メディアがベルトの外側に到達する時すぐに外れなく、必要以上にベルトに付着する事があります。その状態で、メディアはダンシングバーの重量に引っ張られ続けたことによって、突然ベルトから外れて、ダンシングバーが落下する可能性があります。
F373	0	Unwinder Paper Dancing Bar out of reference position	リバースジョグを実行した際、Unwinder Paperのダンシングバーが設定位置より低い位置にいること。	
F427	1 or 2	Unwinder big diameter Alarm	繰出しユニットに設置したメディアの直径が大きすぎます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 繰出しに取り付けたメディアの直径を確認してください。最大径φ1000mmです。直径がφ1000mmより大きい場合、ロールを交換してください。 2. ジョグやフィード中にダンシングバーが下がり過ぎて、メディアがたるんでいる場合、たるまない様に再調整してください。 3. [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 4. [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 5. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F431	2	Dryerjet Hot Door Alarm	DRYERJETのメディア入り口側の扉の異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. DRYERJETのメディア進入部のカバーを閉めてください。 2. [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 3. [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F432	1 or 2	DRYERJET Winder big diameter Alarm	DRYERJET 側の巻き取ったメディアの直径が大き過ぎます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 巻き取ったメディアの直径を確認してください。最大径 φ500mm です。直径が φ500mm より大きい場合、ロールを交換してください。 2. ジョグやフィード中にダンシングバーが下がり過ぎて、メディアがたるんでいる場合、たるまない様に再調整してください。 3. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 4. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 5. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F437	2	DRYERJET Communication Alarm	DRYERJET と本体の通知の異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F440	2	Purge not started Alarm	PLC パラメータの異常	
F445	1	Current heater MIN	ベルトヒーター電流の異常 (設定下限値より低い)	
F446	2	Current heater MAX	ベルトヒーター電流の異常 (設定上限値より高い)	
F452	3	Belt generic Fault	ベルト制御の異常	
F453	3	Carriage generic Fault	キャリッジ制御の異常	
F454	3	Carriage thermoswitch Alarm	リニアモーターの異常	
F456	3	Emergency ON	非常停止スイッチまたはエリアセンサーの異常	

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F457	3	Carriage sensor UP position Alarm	キャリッジ高さ制御の異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F458	3	Carriage Up Motor Alarm	キャリッジ昇降モーターの異常	
F459	3	Carriage Down Motor Alarm	キャリッジ昇降モーターの異常	
F460	3	Carriage Homing sensor Alarm	キャリッジ初期位置確認の異常	
F461	3	Motors Thermic Alarm	モーターまたは電源ブレーカーの異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F462	3	Washing device in maintenance position (FC S27.1)	洗浄ユニットの異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. 洗浄ユニットの出し入れを行い、[SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップしてから [アラームクリア] ボタンをタップして、エラーがリセット可能か確認します。 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F463	3	Cleaning Station sensors Alarm	クリーニングステーションセンサーの異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F464	3	Cleaning Station Forward motor Alarm	クリーニングステーションモーターの異常	
F465	3	Cleaning Station Backwards motor Alarm	クリーニングステーションモーターの異常	
F466	1	Cleaning Solution LOW level Alarm	クリーニング洗浄液の残量の異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリーニング洗浄液の残量を確認します。 2. 必要に応じ、クリーニング洗浄液を継ぎ足します。 3. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 4. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 5. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
F467	2	Muting - Printing AREA doors	カバーセンサー検知除外キーがオンになっています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. マシン前面右側の [EXCLUSION SAFETY DOOR] のキーをオフにします。 2. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 3. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F468	2	Compressed Air LOW pressure Alarm	空気圧の異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. マシンへの供給空気圧を確認します。 必要圧力：6～8 bar 2. 確認後、[SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 3. [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F469	1 or 2	UNITECH HEATER Generic Alarm	UNITECH HEATER でアラーム発生	<ol style="list-style-type: none"> 1. UNITECH HEATER のアラームの要因を取り除いてください。 2. [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 3. [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F471	3	Printing position settings Alarm	キャリッジのプリント位置の設定異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。
F472	3	Carriage printing height setting Alarm	キャリッジのプリント高さの設定異常	<ol style="list-style-type: none"> 2. [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F473	0 or 2 or 3	Folds Alarm	メディアの浮き発生 キャリッジのジャムセンサーが感知しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベルトからのメディアの浮きがないように再度セットします。 2. [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 メディアの浮きが継続する場合： 3. 加圧ローラーの圧力を調整します。 4. ベルトヒーターを ON にします。 5. 地張り剤を交換します。 6. 以上の対処方法でエラーが解決しない場合は [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 7. [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 8. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F474	3	Carriage lateral folds safety device Alarm	キャリッジのジャムセンサーが感知しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接触したメディアを取り除き、再度セットします。 2. [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 3. [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F475	3	Purge quote too low (3[mm])	パージ位置の設定の異常	<ol style="list-style-type: none"> [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F476	3	Cycle doesn't START - Maintenance Enable reason	メンテナンス中	
F487	3	Carriage movement Safety PX Alarm	PLC パラメータの異常 またキャリッジの上下動作の異常	
F488	2	Belt Heater Alarm	ベルトヒーターの異常	
F489	1 or 2	MEDIA END Alarm	繰出しユニットでメディアエンドを検知しました。	<ol style="list-style-type: none"> 繰出しユニットから出ているメディアに穴が空いていないか確認します。穴があった場合、プリントエリアから出るまでメディアフィードをしてから [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F512	2	Unwinder Dancer Roll Up Alarm	繰出しユニットのダンシングバーが上限に達しました。	<p>[Unwinder Paper の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> ローカルモード状態でダンシングバーを水平にします。(マニュアルフィードなど) 繰出しユニットの動作モードが Auto になっていることを確認します。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>[Unwinder Fabric の場合]</p> <ol style="list-style-type: none"> ローカルモード状態でダンシングバーを移動範囲の中央あたりにします。(マニュアルフィードなど) 繰出しユニットの動作モードが Auto になっていることを確認します。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F513	0 or 1 or 2	Unwinder Dancer Roll Down Alarm	繰出しユニットのダンシングバーが下限に達しました。	[Unwinder Paper の場合] 1. ローカルモード状態でダンシングバーを水平にします。(マニュアルフィードなど) 2. 繰出しユニットの動作モードが Auto になっていることを確認します。 3. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 4. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 5. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
				[Unwinder Fabric の場合] 1. ローカルモード状態でダンシングバーを移動範囲の中央あたりにします。(マニュアルフィードなど) 2. 繰出しユニットの動作モードが Auto になっていることを確認します。 3. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 4. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 5. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F514	2	Unwinder Drive FAULT	繰出しユニットのインバーターの異常	1. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。
F515	3	Unwinder Thermal protection	繰出しユニットの電源またはブレーカーの異常	3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F516	0	WARNING Unwinder in MANUAL mode	繰出しユニットがマニュアルモードに設定されています。	1. 繰出しユニットのタッチパネルで、動作モードを AUTO にします。 2. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 3. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F517	3	DRYERJET in Emergency Alarm	DRYERJET で非常停止が発生	<ol style="list-style-type: none"> 下記の項目を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> DRYERJET の非常停止スイッチ (2 箇所) が解除されているか確認します。このとき本体の非常停止スイッチが解除されているかも確認します。 DRYERJET のメディア挿入口付近に物が詰まっていないか確認します。 DRYERJET のエリアセンサーが遮蔽されていないか確認します。 DRYERJET の扉がすべて閉じているか確認します。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F518	2	DRYERJET Thermal protection Alarm	DRYERJET の電源またはブレーカーの異常	<ol style="list-style-type: none"> [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。
F519	2	DRYERJET Inverter Alarm	DRYERJET のインバーターの異常	<ol style="list-style-type: none"> DRYERJET の電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F521	2	Unwinder FC Cardan Alarm	Big Roll UNWINDER のカルダンジョイントの異常	<ol style="list-style-type: none"> Big Roll のカルダンジョイントの接続部分を確認してください。カルダンジョイントがトロリと接続していない場合は、接続します。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F533	1	Pressing Roller Operated on the Back Side	UNWINDER 側の操作パネル又は背面の加圧ローラスイッチから加圧ローラーを操作しています。	<ol style="list-style-type: none"> 現在実施している作業を終了させてから、MPC で [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F542	1 or 2	Seam detected alarm	Small Roll UNWINDER 側でメディアのつなぎ目を検知しました。	<ol style="list-style-type: none"> Small Roll の Seam Detector センサー付近に布のつなぎ目がないか確認します。つなぎ目があった場合、つなぎ目がプリントエリアから出るまでメディアをフィードします。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F544	2	DRYERJET Breaking Paper Alarm	DRYERJET 側のメディアの異常	<ol style="list-style-type: none"> 下記の項目を確認します。 (1) メディアを再セットします。 (2) ローカル状態でダンシングバーを水平にします。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F545	2	DRYERJET Dancer UP Alarm	DRYERJET のダンシングバーが上限に達しました。	<ol style="list-style-type: none"> ローカル状態でダンシングバーを水平にします。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。
F546	1 or 2	DRYERJET Dancer DOWN Alarm	DRYERJET のダンシングバーが下限に達しました。	<ol style="list-style-type: none"> [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F547	2	DRYERJET Paper Temperature Alarm	DRYERJET 側のメディアの温度の異常	<ol style="list-style-type: none"> ヒーター設定温度が 80 度以下であるか確認します。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。
F548	2	DRYERJET Heating generic Alarm	DRYERJET ヒーターの異常	<ol style="list-style-type: none"> [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F549	2	By Pass DRYERJET Alarm	WinGP により DRYERJET のバイパスが有効になっていません。	<ol style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F550	2	DRYERJET Heather Timeout Alarm	DRYERJET のヒーター動作がタイムアウトしました。	<ol style="list-style-type: none"> プリンタが待機中の時に DRYERJET の [DRYER] スイッチを OFF にします。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F592	0	Unwinder Bypass	繰出しユニットがバイパスされています。	<p>[Unwinder Paper の場合]</p> <p>MPC で Unwinder のバイパスが有効である場合に表示されるので、下記手順でバイパスを無効にします：</p> <ol style="list-style-type: none"> [MPC] > [Settings] > [Machine] > [Winder-Unwinder] - > [Unwinder バイパス] を無効に設定します。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>* このページが表示された場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> - Unwinder Paper の使用が不可になります。(操作出来ない、動作しない) - 操作パネルの画面に [Unwinder Disable] 表示されます。 - 下記のアラームが発生しません。(バイパスされる) <ul style="list-style-type: none"> • Unwinder Dancer Roll Down • Media End • Unwinder Drive Fault • Warning Unwinder in Manual mode • Unwinder big diameter <p>*Unwinder のバイパスが有効でも、エリアセンサーやエマージェンシースイッチは可動します。</p>
F592	0	Unwinder Bypass	繰出しユニットがバイパスされています。	<p>[Unwinder Fabric の場合]</p> <p>MPC で Unwinder のバイパスが有効である場合に表示されるので、下記手順でバイパスを無効にします：</p> <ol style="list-style-type: none"> [MPC] > [Settings] > [Machine] > [Winder-Unwinder] - > Unwinder バイパスを無効にします。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>* このページが表示された場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> - Unwinder Fabric の使用が不可になります。(操作出来ない、動作しない) - 操作パネルの画面に [Unwinder Disable] 表示されます。 - 下記のアラームが発生しません。(バイパスされる) <ul style="list-style-type: none"> • Unwinder Dancer Roll Up • Unwinder Dancer Roll Down • Media End • Seam detected • Warning Unwinder in Manual mode • Unwinder FC Cardan <p>*Unwinder のバイパスが有効でも、エリアセンサーやエマージェンシースイッチは可動します。</p>

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F594	0	Winder Bypass	巻取りユニットがバイパスされている。	<p>MPC で Winder のバイパスが有効である場合に表示されるので、下記手順でバイパスを無効にします：</p> <ol style="list-style-type: none"> [MPC] > [Settings] > [Machine] > [Winder-Unwinder] - > Winder バイパスを無効にします。 [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>* このページが表示された場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> - Dryerjet Paper の自動動作が不可になります。(マニュアル動作可) - 下記のアラームが発生しません。(バイパスされる) <ul style="list-style-type: none"> • Unitech Heater Generic Alarm • Dryerjet Dancer Down • Dryerjet Dancer Up • Dryerjet Winder big diameter • Dryerjet Heater Timeout • Dryerjet Breaking Paper <p>* Winder のバイパスが有効でも、エリアセンサーやエマーゼンシースイッチは可動します。</p>
F599	3	Carriage Safety Switch Alarm	キャリッジの左右動作のリミットスイッチの異常	<ol style="list-style-type: none"> [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F600	2	PLC alarm of Type3	マシン状態によりプリント中止する必要なアラームが発生しました (Type3)	<ol style="list-style-type: none"> [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PC の順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>* マシンの状態により、必ず他のエラーと同時に発生するアラームです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - プリント中発生した場合： <ul style="list-style-type: none"> • プリント動作 (スキャン) 中止します。 • キャリッジがパーキングに戻ります。 • マシンが待機状態になります。 - ジョグ中発生した場合、ジョグが中止する場合があります。 - マシン待機中発生した場合、プリントが開始出来ません。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F601	2	PLC alarm of Type4	マシンの状態により、動作停止とマシンリセットする必要なアラームが発生しました。(Type4)	<ol style="list-style-type: none"> [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>* 特定の条件により、必ず他のエラーと同時に発生するアラームです。</p> <p>- マシンのどの状態でも、Type4 アラームが発生した場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> マシンのすべてのサイクルが停止します。 マシンがリセットされます。 キャリッジがパーキングに戻ります。 マシンが待機状態になります。
F602	1	PLC alarm of Type2	マシン状態によりプリント停止する必要なアラームが発生しました。(Type2)	<ol style="list-style-type: none"> [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>* プリント中に必ず他のエラーと同時に発生するアラームです(プリント中以外に発生しない)。</p> <p>- プリント中に発生した場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリッジがパーキングに戻ります。 マシンがポーズ状態になります。
F603	3	PLC alarm of Type5	マシン状態により緊急停止が必要なアラームが発生しました。(Type5)	<ol style="list-style-type: none"> 下記の項目を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 本体の非常停止スイッチが4点とも解除されていますか。 本体カバー6箇所が完全に閉じていますか。 メンテナンスカバーが完全に閉じていますか。 オプションユニットを使用している場合、ユニット側の非常停止スイッチがすべて解除されているか確認します。 エリアセンサーを遮蔽しているものはありませんか。 非常停止リセットスイッチを押します。 [SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 <p>* 特定のアラームが発生する際に、同時に発生するアラームです。</p> <p>- マシンのどの状態でも、Type5 アラームが発生した場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> マシンのすべてのサイクルが緊急停止します。 マシンがエマージェンシーと同じような状態になります。 <p>* [システム]>[電源]>[マシンリセット]が必要になります。</p>

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
F796	2	Big Roll Unwinder Inverter Alarm	Big Roll UNWINDER のインバーターの異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
FF01	2	PLC Connection Error	PLC AP PLC 切断発生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内蔵 PC 背面の、LAN ケーブルの接続を確認します。 2. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 3. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
FF10	0	PLC AP Error Occurred	PLC AP エラー発生	<ol style="list-style-type: none"> 1. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。
FF30	0	PLC AP Initialization Failure	PLC AP 初期化失敗	<ol style="list-style-type: none"> 2. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。
FF31	0	PLC AP Uninitialization	PLC AP 未初期化のため処理続行不可	<ol style="list-style-type: none"> 3. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
FF32	0	PLC AP Failed To Connect	PLC AP PLC 接続失敗	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内蔵 PC 背面の、LAN ケーブルの接続を確認します。 2. [SYSTEM ALARM] の [詳細] ボタンをタップして、[アラームクリア] ボタンをタップします。 3. [アラームクリア] ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵 PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 4. アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー一覧 (解析アプリケーション “NZCApp”)

エラー番号	メッセージ表示	エラー内容	対処方法
4610	表示なし	パターン解析異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. クリーニングを実行して吐出状況を改善してください。 2. スキャナに対してパターンを正しくセットしてスキャンしてください。 3. スキャナの読み取り面に、汚れの付着がないか確認してください。
4611	表示なし		
4612	表示なし		
4614	表示なし		
4615	表示なし		
4616	表示なし		
4617	表示なし		
4618	表示なし		
4619	表示なし		
4620	表示なし		
番号なし	ErrorInclination="Inclination detection error."		
番号なし	ErrorFile="Could not open file."	画像ファイル読込異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. スキャナで取り込んだファイルが存在することを確認してください。 2. 再度、パターンをスキャンして、ファイルを選択してください。
番号なし	ErrorMatch="Incorrect file."	画像ファイル異常	<ol style="list-style-type: none"> 1. スキャナで取り込んだファイルの形式が BMP 形式であることを確認してください。 2. 再度、パターンをスキャンして、ファイルを選択してください。
番号なし	ErrorMemImage="Image memory error."	内部処理異常	PC を再起動してください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
番号なし	ErrorMemWork="Work memory error."		
番号なし	ErrorMemLayer="Layer memory error."		
番号なし	ErrorSaveFile="Could not save file."		
番号なし	ErrorSavePath="Invalid path."	設定ファイル異常	ノズル解析アプリケーションを再起動してください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
番号なし	ErrorOffset="Offset error."		
番号なし	ErrorOffB="OffsetB error."		
番号なし	ErrorINI="parameter %s is invalid."		

エラー一覧 (その他)

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
CPU				
1 04	2	0104:YY(_____) +35V RECVR	制御基板に異常が発生しました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
1 0E	2	010E:YY(_____) FROM CLEAR		
1 0F	2	010F:YY(_____) FROM WRITE		
1 1F	2	011F:YY(_____) PCB SLIDER		
1 15	2	0115:YY(_____) PCB MAIN-F1		
1 16	2	0116:YY(_____) PCB MAIN-F2		
1 22	2	0122:YY(_____) CHECK :SDRAM		
1 23	2	0123:YY(_____) PRAM DATA		
1 24	2	0124:YY(_____) PRAM ADDR		
1 27	2	0127:YY(_____) POWER OFF		
1 28	2	0128:YY(_____) HDC FIFO OVER ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	内部時計の電池切れを検出しました。	販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
1 28	2	0128:YY(_____) HDC FIFO UNDER ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)		
1 29	2	0129:YY(_____) BATTERY EXCHANGE	内部時計の電池切れを検出しました。	販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
1 2A	2	012A:YY(_____) HD HEATER FUSE ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	ヘッドヒーター電源ヒューズが切れました。	
1 2D	2	012D:YY(_____) PCB MAIN-F4	メイン基板のヒューズが切れました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
1 51	2	0151:YY(_____) Main PCB V1R2	電源に異常が発生しました。	
1 52	2	0152:YY(_____) Main PCB V2R5		
1 53	2	0153:YY(_____) Main PCB V3R3		
1 54	2	0154:YY(_____) Main PCB V05		
1 55	2	0155:YY(_____) Main PCB V36-1		
1 56	2	0156:YY(_____) Main PCB V5B		
1 57	2	0157:YY(_____) Main PCB VTT		
1 58	2	0158:YY(_____) Main PCB V36-2		
1 6E	2	016E:YY(_____) Main PCB V3R3B		
1 71	2	0171:YY(_____) NEW HEAD CONNECT ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	新しいヘッドの接続を認識しました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
1 72	2	0172:YY(_____) Main PCB Q6 Check	電源に異常が発生しました。	
1 8A	2	018A:YY(_____) Main PCB V_CORE		
1 8B	2	018B:YY(_____) Main PCB V1R5B		
1 8C	2	018C:YY(_____) Main PCB V12		

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法	
1	8E	2	018E:YY(_____)ZZ)FLS NOT COMP ZZはヘッド番号を示します。 1: ヘッド1(奥) 2: ヘッド2(手前)	インクの吐出制御エラー	内蔵PCの電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
1	8F	2	018F:YY(_____)ZZ)OFFSET START ZZはヘッド番号を示します。 1: ヘッド1(奥) 2: ヘッド2(手前)		
1	90	0	0190:YY(_____)Main PCB V_V1	電源に異常が発生しました。	
1	9E	2	019E:YY(_____)HDC*-F1	ヘッドのヒューズが切れました。	
1	BF	2	01BF:YY(_____)PCB MAIN-F2/F3	メイン基板のヒューズが切れました。	
1	E7	2	01E7:09(_____)PCB INKCTRL1	制御基板に異常が発生しました。	
1	E8	2	01E8:09(_____)PCB INKCTRL2		
1	EB	2	01EB:09(_____)PCB BIO		
コマンド					
2	01	1	0201:YY(_____)COMMAND	PC-プリンタ間の通信異常	内蔵PCの電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
2	02	1	0202:YY(_____)PARAMETER		
2	03	2	0203:YY(_____)Ment Command		
通信					
3	0C	2	030C:YY(_____)SCAN DATA TIMEOUT	PC-プリンタ間の通信異常	内蔵PCの電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
センサー					
5	09	2	0509:YY(_____)HDC POSCNT	HDC ポジションカウンターエラーが発生しました。 リニアスケールまたはYモーターに異常が発生しました。	内蔵PCの電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
5	19	2	0519:09(_____)NEGATIVE PRESS SENSOR	負圧センサーが異常	
5	1A	2	051A:09(_____)POSITIVE PRESS SENSOR	正圧センサーが異常	

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法	
5	31	2	0531:09(ZZZZZZZZ)INKTANK SENSOR ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インク供給ユニットの天秤に異常が発生	インクタンクに正しくセットされているか、衝撃を与えていないか、荷重となるものを乗せてないか、確認してください。 内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 上記操作を行っても、解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
5	4A	2	054A:YY(_____)PDC POSINT:1234	PDC ポジション割り込みが発生しません。 リニアスケールまたは Y モーターに異常が発生しました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク					
6	01	0	0601:09(ZZZZZZZZ)INK NEAR END ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インクタンクのインクが少なくなりました。	インクが少なくなりました。 以下の手順で、新しいインクタンクに交換してください。 1. タンクトレイを引き出します。 2. 新品のインクタンクに交換します。 3. タンクトレイを戻します。 4. [アラームクリア]を実行します。
6	02	1	0602:09(ZZZZZZZZ)INK END ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インクタンクのインクがなくなりました。	
6	03	1	0603:09(ZZZZZZZZ)INK TANK SET ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インクタンクが検出されていません。	以下の手順で、インクタンクをセットしてください。 1. タンクトレイを引き出します。 2. インクタンクをセットします。 3. タンクトレイを戻します。 4. [アラームクリア]を実行します。 上記で解消しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
6	17	2	0617:09(ZZZZZZZZ)WRONG SUBTANK SENSOR ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	サブタンクの液面センサー異常を検出しました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法	
6	1A	2	061A:09(ZZZZZZZ)INK OVERFLOW ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	サブタンクセンサー Limit を検出しました。	エアを吸引した可能性があります。 インクタンク内のインク残量を確認して、[アラームクリア]を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
6	1B	2	061B:09(ZZZZZZZ)INK SUPPLY ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	サブタンクへのインク供給ができません。	インクタンク内のインク残量を確認して、[アラームクリア]を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
6	1C	2	061C:09(_____)NEGATIVE PRESS CONTROL	負圧制御開始異常	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度、表示するときは販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
6	1D	2	061D:09(_____)NEGATIVE PRESS NOT ENOUGH	適正範囲の負圧を維持できません。	
6	1E	2	061E:09(_____)NEGATIVE PRESS OVER		
6	1F	2	061F:09(_____)POSITIVE PRESS CONTROL	正圧制御開始異常	
6	20	2	0620:09(_____)POSITIVE PRESS NOT ENOUGH	適正範囲の正圧を維持できません。	
6	21	2	0621:09(_____)POSITIVE PRESS OVER		
6	37	2	0637:09(_____)ZZ)INK LEAK ZZ は、インク漏れセンサーを示します。 1: 供給ユニット右側 インク漏れセンサー 2: 供給ユニット左側 インク漏れセンサー	インクタンク付近でインク漏れが発生しました。	
6	5D	2	065D:09(_____)ZZ)Overflowtank ZZ は、チャンバ瓶を示します。 1: 経路 1 ~ 4 用チャンバ瓶 2: 経路 5 ~ 8 用チャンバ瓶	エアタンクにインクが浸入しました。	
6	6B	2	066B:09(ZZZZZZZ)SUBTANK EMPTY ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	サブタンクにインクがありません。	インクタンク内のインク残量を確認して、[アラームクリア]を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
6	6D	1	066D:09(_____)1)INKTANK PULL OUT	インクタンクトレイが引き出されました。	インクタンクトレイを戻してください。 インクタンクトレイを戻した後、[アラームクリア]を実行してください。
6	77	0	0677:09(_____)DEGAS CONTROL	脱気制御に異常を検出しました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法	
6	78	0	0678:09(ZZZZZZZZ)INK CIRCULATION WARN ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インク循環制御に異常を検出しました。	インクタンクに接続されるチューブのフィッティングが確実に接続されていることを確認して、[アラームクリア]を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
6	7D	0	067D:09(ZZZZZZZZ)INK SUPPLY WARN ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インク供給状態に異常を検出しました。供給フィルタが詰まり始めている可能性があります。	インクタンク内のインク残量を確認して、[アラームクリア]を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ヒーター					
7	3E	2	073E:YY(____ZZ)HD HEATER BREAK ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	ヘッドヒーターが断線しています。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
7	3F	2	073F:YY(____ZZ)HD HEATER CTRL ERR ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	ヘッドヒーターの制御ができません。	
7	40	2	0740:YY(____ZZ)HD HEATER TEMP HIGH ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	ヘッドヒーターの温度が高い	
FW					
1	1F	2	011F:YY(____)PCB SLIDER	制御基板に異常が発生しました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
1	90	0	0190:YY(____)Main PCB V_V1	電源に異常が発生しました。	
1	E7	2	01E7:09(____)PCB INKCTRL1	制御基板に異常が発生しました。	
1	E8	2	01E8:09(____)PCB INKCTRL2		
1	EB	2	01EB:09(____)PCB BIO		
6	78	0	0678:09(ZZZZZZZZ)INK CIRCULATION WARN ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インク循環制御に異常を検出しました。	インクタンクに接続されるチューブのフィッティングが確実に接続されていることを確認して、[アラームクリア]を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
6	7D	0	067D:09(ZZZZZZZZ)INK SUPPLY WARN ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	インク供給状態に異常を検出しました。供給フィルタが詰まり始めている可能性があります。	インクタンク内のインク残量を確認して、[アラームクリア]を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
8 01	2	0801:YY(____)(C)OPCODE	制御基板に異常が発生しました。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
8 02	2	0802:YY(____)(C)SWI		
8 03	2	0803:YY(____)(C)PFTCH ABRT		
8 04	2	0804:YY(____)(C)DATA ABRT		
8 06	2	0806:YY(____)FW/SIO bit		
8 07	2	0807:YY(____)FW/SIO wbsy		
8 0E	2	080E:YY(____)FW/FROM prm		
8 0F	2	080F:YY(____)FW/SIO vch		
8 11	2	0811:YY(____)FW/SIO read		
8 15	2	0815:YY(____)FW/SIO rsrc		
8 16	2	0816:YY(____)FW/FROM WRC		
8 17	2	0817:YY(____)FW/SaveArea		
8 1B	2	081B:YY(____)FW/STACK OV		
8 26	2	0826:YY(____)FW/PrmSaveBuf		
8 28	2	0828:YY(ZZZZZZZ)PRG ERR L***** Z はエラーになったプログラムアドレスを示します。		
8 29	2	0829:YY(____)FW/ERASE TIMEOV		
8 3A	2	083A:YY(ZZZZZZZ)PARAMETER ERROR ZZZZZZZZ は制御データ番号 (開発者向けの情報) を示します。		
ユーザー				
9 16	2	0916:YY(____)ROM MISSMATCH	-	対象機種種の ROM であることを確認してください。 対象機種種の ROM で発生する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
CPU2				
B 25	2	0B25:YY(____)HDC DIRECTION	スキャン制御エラー	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
B 27	2	0B27:YY(____)HD LOGIC FUSE	プリントヘッド制御基板の異常	
B 28	2	0B28:YY(____)HD DRIVER FUSE		
B 29	2	0B29:YY(____)HD VLT ERR		
B 2A	2	0B2A:YY(____ZZ)HD HEATER FUSE		
B 35	2	0B35:YY(____ZZ)HD VLT ERR ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	HD ドライバ電圧 26V 異常	
B 38	2	0B38:YY(____ZZ)HD DRV V26 ZZ はヘッド番号を示します。 1: ヘッド 1 (奥) 2: ヘッド 2 (手前)	HD ドライバ電圧 26V ±5% エラー	
B 3E	2	0B3E:09(ZZZZZZZ)PCB LOADCELL AD ZZZZZZZZ は、経路番号を示します。 1: 経路 1 2: 経路 2 : 8: 経路 8	ロードセル AD 基板の異常	

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
ヘッド				
D 0B	2	0D0B:YY(____ZZ)HD CONNECT ZZはヘッド番号を示します。 1: ヘッド1(奥) 2: ヘッド2(手前)	ヘッドの接続異常	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
D 0C	2	0D0C:YY(____ZZ)HD THERMIS ZZはヘッド番号を示します。 1: ヘッド1(奥) 2: ヘッド2(手前)	ヘッド温度エラー ヘッド接続確認で指定のヘッドの温度が不正値です。	
D 0D	2	0D0D:YY(____)HDC SPEED	ヘッド制御異常	
D 1C	2	0D1C:YY(____ZZ)HD BUSY ZZはヘッド番号を示します。 1: ヘッド1(奥) 2: ヘッド2(手前)	プリントヘッドと通信ができません。	
D 1D	2	0D1D:YY(____ZZ)HD CMD ZZはヘッド番号を示します。 1: ヘッド1(奥) 2: ヘッド2(手前)		
D 1E	2	0D1E:YY(____ZZ)HD DRIVE HOT ZZはヘッド番号を示します。 1: ヘッド1(奥) 2: ヘッド2(手前)	プリントヘッドが温度異常を検出しました。	
MDC Mode_Error				
C0 51	0	C051:00(ZZZZZZZ)PRINT MODE ERROR(1)	プリント開始時に、プリント条件が作成されていません。	内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
C0 52	0	C052:00(ZZZZZZZ)PRINT MODE ERROR(2)	プリント開始時に、プリント準備が完了していません。	
C0 53	0	C053:00(ZZZZZZZ)PRINT MODE ERROR(3)	プリント開始時に、プリント実行中ではありません。	
C0 54	0	C054:00(ZZZZZZZ)PRINT MODE ERROR(4)	プリント開始時に、プリントテストモードになっています。	
C0 55	0	C055:00(ZZZZZZZ)PRINT MODE ERROR(5)		
MDC Processing Error				
CC 10	0	CC10:00(ZZZZZZZ)Auto Cleaning Failure	オートクリーニングに失敗	クリーニングが実施できない状態か、クリーニング中にエラーが発生しました。 以下の内容を確認してください。 1. パーキングポジションにキャリッジがありません。 2. クリーニング中にインク供給系のエラーが発生していませんか。 3. 発生しているエラーをすべて解除してください。
CC 11	0	CC11:00(ZZZZZZZ)Auto Flushing Failure	オートフラッシングに失敗	

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法
MDC Connection_Error				
C1	01	0	C101:00(ZZZZZZZ)Command Format ERROR	内蔵 PC と FW 間の通信異常
C1	02	0	C102:00(ZZZZZZZ)Notify recive ERROR ZZZZZZZZ はコマンドコード (開発者向けの情報) を示します。	FW から処理結果を受信できません。
C1	03	0	C103:00(ZZZZZZZ)Respons recive ERROR ZZZZZZZZ はコマンドコード (開発者向けの情報) を示します。	FW から応答がありません。
C1	04	0	C104:00(ZZZZZZZ)Parameter read ERROR(1)	動作要求パラメータを受信できません。
C1	05	0	C105:00(ZZZZZZZ)Parameter read ERROR(2)	
C1	06	0	C106:00(ZZZZZZZ)Respons set ERROR	FW から不正パラメータ受信
C1	07	0	C107:00(ZZZZZZZ)Notice Respons ERROR ZZZZZZZZ はコマンドコード (開発者向けの情報) を示します。	FW からエラー完了通知を受信
C1	10	2	C110:00(ZZZZZZZ)Communication ERROR(MDL)	FW と内蔵 PC の接続エラー
C1	11	2	C111:00(ZZZZZZZ)Communication ERROR(MRL)	
MDC Command_Error				
C2	01	0	C201:00(ZZZZZZZ)MG Command ERROR	未定義 MG コマンド受信
MDC Print_Error				
C3	01	2	C301:00(ZZZZZZZ)File read ERROR	指定ファイルが読み込めません。
C3	02	0	C302:00(ZZZZZZZ)Parameter is not set	動作パラメータが存在しません。
C3	03	0	C303:00(ZZZZZZZ)Parameter illegal ERROR	動作パラメータ不正
C3	04	2	C304:00(ZZZZZZZ)TIFF read ERROR	TIFF ファイル読み込み失敗
C3	05	2	C305:00(ZZZZZZZ)Mask ERROR	マスク作成失敗
C3	06	2	C306:00(ZZZZZZZ)PSTUS file read ERROR	印刷条件値不正
MDC Prm_Error				
C4	01	2	C401:00(ZZZZZZZ)Control Data read ERROR	制御データ読み込みエラー
C4	02	2	C402:00(ZZZZZZZ)Control Data download ERROR	制御データダウンロードエラー
<p>内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、内蔵 PC 背面の LAN ケーブルの接続状態を確認後に、再度電源をオンにしてください。再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。</p> <p>内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。</p> <p>内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。</p> <p>RIP ソフトウェアで作成したデータが壊れている可能性があります。出力対象機種や印刷条件を確認して、再度データを作成してください。</p> <p>内蔵 PC の電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。</p>				

エラー番号	エラーレベル	エラー表示	原因	対処方法	
MDC Config_Error					
C8	01	2	C801:00(Z)Target does not exist Zは検出できなかったFWの番号を示します。 1~8:PEFW 9:IOFW	ターゲットが存在しません。	装置構成設定が正しくありません。販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
C8	02	2	C802:00(Z)PCB composition ERROR Zは構成異常のFWの番号を示します。 1~8:PEFW 9:IOFW	装置構成エラー	
C8	03	2	C803:00(ZZZZZZZ)Version ERROR	バージョンエラー	
MDC System_Error					
C9	01	2	C901:00(ZZZZZZZ)Program ERROR	プログラムエラー	内蔵PCの電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
C9	98	2	C998:00(ZZZZZZZ)EXCEPTION(1)	予期しないエラー(例外以外)	
C9	99	2	C999:00(ZZZZZZZ)EXCEPTION(2)	予期しないエラー(ソフトウェア例外)	
MDC FW_Error					
CA	01	2	CA01:00(ZZZZZZZ)Calibration Value is Not Stable	キャリブレーション時のAD値が一定時間安定していません。	内蔵PCの電源、本機主電源の順に電源をオフにして、しばらくしてから再度オンにしてください。 再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
F5	33	1	Pressing Roller Operated on the Back Side	UNWINDER側の操作パネル又は背面の加圧ローラスイッチから加圧ローラーを操作しています。	<ol style="list-style-type: none"> 現在実施している作業を終了させてから、MPCで[SYSTEM ALARM]の[詳細]ボタンをタップして、[アラームクリア]ボタンをタップします。 [アラームクリア]ボタンをタップした後、アラームが再度表示される場合は、内蔵PC、プリンタの順に電源をオフにして、しばらくしてからプリンタ、PCの順で電源をオンにしてください。 アラームが再度表示される場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

解体

本機の耐用期間中に、本機を別の場所に移動する必要がある場合は以下のように進めます。

手順		解体			
S	モード	キー	表示	機能	参考
1				本機の電源を切り、すべての電源から切断します。	
2				本機を清掃し、適切な製品を使用して腐食の影響を受ける部品を保護します。	
3				新しい場所への搬送および設置作業の場合、本書に記載の方法と手段を使用します。	
4				本機では潤滑油やグリスを使用します。本機の部品に付着した、修復不能な潤滑液を中和させるには、認可された分解性溶剤を使用します。	
5				修復可能な廃油をからタンクに移し、廃油処理業者へ処分を委託します。	
6				装置にあるすべてのバッテリー、アキュムレーター、電子ボードのバッテリー、調整装置を適切に廃棄します。	
7				本機の運用期間が終了した場合、その設計や構築時の目的では使用できないため、運用を中止する必要がありますが、その部品や原料は再利用可能です。	
8				ただし、このような再利用は、個々の部品や本機全体の設計および構築時とは異なる条件や機能に従うものとします。	
9				Mimaki では、本来のものとは異なる機能や組み立て状況での本機の各部品の再利用で生じた負傷や物的損害に対する責任を負いません。	
10				Mimaki では、明示あるいは黙示を問わず、本機の最終撤去後に再利用される部品の適応性に関する承認は行いません。	
手順の終了					

ML Tiger-1800B MK III 取扱説明書

2021 年 3 月

株式会社ミマキエンジニアリング
389-0512 長野県東御市滋野乙 2182-3

D203490-11-25032021

